



50th
Anniversary

創立50周年記念誌

創立50周年記念誌



Machida Football Association
2018



一般社団法人 町田サッカー協会



一般社団法人 町田サッカー協会

一般社団法人 町田サッカー協会
創立50周年記念誌

Machida Football Association 50th anniversary

Contents

01	50周年フォトライブラリ 50th Anniversary Photo Library	03
02	50周年のご挨拶 Greeting from the 50th Anniversary	11
03	町田サッカー協会の歩み History of Machida Football Association	35
04	50年の大会記録 50 year Convention Record	57
05	MFAアクションプラン MFA Action Plan	89
06	50周年記念対談 50th Anniversary Communicating Dialogue	93
07	2018年度 町田サッカー協会 Introduction of Machida Football Association 2018	99
08	スポンサー各社 Greeting from Sponsor	107
編集後記		

Chapter 01

50周年フォトライブラリ
— 50th Anniversary Photo Library —



第2回全日本少年サッカー大会
FC町田 準優勝(1978年)



1981年FC町田ジュニアが全国大会で優勝し、
市民祭「30万人の個展」にてパレードに参加



第1回MFAカップで表彰する
畠初代理事長(1973年)



左から佐藤氏・故重田氏・守屋氏・北澤氏



現ゼルビア大友社長と北澤氏



フェスティバル集合写真

FC MACHIDA

ZELVIA



JFLからJ2へ参戦決定!
(2011年)



入替戦で勝利しJ2昇格を決める!
(2015年)

GOOOOOAL!!!!





全日本
フットサル選手権
Champion!
2015年



創立50周年イベント
ロッテ釜本サッカー教室
(2017年)



ペスカドーラサポーター

**PESCADOLA
MACHIDA**



ホームでのペスカドーラ



釜本サッカー教室



釜本氏と前園氏





Chapter 02

50周年のご挨拶

— Greeting from the 50th Anniversary —

町田サッカー協会 創立50周年に際して



一般社団法人町田サッカー協会理事長
岸本直也

【感謝】

町田サッカー協会は、創立50周年を迎えることになりました。

これまで協会運営に携わっていただいた関係者並びに、町田市や体育協会、青年会議所をはじめとする町田の諸団体の方々のご支援の賜物だと思っております。

また、東京都サッカー協会や三多摩サッカー連盟加盟の各区市町村協会、近隣の神奈川県の協会そして交流いただいている全国のサッカー関係者及び50周年事業を支えて頂いた企業の方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。

【サッカーは文化】

町田サッカー協会は、渋谷謙三さん、畠謙さんなどのご尽力で誕生しました。

その後、畠さん、重田先生、佐藤先生が中心となり少年サッカーの育成が柱となってきました。

町田サッカー協会の発展は、教員の先生方の熱い情熱に支えられて発展してきたと感じています。一般社団法人になる前の会則の活動方針にも、「少年少女に対しては、その心身の発達段階に見合った教育的に充分配慮された基準と方法によって活動を行う。」とあります。先生方の子供たちがサッカーを通じ、成長できるように指導する熱意が、本当に感じられました。

私も学生時代から、畠さん、重田先生、佐藤先生、三浦先生、皆川先生など多くの先生方から指導チームだけでなく、FC町田トレーニングセンターの意義や理念を教わりました。

この頃、全国少年サッカー大会でのFC町田の活躍もあり、子供たちだけでなく若い指導者も育成して行こうと考えて頂いていたと思います。

全国から著名な指導者を招き、指導者講習会を行ったり、全国各地へ遠征試合を行ったり、指導チーム以外にも町田が一丸となって戦っている感じがしました。

私もその末席に入れて頂き、先輩の矢島さん、島崎さん、大澤さん、大久保さんと一緒にトレーニングや試合をしながら

ら、試合の見方や課題修正など多くを学ばせて頂きました。そして指導者の期待に応え、逆に指導者を高めてくれる選手たちが多くいました。

その選手たちを中心に、守屋先生とFC町田ジュニアユースやユースを立ち上げ、笠原さんや細野君の尽力でFC町田トップができ今のFC町田ゼルビアに続いています。

創立者の渋谷さんや重田先生がよくおっしゃっていましたが、「サッカーは文化」。

これは、町田のサッカーの良いところを次の世代に伝えていくことと、時代に合った改善を加えていかなければいけないことを理解しています。町田のサッカーの基本は、選手、指導者、保護者の情熱と町田という地域を誇りに戦う姿勢、そして新しいものに挑戦していく気持ちだと考えています。

現在の協会の仲間たちとよりよい協会運営や子供たちの育成を図っていきたいと考えています。

【これからの町田】

畠さん、重田先生、守屋先生、萩原さんと繋いだ町田サッカー協会の5代目の理事長として微力ながら、次の世代に繋げる仕事ができればと考えています。

現在の町田の指導者は、教員から各クラブのOBそしてプロコーチと変化しています。この変化に協会としてどの様に進めて行くかは大きな課題です。

アクションプランにも載せていますが、育成が柱であることは変わりません。

町田市でサッカーやフットサルをプレーする方を多くし、施設環境を整えていく。

そのために協会の事業や予算も見直して関係諸団体とも関係強化していくことを、進めていきたいと思います。

今回の50周年事業にも、町田市、体育協会、町田商工会議所、町田法人会、青年会議所、観光コンベンション協会等多くの団体から後援を頂き、進めることができます。

また、多くの企業からも身に余る協賛を頂き本当に感謝しています。

これらのご後援やご協賛は今年度だけでなく、これからの中のサッカー協会の活動でお返しするとともに一緒に町田の子供たちが成長できるよう活動したいと考えております。

幸いにも、FC町田ゼルビアやASVペスカドーラ町田がホームタウンとして活躍しています。

Jリーグ、Fリーグ両方のチームが活動している数少ない地域です。

ホームタウンチームと今後とも協力させて頂きながら、「サッカーのまち」町田といわれ続けるよう今後とも取り組んでまいります。

ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

町田市サッカー協会 設立50周年を祝して



町田市長
石阪丈一

一般社団法人町田サッカー協会設立50周年、また、設立50周年記念誌の発刊、誠におめでとうございます。

貴協会は、1968年に町田サッカー協会として設立され、小学生から社会人、女子、シニアまでのピラミッド方式による

組織づくりをいち早く取り入れ、多くのJリーガーを輩出し、町田市をサッカーが盛んな町であると全国に知らしめる活動を行っていただきました。これまで、貴協会の活動を支えてこられた歴代関係者の皆様に、心から敬意を表したいと思います。

さて、町田市では、町田市スポーツ推進計画を策定し、「スポーツで人とまちが一つになる」を目指すべき将来の姿とし、「市民スポーツの普及・推進」、「トップスポーツ支援」、「スポーツ環境の整備」という3つの推進戦略に基づき、様々なスポーツ施策の展開を図っております。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、これまでなくスポーツへの関心が高まっています。このようなスポーツを取り巻く状況を好機とし、町田市でも、スポーツ・文化・経済・観光など多分野の振興を進め、オール町田体制でまちの魅力向上を進めていこうと考えております。

皆様におかれましても、スポーツを通じて一緒に盛り上げていただき、町田市全体が活気あふれるまちになるよう、お互いに力を合わせて、頑張ってまいりましょう。

最後に、貴協会の益々のご健勝と、皆様のご健勝を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

設立50周年を祝して



町田市議会議長
若林章喜

一般社団法人町田サッカー協会が設立50周年を迎えることを、心からお喜び申し上げます。

皆様には、日頃から各種大会の運営をはじめ、トレーニングセンターの強化、市外各地域への遠征、サッカー教室の開催など個人の技術力向上や地域のサッカー育成を目指し、積極的な活動を通して、市民のスポーツ振興や青少年の健

全育成に多大なるご貢献をいただいております。

町田市では、皆様のご努力によりまして、少年サッカーの盛んな町として全国的にも大変有名になっています。町田出身の北澤選手、戸田選手を中心とした多くのJリーガーは、町田の子どもの大きな目標であり、夢もあります。現在、サッカーに励んでいる少年少女の中から、次世代の憧れ、目標になる様な選手がたくさん出てくることをご期待申し上げます。

貴協会におかれましても、サッカー環境の充実や指導者等の人材育成など、今後も課題は多くあると思いますが、皆様と力をあわせてこうした課題にも、一緒にハードルを乗り越えてまいりたいと思います。

町田市議会といたしましても、スポーツに携わる皆様とともに、町田市全体が活気に溢れる街になりますよう、今後も取り組んでまいります。

最後になりますが、この設立50周年を契機といたしまして、町田サッカー協会のますますのご発展と、関係者の皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

50周年を祝して



東京都議会議員
一般財団法人町田市体育協会会長
吉原 修

町田サッカー協会が設立50周年を迎えたことを、心からお慶び申し上げます。

本年こうして、記念すべき50年の節目の年を迎えられましたのも、サッカー協会の歴代会長・理事長をはじめとする役

員、各チーム指導者はじめ会員皆様方のサッカーに対する愛情と熱意の賜物と深く敬意を表します。

協会設立の1968年は、メキシコオリンピックでサッカー日本代表がはじめて銅メダルを獲得し、国内においても65年から実業団を中心にスタートした、日本サッカーリーグが盛り上がりを見せ、まさに日本がアジアのサッカー強国として世界から認知された、そんな時代だったのではないでしょうか。

協会も日本サッカーの発展と共に時代を歩み、ジュニア選手の育成から、社会人やシニアまでの幅広い世代が生涯サッカーを楽しめる環境づくりと、プロチームを支える地域に根差した地道な活動など、町田市におけるサッカー普及の中心的な役割を協会が一致して今日までの半世紀にわたり推進していただきました。そうした多くの関係者のご努力で現在町田市は、FC町田ゼルビアやASVペスカドーラなどのプロのサッカーやフットサルチームのホームタウンとして、また、多くのプロ選手を輩出するなどサッカー王国としてその手腕は全国から大変高い評価を頂いております。

引き続き岸本直也理事長を中心に一般社団法人町田サッカー協会の益々のご発展と会員各位の更なるご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

今、町田は サッカーとアニメの街へ



元国務大臣 国土庁長官
一般社団法人町田サッカー協会顧問
伊藤 公介

重田貞夫先生、守屋実先生、佐藤祐治先生など小学校の先生方のご指導でクラブチームが誕生し、次々と町田全体に少年サッカーの輪が広がって行きました。先生方を移動させないで欲しいといった父母の皆さんとの署名活動があった程

でした。

あれから50年、町田で育ったFC町田ゼルビアはJ2からJ1に昇格が現実になろうとするところまで成長して来られました。J1昇格が現実味をおびて来た今、J1昇格の条件を早急に満たさなければなりません。サッカー場の整備はもとより人工芝の専用練習場や鶴川駅、多摩センター駅からのアクセスの整備も急がなければなりません。

且つ「町田は西の歌舞伎町」等といわれた時期もございましたが最近のメディアは「町田はアニメなど第2の秋葉原」と報じられ「面白い元気な街」になりつつあります。町田の各商店街や公共施設のいたるところにゼルビア応援のポスターが貼られ「サッカーの街町田」のイメージが日に日に盛り上がっているように思います。

50年前小学校の先生方によって蒔いて頂いたサッカーが、今全日本の舞台に上がろうとしております。

「50年100年先を考えるなら人を育てよ」という言葉がありますが今まさにその物語が現実し大きな花を咲かせつつあります。

現在の岸本理事長さんはじめ歴代の役員の皆様方の応援して頂いて来た全ての皆さんに心から感謝を申し上げます。「FC町田ゼルビアJ1にGO!」

町田サッカー協会の ご発展を願う



町田市議会議員
一般財団法人町田市体育協会副会長
一般社団法人町田サッカー協会顧問
長村 敏明

町田サッカー協会、創立50周年おめでとうございます。50年掛けて築き上げた町田サッカー協会という城は、大きな石の間に小さな石が入り込み、重なり合い、大きな石も小さな石も動くことなく耐え、その上に積み重なり今日の町田サッカー協会が存在するのだろうと思います。

小さな石は町田のサッカーを愛する子ども達と家族の皆

さん、そして大きな石はサッカー協会の歴代の役員、青年会議所のメンバー、チームの指導者、支えてくれた行政職員、サッカーを愛する市民の方々だろう。町田のサッカー50年の歴史は小さな石があったからこそ今日のゼルビアがあると確信している。小さな石が大きな石を動かし安定させた、町田の子ども達がサッカーの道しるべ。

私が町田サッカー協会に籍を置いたきっかけは、子供たちの為に公式サッカー競技場を作りたい、そんな思いが当時副会長だった八木邦治さんと一致した。サッカー場の建設に向け、「長村さん、公式サッカー競技場を作りたい、手伝ってくれないか?」との八木副会長からの誘い、年々サッカー熱が上昇している時期だった。長年、子ども達を指導していた亡き重田先生の熱意が私たちを動かしたのだろう。故、寺田市長は八木副会長の思い、サッカー協会の思いを受け止め8億円の予算を計上し上野原サッカー場の完成を見ることが出来た。

思い出を記させて頂きましたが故人となった、寺田和夫市長、渋谷守生会長、協会設立に貢献された渋谷謙三氏、町田サッカー協会の礎を築いた重田貞夫氏など大きな石が今もなおどっしりと見守ってくれている。今、頑張れる大きな石に更なるお力を賜りますよう紙面をお借りしてお願い致します。

町田サッカー協会のご発展を心よりご祈念申し上げます。

天命・ 設立50周年を迎えて



一般社団法人町田サッカー協会顧問
皆川 清

町田サッカー協会設立50周年おめでとうございます。一口に半世紀と言いますが、この時間が巨大であります。時を

超えて、歴史を重ねてこられた町田サッカー協会関係者の皆様方の意志と努力に、深く敬意を表したいと思います。

サッカー協会設立以来サッカー文化の進展を視野に、時代のスポーツニーズに応えつつ地域と一緒に活動し、大きな成果を上げてきました。その頂点には、FC町田ゼルビアの活躍があり、サッカー的風土が町田市に着実に根づいています。

孔子が、晩年に自己の人格修養のあとを述懐した時の言葉の一節に、「子曰く、吾十有五にして学に志す。……五十にして、天命を知る。……」とあります、天命とは、寿命。人力では、どうすることもできない天の命令で、ここでは、「町田サッカー協会の使命を知る」と解したいと思います。町田サッカー協会の使命の重さを感じます。

2年後の東京オリンピックパラリンピックの開催は、町田のサッカー文化の価値の高さを、町田市民にアピールする絶好の機会となります。多くの貴重な経験の中から、英知を磨いてこられた町田サッカー協会の皆様方の存在感が一段と輝きを増す時です。

今後は、未来展望の明るさを求めて、「六十にして、他人の言葉に、素直に耳を傾け、七十にして、心のおもむくまま行動しても道を外すことなく…」となる様、50周年の誇りと伝統

を次世代へ繋ぐことを祈念して、50周年を祝う言葉といたします。

町田サッカー協会 50周年を思う



一般社団法人町田サッカー協会名誉会員
佐藤祐治

創立50周年を心よりお祝い申し上げます。

サッカー協会が創立した次の年、私は町田第3小学校に赴任しました。学校の周辺は田畠が広がり、自然に恵まれた環境での勤務はとても楽しいものでした。4年生を担任しましたが、5年生になったとき、子供の日を記念してサッカー大会が開催されるということを知り、急遽クラスの子供たちでチームを編成、大会に参加しました。このことがきっかけとなり、父母の方々の協力で、SSSサッカークラブを設立しました。狭い校庭でしたが、朝夕とボールを蹴り、いろいろな大会に参加したり、藤枝や垂崎等強豪チームと交流を進めてきました。

サッカーという面白いスポーツをもっと多くの子供たちに知ってもらおうと、まず教員のサッカーチーム「マスカラード」を編成、町田の社会人チームに参加しました。今町田協会に参加している少年チームのほとんどはこの時の教員メンバーが始めたものといってよいでしょう。底辺が広がることにより、優秀な選手も出てき、少年サッカーの全国大会で優勝するなど、町田が全国に知られるようになりました。そして多くのJリーグそして日本代表の選手を輩出する町ともなったのです。

50年を迎える町田のサッカーは大勢の人がかかわり、繋げられてきました。この素晴らしい町田の歴史の中で特にかかわりの深かく、その功績は多くの人が良くご存じだった方々を紹介させていただきます。

本当に残念に思うのは、紹介する方々がすでに鬼籍に入

られていることです。

一人目は、「畠 穂」といいます。学生時代からサッカーで活躍され、町田でサッカーショップを営み、マスカラードのメンバーで町1サッカークラブを作り、また協会の副会長を長く務めました。

2人目は、「渋谷健三」といいます。当時青山市長の下で市の重要な政策を担当する部署で活躍していました。自分でサッカーをするだけでなく組織的に活動するために町田のサッカー協会を立ち上げました。

3人目は「重田貞夫」先生です。町田3小時代一緒にになり、SSSクラブ、教員クラブ、又小山FC等少年チームの設立の中心となり活躍しました。FC町田の代表として少年サッカーの育成だけでなく、協会の理事長として町田のサッカーの発展に尽力しました。そして悲願だった、「町田ゼルビア」の設立を成功させました。一緒にフランスのワールドカップに行つたこと、FC町田が日本一になり一緒に涙を流したこと、思い出すことは限りなくあります。

3人の方々とはよく飲み、話すことはサッカーのことでした。日本のサッカーが世界に通じるようになるためには何が必要か、どういう選手、そしてどのような組織にしなければならないのか。いつも結論はヨーロッパや南米などのように地域に根を下ろしたプロ化が絶対に必要、と熱く語りあったことを思い出します。

そして、その夢は実現しました。Jリーグができ、北澤選手など全日本代表を含め数え切れないほどの選手が町田から育ちました。

1つ1つの積み重ねと大勢の熱意が実ったのです。今の町田の様子、日本のサッカーを天国からビール片手に見てくれている方々と共に、町田の50周年を改めて祝いたいと思います。



左から故重田氏・北澤氏・筆者

リーグ参入…熱心な指導者と地域の方の理解で、たくさんの足跡を刻んできた町田サッカー協会は外の地域に例のない独自で素晴らしい実績を積み上げることができました。

このような歴史を築けたのは、サッカー協会の先達である、重田先生の理念や理想が大きく影響していると思います。私自身も先生の近くで学ぶことで、スポーツ文化としてのサッカーの素晴らしさやサッカーにかける情熱や取り組みを肌で感じ、継承してきました。文化としてのサッカーという視点を早くから唱えていた地域のサッカー協会は少なかったと思います。単なるスポーツ、体を鍛えるといった観点とは別に、人々がずっと継承していくに値するスポーツ文化としてのサッカーという考えが町田サッカー協会の根底に流れています。

町田サッカー協会の50周年をお祝いするとともに、ここまで協会運営にかかわってきた方々に心より御礼申し上げます。畠さん、渋谷謙三さん、重田先生、五十子さん…残念ながら既に物故者になられました。しかし、皆さんの残してくれたサッカー文化はしっかりとこの町に根付いています。そしてこれからも岸本新理事長を船頭に新たな50年に向かって町田サッカー協会らしく船出してくれるはずです。

町田らしい サッカー文化の創造を



株式会社ゼルビア相談役
町田ゼルビアスポーツクラブ理事長
一般社団法人町田サッカー協会名誉会員

守屋 実

町田サッカー協会50年、この歩みのほとんどを見てきた私にとって感慨深いものがあります。この間、少年サッカーでの日本一、多くのプロサッカー選手の輩出、FC町田ゼルビアのJ

夢の実現へむけて



株式会社ゼルビア監査役
一般社団法人町田サッカー協会名誉会員

土方 周明

一般社団法人町田サッカー協会の設立50周年、誠におめでとうございます。

私がサッカー協会とご縁ができたのは、一般社団法人町田青年会議所に入会し、町田JC杯サッカー大会の運営に携

わったことからでした。町田青年会議所に入会したのは1987年ですので、31年ほどのお付き合いになります。

私自身も大学時代にサッカーを経験していた関係で、当時の故重田理事長とは大変親しくさせて頂きました。

それから程なく日本でJリーグが発足するという情報が伝わって来ると何とかチームを誕生させることができないかと、重田理事長を中心にサッカー協会のメンバーと夜まで議論をし、Jチームの誘致の是非、講演会等の開催、いろいろな企画を行いチーム実現に向けて、濃密な時間を過ごしていました。Jチームの実現はできませんでしたがJリーグの選手を招いての「サッカーフェスティバル」を開催するに至りました。

そして守屋理事長を中心に「FC町田ゼルビア」が作られ、共に活動できたことで町田サッカー協会と長いお付き合いができたものと感じます。

NPO法人化を実行し、その後のトップチームを株式化し、Jリーグの参入資格を得て現在のFC町田ゼルビアが存在します。

その過程で、選手やユース、ジュニアユースの練習環境を整備しなければ、ゼルビアの存在が危うくなると思いから、守屋理事長と私どもの決断で、人工芝の専用練習場を作ろうとなり、totoの補助金の獲得もできて、小野路の練習グラウンド

が完成したわけです。これがなければ、ゼルビアのJでの活躍はもとより、子供たちの練習環境の確保もできなかったものです。
設立50周年は、1つの通過点です。今後100周年へ向

けて、町田サッカー協会のお力で「町田のサッカー」のあり方、育成の仕方など、子供たちのために壮大な構想を掲げていただき、ワクワクする「町田のサッカー」を育てていただければ幸いです。いつでも応援しています。

夢破れても 追い続けたサッカー



佐藤治療院
桐蔭学園高校トレーナー
桐蔭横浜大学トレーナー
YSCCトレーナー
一般社団法人町田サッカー協会名誉会員
佐藤 千可生

昭和48年、町田第3小学校入学。担任は故重田貞夫先生。町田のサッカーをけん引してきた先生とは知らず自分のサッカー人生がスタートしました。その入ってしまったサッカーチームは、町田SSS。4年生までは百合コーチに指導を



50周年を祝して



公益財団法人日本サッカー協会理事
一般社団法人日本障がい者サッカー連盟会長
一般社団法人町田サッカー協会名誉会員

北澤 豪

町田サッカー協会創立50周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

創立当初から土台を創られた皆様とこれまで関わられた皆様のご努力とご苦労に敬意を表します。

今までスポーツを通じた「街づくり」「人づくり」に力を注ぎ、東京のスポーツ文化を牽引した町のリーダーとして益々の発展を祈念するとともに、これからも50年さらなる多くのサッカーを愛する人材を輩出し、将来地域へ貢献をする子供達の育成と、広くサッカーを通じて、老若男女、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツの価値を享受し、一人ひとりの個性が尊重される活力ある共生社会の創造に貢献する町田サッカー協会となっていくことを願っております。

次の50年も一緒に 町田の子どもたちのために



株式会社ゼルビア代表取締役会長
下川 浩之

一般社団法人町田サッカー協会設立50周年、誠におめでとうございます。心より、お祝いを申し上げます。また、記念すべき冊子の中で筆を執らせていただくという大役を仰せつかり、身が引き締まる思いでございます。末筆ながら書かせていただきます。

大変ありがたいことに、私がお預かりしているFC町田ゼルビアは、J2リーグに定着し、2018シーズンに関しましては、シーズン終盤まで優勝を争うという、非常に嬉しい結果を残してくれました。ありがたいことに、目標に掲げている2020年

のJ1昇格が狙えるところまでクラブは成長してくれました。その試合運営において、町田サッカー協会の皆様には、有形無形のサポートをいただいております。本当に感謝しております。今日のゼルビアの飛躍は、地域の皆様をはじめ、少年サッカーの街として、大勢の子どもたちを育てられた町田サッカー協会関係者のご尽力の賜物だと思っております。皆様の種まき、水撒きがあったからこそ、ゼルビアという大きな花が咲いております。

我々FC町田ゼルビアも、2019年には30周年を迎えます。次の10年、20年、その先にある50年を考えた際、ゼルビアは、もっと子どもたちに夢を与える存在でなければいけないと思っております。そのためには、これまで同様、いえこれまで以上に、ゼルビアと町田サッカー協会が手を取り合い、町田サッカー界の発展に向けて連携させてもらいたいと考えております。

町田サッカー協会所属の少年クラブで子どもたちが育ち、ゼルビアもJ1に昇格し、町田育ちの子が、ゼルビアを引っ張る存在になる。町田代表の子が、日本代表選手に育ち、さらには世界へと旅立っていく。そんな夢を一緒に叶えたいという想いがあります。

重田貞夫先生をはじめ、先人の皆様が作り上げてきた歴史を次の世代につなぐために、ゼルビアとサッカー協会が手を取り合い、地域のため、子どもたちの夢の創造のために、一緒に歩んでいなければ存じます。次の50年までには町田が、日本で、いえ世界で一番のサッカーの街になるよう、共に頑張って参りましょう。

町田に生まれ、町田で育ち、 町田から世界へ



株式会社ゼルビア取締役社長
一般社団法人町田サッカー協会名誉会員
大友 健寿

一般社団法人町田サッカー協会設立50周年心よりお祝い申し上げます。

私は1977年5月生まれですので、MFA設立10年目、またFC町田設立に向けた町田トレーニングセンター設立の年でもあると存じ、節目の年に生まれた人間としても感慨深いものがあります。

子どもの頃も気が付けば、私の周りは少年サッカーに溢

れ、近所のお兄さんたちとストリートサッカーを始めた所から、サッカーを本気でやりたいという気持ちが大きくなりました。町田第一小学校に通っていましたが、幼稚園時代の仲間とチームメイトになることを決断し、「SCJ」で皆川直弘監督の指導の元育ちました。そして皆川監督の勧めもあり、小学5年生の時にFC町田ジュニアの練習に参加させていただき、加入することができました。指導者に恵まれ、また同期の選手も上手い選手が揃っており、練習についていくのがやつとだったと記憶しております。

当時、FC町田の知名度は全国的にも高く、どこに遠征に行っても注目されるチームでしたし、結果を残さなければ町田に戻れないという気持ちも子どもながらにありました。自信と責任を強く感じることのできた素晴らしい時代でした。

FC町田の環境に加え、小学部のリーグ戦など、子どもたちがたくさんボールに触れることができ、たくさんの試合を行い勝負にこだわる環境を与えてくださった町田サッカー協会の力があって、多くの優秀な選手が巣立っていったのだと感謝しかございません。

町田サッカー協会には謹んで50周年に祝意を示すとともに、今後もこども達が、町田に生まれ、町田で育ち、町田から世界へ羽ばたけるよう願っております。FC町田ゼルビアとともに、引き続き子どもたちの夢の創造に寄与できるよう努めて参ります。



未来へ



ASVペスカドーラ町田代表取締役社長
一般財団法人日本フットサル連盟理事
公益財団法人日本サッカー協会フットサル委員会委員
一般社団法人町田サッカー協会名誉会員

山本 敏彦

50周年おめでとうございます。そして未来へ。
一般社団法人町田サッカー協会50周年おめでとうございます。
50年という、町田サッカー協会の長い歴史の歩みの中で、
我々ペスカドーラ町田は、2007年のFリーグ(日本フットサル

リーグ)の参入を契機に、町田の仲間に入れていただきました。今年で12年目のシーズンです。

Fリーグの参入にあたりましては、沢山の町田市の関係者の皆様、特に町田サッカー協会の御理解御協力がなければ、達成することが出来なかつたことでした。

2007年の開幕からの12シーズンで、ペスカドーラ町田の町田市立総合体育館での試合には、約140試合・17万人のご来場をいただくことが出来ました。

この多くの試合には、町田サッカー協会からの沢山の御支援があり、成立することが出来たものです。ホームタウン推進室、女子部、一般部、4種、3種の皆様方から、毎試合御協力をいただき、開催することが出来ました。改めて御礼申し上げます。

この沢山の御支援ご協力を頂く中で、我々ペスカドーラ町田は町田サッカー協会に、これまで何が出来ていただろう? 私達はFリーグでの優勝を達成し、町田市にトロフィーを持ち帰りたい。アジアクラブ選手権の出場権を得て、アジアで優勝することで、世界へつながる夢・未来を地域に届けたい。子ども達から憧れるプレーを届けていきたい。その達成のため、これからも取り組んでいきます。

町田市内における「フットサルの普及」という意味でも、ペスカドーラ町田が果たせる役割を、町田サッカー協会と協力させていただきながら邁進していきたいと思います。
50周年おめでとうございます。これからも未来もよろしくお願ひいたします。

祝 辞



公益財団法人東京都サッカー協会会長
林 義規

一般社団法人町田サッカー協会の皆様、創立50周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

まずは、貴協会を設立し、今日までの発展に尽力された皆様に心から敬意を表します。周年行事は、節目の機会となります。歩んできた道を振り返り、現在の位置を確認して、将来の方向性を見出していく重要な機会になると考えます。

貴協会が設立された昭和43(1968年)は、第19回オリンピック・メキシコ大会が開催され、日本のスポーツ界にとって大きな飛躍の年となりました。それまでマイナースポーツであった日本のサッカーも、銅メダルを獲得するという偉業を成し遂げ、大きな注目を集めました。

そのような時代に設立された貴協会のような、各区市町における草の根からの活動が各年代の成長につながり、50年が経った現在、日本のサッカーは驚くべき発展を成し遂げ、たくさんの人に愛されるスポーツになりました。オリンピックもワールドカップも6大会連続出場を果たし、女子では、なでしこジャパンが世界一になり、全カテゴリーの女子ワールドカップを制覇するという快挙も成し遂げました。

また、Jリーグが開幕して今年で25年、町田出身の選手も多く活躍しています。

不毛の時代にサッカーの種をまき、それを愛しみながら育ててきた多くの人々がいたからこそ今日の姿があるのです。

私は、地区協会・地区連盟の重要な使命は、サッカーを「育成し、支える」ことにあると考えております。これからも東京

都サッカー協会は、貴協会と共にサッカーの振興と普及に努力してまいります。

一般社団法人町田サッカー協会が益々発展されることを祈念してお祝いの言葉をいたします。

50周年に寄せて



公益財団法人日本サッカー協会常務理事
公益財団法人東京都サッカー協会副会長・専務理事
植田昌利

一般社団法人町田サッカー協会が設立50周年を迎られるにあたり、心よりお祝い申し上げます。設立以来、半世紀に亘って「サッカーの街まちだ」の発展に尽力された皆様方に深く敬意を表します。

貴協会が設立された1968年(昭和43年)は、メキシコオリンピックでサッカー日本代表が銅メダルを獲得し、一時的

にサッカー熱が高まりました。しかし、短期間でブームは去り、日本のサッカーはその後約20数年間、深く低迷することとなります。

その長い苦しい期間を経て、プロサッカーのスタートや、FIFAワールドカップの開催を大きなきっかけとし、日本サッカーは驚くほどの速さで成長し、男女を問わずキッズからシニアまで、国民的に愛されるようになりました。

今日の日本サッカーの発展は、不毛の時代からそれを支え、情熱を持ってサッカーを愛し続けてくれた皆様方の尽力なくしてはあり得なかつたでしょう。

東京のサッカーを今後さらに充実させるためには、以下の点が重要です。

- ①首都のJチームが常にリーグの首位を争うこと。
- ②スタジアムやフィットボールセンターの整備などハード面の充実、インフラ整備がなされること。
- ③東京から日本代表選手を多く送り出すこと。

町田には、FC町田ゼルビアとPSVペスカドーラ町田があり、これらの課題にまさに向き合っている環境があります。

東京都サッカー協会も、貴協会と共に、サッカーの普及と振興に努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

一般社団法人町田サッカー協会が益々発展されることを祈念して、お祝いの言葉をいたします。



創立50周年を祝して



衆議院議員
一般社団法人三多摩サッカー連盟会長
萩生田 光一

一般社団法人町田サッカー協会発足50周年を心よりお慶び申し上げます。

貴協会は、地域に密着し市民とともに、50年の長きにわたり活発な活動を続けていらっしゃいます。その間、各々の時代に即したニーズに応え行動し、組織の基盤をしっかりと築き上

げてこられましたこと、関係者の方々のたゆまぬ努力と熱意の拠るところが大きく、その志に深く敬意を表します。

市内で開催される各種大会の運営や参加チームの拡大など、充実したサッカー環境の提供や、町田ゼルビアへの協力、参画は多大なる社会貢献あります。三多摩地区でサッカーに係わる仲間として、その功績を称え、今後の一層の発展を期待いたします。

日本のサッカーは、Jリーグの創設、ワールドカップ、オリンピックの連続出場、男子・女子日本代表の飛躍等、ここ近年で日本中が心躍り、大きな勇気と誇りを感じることができました。これは、一部のトップ選手だけがレベルアップしたわけではなく、サッカー界全体がボトムアップし実力の底上げがなされた成果と考えます。これからも地域の子ども達からシニアの方々まで男女問わずサッカーに親しみ、サッカーを楽しむ環境、サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展にご尽力いただければと思います。

当連盟は、今まで以上に皆さまと連携を計り、皆さまのお手伝いをさせていただきながら、より強固な関係を構築するよう努力してまいります。今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、あらためて50周年に関わられた全ての皆様に敬意を申し上げると共に、貴協会の益々のご発展をお祈りし、お祝いの挨拶といたします。

さらなる 三多摩サッカーの牽引を



一般社団法人三多摩サッカー連盟理事長
齋藤直広

平成の最後の大きな節目の年に、(一社)町田サッカー協会が設立50周年を迎えた事に、心よりお慶び申し上げます。

さて、三多摩サッカー連盟は、貴協会の設立より18年後の1986年に各市町村の統括機関として発足しました。三多摩地区の各市から均等に選出された役員によって、「組織づくりと人の横のつながり」を重視した事業を積極的に開催して、三多摩地区的サッカーの発展を進めてきました。発足にあたり貴協会役員から多くのご教示をいただきました。さらに2010年頃より、一部のサッカー協会では、「責任と品格」を備えた法人格の取得が始まり、貴協会においては、東日本大震災の年2011年9月に(一社)町田サッカー協会がスタートしました。これより遅れ2017年2月に(一社)三多摩サッカー連盟を設立させました。設立にあたり貴協会より選出された役員が中心となり、定款の作成に多大なご尽力をいただきました。また、(一社)八王子サッカー協会と貴協会には設立時社員となって頂き感謝いたします。

結びに、貴協会の益々のご発展を祈念申し上げ、いままでお世話になった素晴らしい仲間に深く感謝し、加え引き続き三多摩地区的サッカーの牽引者としてご協力いただけますことを切に希望いたします。

お祝いのことば



公益財団法人東京都サッカー協会特任理事
NPO法人多摩サッカー協会会長
座間直成

この度、一般社団法人町田サッカー協会が設立50周年の記念すべき節目の年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。

げます。

貴協会のこれまで50年という歩みの中では、様々なことがあったと思います。それらのこととに真摯に取り組み、貴協会が発展してきたのも歴代の会長や役員の皆様をはじめ、会員各位及び関係者すべての方たちの並々ならぬご努力と熱意の賜物であると深く敬意を表します。

町田と言えば最初に頭に浮かぶもの以前は「少年サッカーのまち町田」、今では「FC町田ゼルビア」です。ちょうど40周年の時にJFLに昇格されたと思いますがあれから10年でJ2優勝するような勢いで戦っています、これからもとても素晴らしいサッカーを見せて貰うことだと思います。

東京都の少年連盟のブロックでは町田・多摩・稲城の3市が同じブロックで毎月のように大会で対戦し技術の向上と交流を深めています。今までに多くの優秀な選手を輩出している貴協会これからも多くの選手が生まれると思いますが、多摩市出身の選手がゼルビアでプレーする日を夢見ています。

設立50年という節目の年を迎えた貴協会のますますの発展と皆様のご健勝を祈念してお祝いのことばといたします。

設立五十周年に寄せて



衆議院議員
小倉将信

町田サッカー協会様が設立五十周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

町田サッカー協会様が設立された一九六八年は、メキシコ五輪で日本代表が銅メダルを獲得するという偉業を達成した年でした。

五十年が経ったいま、先のワールドカップでの感動や、来

る東京五輪での日本代表への期待が示すように、サッカーというスポーツが日本の国民的スポーツのひとつと認知されているのはご承知の通りです。

この半世紀の世界情勢や日本の出来事を振り返れば、「プラハの春」、ケネディ暗殺、パリ「五月革命」、バブル景気、石油ショック、インターネットや携帯電話の普及、少子高齢化など、まさに激動の時代がありました。

目まぐるしく変化する時代の中で、長きに亘り町田市の発展にご尽力されてきたことに敬意を表します。

町田サッカー協会様の取組みや弛まぬ努力からは、皆様から選ばれた国会議員として、継続して国政や地域のために貢献すること、真摯に誠実に行動する大切さを改めて実感しております。

プロサッカー、フットサルへの支援のみならず、様々な世代の方へのスポーツ普及活動など、精力的に活動をされておられる町田サッカー協会様が、今後もサッカーを通じ、町田市の発展とスポーツ振興の一翼を担っていただくことを願ってやみません。

結びに、町田サッカー協会様の今後の益々のご発展と、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念致しまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。

創立50周年を祝して



NPO法人相模原市サッカー協会会長
八木下智孝

このたび、町田サッカー協会が、創立50周年を迎られましたことを、誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

当時のサッカーを取り巻く環境は現在とは比較にならず指導者も少なくサッカー施設も皆無に等しかった時代でした。

こうした環境の中、半世紀にわたり一つの組織として、人材の育成、事業の充実そして普及促進に努められ組織とし

て発展してまいりましたのも、岸本理事長をはじめ、歴代の役員、会員の皆様のサッカーに対する搖るぎない情熱と不屈の努力の賜物であり、ここに改めて深く敬意を表す次第です。

本協会も各種事業でご指導と交流をいただき、毎年実施しています地域交流事業「武相新春サッカー大会」もあと少しで半世紀を迎えようとしていますが、これもひとえに貴協会の並々ならぬご尽力があり開催されています、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

近年、サッカーを取り巻く環境も大きく変化し、本年度の「ワールドカップアジア大会」では日本代表チームが前評判をくつがえす大活躍でさらにサッカーが一段と注目されています。一方で生涯スポーツとして子供からシニア層に至るまで幅広い年齢層の方々に親しまれる人気の高い競技の一つとなっています。

貴協会は、様々な年齢層の各種大会等で輝かしい実績を挙げて人材育成に努められていますが、これも役員、指導者及び会員皆様の永年にわたる普及活動の成果であると確信しております。

町田サッカー協会がこの輝かしい創立50周年を契機に、ますますご発展されるとともに会員皆様のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げまして、お祝いのことばとさせていただきます。

夢に向かって挑戦



衆議院議員
伊藤俊輔

町田サッカー協会設立50周年おめでとうございます。
町田市はこれまで北澤選手や戸田選手など国際舞台で活躍できる多くのサッカー選手を輩出し、サッカー愛好者を含めれば1万人とも云える「サッカーの街まちだ」を創って頂い

て参りました。岸本理事長をはじめ、これまでの歴代の理事長、役員、指導者などご尽力頂きましたすべてのご関係の皆様に心から感謝とお祝いを申し上げます。

FC町田ゼルビアは、長い間、特別大きな企業などに支えられることもなく地元の中小企業や商店、何よりもサポーターの熱い応援に支えられて成長を続けて来られたと思います。また町田青年会議所の皆さんもグランドの整備をし、主催の例年の大会は選手の成長の原動力にもなって頂いていたと思います。

町田市にプロサッカーチームを作ろうという長年の大きな夢がいまJ1を目指し現実になりつつあります。そのためには、スタジアムや練習グランド、会場へのアクセス、選手の方々の働く場などの環境整備、またなにより多くの市民の皆さんのがサポーターとなって応援の輪を広げて頂き、市民の手によって夢を実現することが必要です。

私も小学校から地元鶴川ドラゴンズにてサッカーを学び、学校の部活でもサッカー部で青春時代を過ごした1人として多くの方がサッカーを通じ、国内や国外で活躍できる人材が育つことを切に願っております。50周年、誠におめでとうございます。

町田サッカー協会 創立50周年を祝して



一般社団法人町田青年会議所理事長
三沢 亮介

町田サッカー協会創立50周年、誠におめでとうございます。また日頃より「JC杯少年サッカー大会」をはじめ、多くの事業におきまして格別のお力添えを賜り、心より御礼を申し上げます。

「サッカーの街」の二つ名を持つほどサッカーが盛んな町田市は、プロサッカーチームのFC町田ゼルビアとフットサルクラブのASVペスカドーラ町田を擁しています。ゼルビアはJ2リーグ復帰を果たし、さらにはJ1リーグ昇格の夢がいよいよ手の届くところまでまいりました。ペスカドーラはFリーグの最高峰ディビジョン1で活躍されています。

このように町田市の地域ブランド力向上に寄与する両チームのご活躍があるのは、貴会の長年にわたる支えがあったからに他なりません。そんな両チームのご活躍は町田市民43万人に夢と希望を与えるばかりではなく我々の誇りでもあり、今後更なる飛躍が期待されるところであります。

我々町田JCといしましても基本理念である「明るい豊かな社会」の実現に向け青少年健全育成の一環として、「わんぱく相撲」や「JC杯少年サッカー大会」等を開催し、スポーツを通じたまちづくりを行っております。今後とも我々町田JCの活動に対しましても格別なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴会のさらなるご発展と皆様のご健勝、そしてサッカーを中心とした町田市のスポーツ文化の更なる飛躍を心より祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

町田サッカー協会 設立50周年に寄せて



一般社団法人町田市コンベンション協会会長
小島 政孝

町田サッカー協会設立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、この記念すべき節目に、これまで町田サッカー協会が築いてこられた伝統と、輝か

しい歩みをまとめられた記念誌が発行されることをお喜び申し上げます。

町田サッカー協会は、町田市におけるサッカーを通じた選手の育成をはじめ、社会貢献活動などを目的に設立されて以来、50年の永きにわたり「サッカーの街」として全国に馳せ、多くのプロサッカー選手や指導者を輩出されたことは貴協会の皆様方の並々ならぬ努力と熱意の賜物であり、改めて敬意を表します。

当協会も設立10年目を迎えますが、町田サッカー協会のように末永く多くの人々に親しまれ、愛され続ける協会に発展していきたいと、日々精進しております。町田サッカー協会は当協会の会員であり、観光に関しても積極的に取り組んでいただいている。当協会もサッカーをする人、見る人、支える(育てる)人が町田を愛し、町田に訪れていただけるよう観光振興に努めてまいります。

結びに、町田サッカー協会の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げまして、設立50周年のお祝いの言葉といたします。

「設立50周年記念誌」 発刊によせて



町田商工会議所会頭
深澤 勝

一般社団法人町田サッカー協会が設立50周年を迎られましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より貴協会の皆様にはスポーツ活動を通じて子供たちの健全育成や社会貢献事業にご尽力賜り、深く感謝

申し上げます。

町田市は昔から「サッカーが盛んな街」として静岡県藤枝市と清水市(現静岡市)と並んで全国的に有名な街であり、町田出身のJリーガーも多く活躍しております。

現在も市内にはホームタウンチームJリーグ「FC町田ゼルビア」、Fリーグ「ASVペスカドーラ町田」と2つのサッカーチームがあり、身近でプロ選手たちの活躍を見ることができるすばらしい環境に恵まれ、サッカー選手になる「夢」を持つ多くの子供たちに希望を与えてくれています。

さらに貴協会が中心となって子供から大人までスポーツを楽しめる環境を整備され、今後も貴協会の「町田のサッカーをもっと発展させていくために。未来を創造する子供たちを育てたい!」という想いを、当所といたしましても微力ながらお手伝いをさせていただければと思います。

貴協会がこの輝かしい50周年を機に英知をしづり、一致団結して従来にもまして、町田のサッカーの発展に情熱を傾けられるよう期待するとともに、新たな時代へと飛躍する大きな節目となりますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

更なる発展と飛躍を祈念し



※左から故五十子氏・筆者

一般社団法人町田サッカー協会前専務理事
佐藤 光一

遡る事50年前の1968年、渋谷謙三さんが市役所の仲間と立ち上げた町田サッカー協会(以後MFA)はサッカー好きのお兄さん達の集まりから、今では町田市内に二つのプロフトボールクラブ、Jリーグ「FC町田ゼルビア」、Fリーグ「ASVペスカドーラ町田」を擁し、また市内のMFA加盟競技人口も指導者含め3,600名を数える大きな団体となりました。

私はこのMFAに理事として迎えていただき11年経ったこの年に退職させていただきましたが、そもそもお付き合いからの話を、故人となってしまった愛すべき方の話をも含めて、この50周年記念冊子に記していきたいと思います。

«1993年~2007年»

いまから25年前ですが、私が所属していた「町田青年会議所(以後JC)」が、市民協同事業の一つとして始めた「チャリティーサッカーフェスティバル93 IN MACHIDA」。この事業は形を変えつつも今でも継続していますが、93年といえば日本では「Jリーグ」が発足し、国立で行われた開会式での三浦カズ選手の華々しい登場は、記憶に新しい所です。そんな中我が町田でもJリーグクラブを招致しよう、いや、来なけりや立ち上げよう、とJC、MFA、行政の方々が実行委員会を立ち上げ第1回記念試合を「読売ヴェルディVS町田選抜選手」との試合を行いサッカーをもっと市民に広めようと始めました。

JCはそれまで、冠事業の一つである「JC杯少年サッカー大会」を通じて、MFAとは事業を展開していましたが、この「サッカーフェス実行委員会」の立ち上げの頃から更に強い繋がりが生まれた事は、当時25歳だった私も「すげー」と思ったかどうか忘れましたが、大きな一步だと今では考えられます。

が、表題の期間までのMFAは何しているか知りませんで

した。

このサッカーフェスの始まりの頃は「町田にJリーグ来るの?無理だろ」と大半が思っていたはずで当時のJクラブは市町村ではなく「大企業所有のクラブ、ついでに県の支援」。

東京はヴェルディがあるし、町田にはそんな金と場所なんて無い!と思っていました。
ま、そんな程度です。

そのサッカーフェスも継続していきますが、JCは実行委員会の一人としてだけで、年に一回開会式で挨拶する程度。諦めの悪い一部のJCメンバーが当日焼きそばを適当に焼きたながら飲み屋で叶いもしない夢の話で喧嘩して、また飲んでの繰り返し。やがてその方もJCを卒業し、その頃くらいだったか立ち上げに尽力した「NPO法人」の役員も退職し、少年野球の運営にその剛腕を注ぐことになります。

私も2005年JC理事長としてサッカーフェスで挨拶したと思いますが、背広を脱がされ焼きそばを焼かされた事しか覚えておりません。辛く悲しい思い出です。

その翌年2006年はFリーグが発足し、町田市をホームタウンとする「ペスカドーラ町田」が誕生しますが、フットサルは屋内スポーツなので、町田成瀬体育館を使用するに、町田市は許可しても体育館側が許可しない、という理解しがたい構図に苦労しが、その際尽力したのがJCでした。

私はその頃くらいから、MFAから声をかけていただき「理事会で全員の承認が無くては受けない」となどカッコつけて条件を出させていただき翌年の2007年からお世話になることになります。

リフティングなんてまぐれで3回、実際何人でやんの?公園?スタジアム?てか、カズと北澤はどこ守ってんの?国技にすんならプロレスだろ、くらいのレベルで当時は随分苦労をおかけしたと思います。

単純な国粹主義者だったので、前出のペスカ招致で苦労した時は当たり前のように「MFAは政治家がいっぱいいるだろ」と思ってましたが話を聞くとどうやらあまり動いてくれなかつたらしい、あくまでも「らしい」です。直接お話を伺ってもサッカーはゼルビアで十分だろ、とも伺いました。これからサッカーもフットボールの時代、「多種多様化」していく中、昨日のルールは明日には変わっている時代です。少年サッカーなどは11人制から8人制になる時代です。今でもその意味は分かりませんが、とにかくサッカーを更に拡大し時代に対応するためには組織の一新が必要と強く感じました。

そして40周年を迎える2008年には「一般社団法人化設立」の為に組織の変革に着手する事になりますが、無理なお願いもお世話になった政治家、元政治家の方々にしなければならず、何回も日参しましたが、しかし皆様快く「退職」する事をお引き受けいただいた事は今でも大変感謝しております。

特に守生さんには、佐藤という苗字を見て僕を「画家の先生」と思っていたそうですが、「井戸を掘った人間を忘れるな」とお叱りを受け、あまりにも怖くて気づいたら萩原さんとご自宅の銅像にお辞儀していた事もありました。

夜ご自宅にお邪魔させていただいた際は、お酒を少々しながら息子さんである元市議会議員の渋谷武己さんから「オヤジいい加減に許してやりなよ」と助け船をいただいた

り、八木さんからは競技の方向性、行政との関わり方など3回ほどお邪魔させていただき、緊張して味は忘れましたが奥様からお蕎麦をご馳走になり楽しいお話をたくさん聞かせてくれました。

そしてMFAの組織も一新し、さて監事を誰に受けていただこうかという時にオファーさせていただいたのがサッカーフェスを立ち上げた1993年JCの理事長で、しかしその当時は心臓のご病気もされ、順調に回復に向かっていた少年野球指導者の五十子育雄さんでした。

五十子さんは私がMFAの理事を受けるか等の相談も頻繁にさせていただき、その後の組織改革などのお話でも勇気をもらっていました。何よりJリーグ立上げ時代からサッカーとゼルビアをこよなく愛していた方です。

ご病気もあり心配しておりましたが、その剛腕はむしろパワーアップし、アウターの負け試合を見た長野からの帰り、SAで出会った竹中君に説教し始め選手の移動バスを30分止めたり、昔話で理事会を中断させたり、飲むとすぐブツ飛んで喧嘩したり、ちょっと迷惑しましたが、何よりその行動力とブレない信念からは剛腕以外学ぶ事が多く、ガンが発見されステージIVと診断されても「いつ死ぬんだ?」くらいお元気でした。

50周年を迎える本年、皆様にお配りする本紙の表紙にある「50周年ロゴ」は五十子さんの力作です。半日かけて一生懸命作ってくれました。特に「F」はサッカーボールをあしらっているのでお楽しみください。

本日の式典に五十子さんがいないのは残念ですがDNAは誰かに引き継がれていると思います。

ゼルビアもペスカもまだリーグ優勝経験がありません。スタジアムもアーナも満足のいく施設では無いと思いますが、行政の方々やサポーター、スポンサーの方々もたくさん応援してくれています。クラブ組織が大きく変わろうと変わるまいとそれぞれキッチリ地域と向き合ってシッカリ結果出して我々に見せつけてください。最近ではネットニュースでその活躍ぶりを眺めるくらいですが、どんな小さな地域のお祭りでもゼルビアが登場し子供たちを喜ばせているクラブが僕は大好きです。

結びに御礼の言葉で締めくくりたいと思います。まずは「一般社団法人町田サッカー協会」の一員として迎えてくれた石阪丈一町田市長をはじめとするスポーツ振興課、行政の皆さん、僕をMFAにオファーしてくれた直前理事長、現専務理事の萩原さんと事務局長の渡邊さん、記念誌投稿依頼してくれた岸本理事長始めMFA正副役員のみんな、ペスカ招致の立役者2006年JC理事長の石川清和君、ゼルビア、ペスカ役員、スタッフの皆さん、MFA初代会長の渋谷守生さん、八木邦治さん、長村敏明議員、熊沢あやりちゃんをはじめとする、町田市議会議員の皆さん、最後にホームゲームで僕と遊んでくれた両クラブの地域を代表するスポンサーの皆さん、お世話になった11年はとっても楽しい時間でした。これからも町田サッカー協会、ゼルビア、ペスカがご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、ブレない信念は今後も引き継いでくれると確信しております。

最後の最後に本当にありがとうございました!



左から故五十子氏・ゼルビー・守屋氏・星氏

租税教育を通して 税とスポーツコラボ



公益財団法人町田法人会会長
三橋信介

このたびは町田サッカー協会設立50周年を迎えるにあたりまして、深く敬意を表しますとともに心からお祝い申し上げます。

昭和の時代から「サッカーの街まちだ」として希望あるサッカーの街に発展させ、全国に名を馳せてきたという実績は、小学生からシニアまで約3,600名の方が登録し、活躍され

てきた賜物とご拝察申し上げます。

また今年は「MACHIDA FOOTBALL FESTA 2018-2019」と銘打って様々な記念事業を展開する一環としてこの記念誌が作成されること、サッカーの歴史や先人たちが培った魅力を再認識できるものと思われます。

当会は「健全な経営・正しい納税・社会貢献」を主要なテーマに活動をすすめている民間の税務関係団体で、よき経営者をめざすものの団体です。税のオピニオンリーダーを目指し、税知識の普及を中心に置き、近年においては子供たちへの租税教育に力を入れております。今年は少年サッカークラブへお邪魔して税金紙芝居「かねしばい」で税金のある豊かな暮らし、税金を納める立場に立った目線の暮らし、最後に税金が無い不便で不衛生な暮らしと3部構成で税金の大切さを説いています。4月に南大谷キャッツSCと小山FCで練習後に開催、また9月にはフットサルASVペスカドーラ町田との合同イベント「租税教室&特別フットサル教室」を開催しました。

このように当会としても、町田のサッカー及びスポーツのさらなる飛躍の一助となるよう、努めてまいりたいと存じます。

最後になりましたが、町田サッカー協会の益々のご発展と関係者の皆様方のご健勝をお祈りして、私のご挨拶といたします。

町田サッカー協会 50周年を祝って

CPM生活者マーケティング(株)代表取締役
(渋谷謙三内)

渋谷貞子

この冊子の編集担当者様から「町田市にサッカー協会が出来て50周年です!」

と聞かされ、月日の流れの速さに驚く私でした。8年前に亡くなった主人謙三は32才前後から、町田市にサッカー協会を作る事に奔走していました。何事にも夢中になる熱血漢だった謙三、大好きだったサッカーを何とか町田市に根付かせようとしていたのです。幸いにもそれに同調して下さる方々がおられ、大勢のご協力のもとに協会が出来たのだと思っております。

協会が出来てから約20年後、町田市からJリーグの選手が何人か誕生しました。その時の謙三の喜びようは今も忘れません。「ゼルビア」の誕生も主人の生きがいの一つになりました。「町田はサッカーの町」として定着、勇気や感動を多くの市民に与えてくれる存在となりました。私はゼルビアの活躍ぶりを主人の神前に報告しています。先日も「あなた!もうすぐゼルビアはJ1リーグよ!」と報告しました。「本当か?」と云つ

たように聞こえました。ニュースで今年の昇格は延期と聞ましたが、そのニュースは、暫く謙三には内緒にしておきます。

サッカーは、子供たちの心身を育む事から始まり、まちづくり、更には文化にもなって行くと謙三は常々言っておりました。50年経った今の町田サッカー協会の活動が、私たちにそれを指し示してくれています。

ゼルビアの一日でも早い1部リーグ昇格を祈りながら、町田サッカー協会が更にご発展される事を願い、亡き謙三と共に陰から応援させていただきます。



も忘れる事は出来ません。同年アルゼンチンコルドバ州選抜との交流も、今後の町田協会にとって、とても意義のある事だと感じました。

2007年には翌年の40周年事業に対する検討が始まり、協会として初めて今後の方向性を示した『アクションプラン2010』を作成しました。地域協会としては初めてではなかつたでしょうか。『する、見る、支える』を柱とした方針でした。

また、2011年には東京国体を見据えて、近隣地区では最初の法人化(一般社団法人)取得へと協会は進んでいきました。

そして、2013年には東京国体の会場運営など、行政の方々と力を合わせて実施させて頂きました。都内では一番の集客だったようです。同年、東京都からスポーツ功労賞を受賞いたしました。都庁での表彰式はとても緊張した事を覚えています。

この他にも、サッカーフェスティバルの復活、大学選手権(インカレ)の誘致など数々の事業を町田で開催する事が出来ました。

これは、一重に地域の活性化。活動する環境を良くするために、協会が一致団結して取り組んできた事の一部です。

私は50周年を迎えるに当たり、新しい体制、新しい協会で終わらうと心に期しています。

この他にも、サッカーフェスティバルの復活、大学選手権(インカレ)の誘致など数々の事業を町田で開催する事が出来ました。

これは、一重に地域の活性化。活動する環境を良くするために、協会が一致団結して取り組んできた事の一部です。

私は50周年を迎えるに当たり、新しい体制、新しい協会で

なければならない、と考え理事長職を降りる決断をしました。

町田には、J1を目指す『町田ゼルビア』、Fリーグ優勝を目指す『ASVペスカドーラ町田』がホームタウンとして活躍しています。

若い世代の大きな目標として力を發揮して、町田のサッカーの中心になつてもらいたいです。

協会も一緒にになって、地域のサッカー環境を良くするためこれからも、尚一層努力していかなければならないと考えます。

新しい50年のスタートです。近い将来ゼルビアはJ1で活躍してくれる事でしょう。ペスカドーラは今年にもリーグ優勝を届けてくれる事でしょう。

4年先には協会運営の人工芝グランドが出来るかもしれません。

継続は力です。この50年が見事に物語っています。

しかし、それを土台にして新たな一步を踏み出し、東京に町田有り、から、日本に町田有り!!を、大きく発信して貰いたいと考えます。

これからも、皆様の力を結集して、より良い『一般社団法人町田サッカー協会』にして行って下さい。

この13年に感謝、そして、これからの50年に大きな希望を!!

50年を祝して



一般社団法人町田サッカー協会シニアアドバイザー
和田 裕

町田サッカー協会の創立50周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

50年に渡り、町田市役所を始め、渋谷謙三さん、畠さん、重田先生達の功績は協会に対し誠に偉大なものでした。そして数多くの方々のご尽力に依り、この素晴らしい町田のサッカーが育って来たのです。

町田サッカーを振り返ってみてサッカーの楽しさ素晴らしさは何か、少年時代に自分が描いたプレーをフィールドで思いっきり実行をしてチームがゴールを奪い、勝利を勝ち取る

よろこびです。

その一番は町田のサッカー少年が栄え、そしてその名を全国に広め、土台を築き、FC町田ゼルビア(J2)、ペスカドーラ(Fリーグ)が加わりサッカーの町が誕生したのです。町田に、まさかJリーグが誕生することなど誰もが夢にも思っていなかったはずです。

私もサッカーに携わって42年になります。この間に、サッカー少年に一番の感謝と感動を受けた事、それは当時、昭和55年頃に町田サッカー協会が(28チーム)、東西南北の4つのブロックに分割され活躍していた時代です。そこで何か出来ないかと思い、協会の所属とは別に東ブロック(鶴川地区)5チームの選抜チームを結成し鶴川少年サッカー運営委員会を設立しました。

そして、サッカー王国静岡県清水市にて、少年草サッカー大会が開催され、北は(北海道)南は(九州)までの約270チームが参加、その第1回大会に少年18名を連れて参加しました。当時、清水サッカーの堀田会長、そして三浦和良がまだ18歳の頃でした。その大会に於いて、見事に全国第3位という輝かしい成績で鶴川に凱旋致しました。その後第8回迄参加しました。

又それとは別に鶴川カップ大会も32年間に渡り続けさせて頂きました事にも町田サッカー協会に厚くお礼申し上げます。

最後にサッカーとは!

「サッカー」それは世界で最も多くの人々に愛され、親しまれ

思い出、そして 新たなる50年を目指して



一般社団法人町田サッカー協会専務理事
(前理事長)
萩原智博

この度、町田サッカー協会は50周年を迎える事となりました。これも一重に関係各位のご支援、ご理解の賜物と深く感

謝しております。
私は、2005年4月から2018年3月までの13年間理事長を務めさせて頂きました。

50周年という記念すべき年に、この場にいられるとは思いもよりませんでした。

未熟者で町田出身ではない私が、この長きに渡り、務めさせていただいたのも、皆様方のお力添えがあったからこそだと、深く感謝いたしております。

思えば、私は理事長就任に当たり、この伝統のある協会をどの様に運営していくべきか本当に悩みました。その結果、まず初年度は前任者の継承、そして、問題点の洗い出し検討、その次に、その対策実施を3年計画として考えていました。

そして、組織もサッカー界だけでなく、青年会議所の歴代理事長に理事として参加して頂き、違う角度から協会を内部から見て頂くようにしてきました。

しかし、現実には思ったようには進まず、次から次へと新しい課題が増えて対策に追われていったのでした。

就任翌年の2006年にはASVペスカドーラの町田への誘致でした。初めてJFAハウスでヒアリングを受けたことは今で

ているスポーツであります。

サッカーというスポーツ活動を通して、大人も子供も多くの人々の友情が生まれ、そして子供達には学校以外の生活に於いて心や身体が豊かに育ち、それがゆくゆく社会に出、必ずや役に立つ事と思っております。

私自身もサッカーを通して、この42年間に多くの方々との交

友関係が結ばれた事にも感謝しております。

これから先も皆々様方の町田サッカー協会に暖かいご支援ご協力を賜り、60周年に向けて新しい一步を踏み出し、町田サッカー協会の今後増々の発展を御祈願すると共に協会加盟チーム並びに諸団体のご繁栄をお祈り致します。

50周年に寄せて



一般社団法人町田サッカー協会副理事長
加藤 仁

一般社団法人町田サッカー協会創立50周年、おめでとうございます。創立50周年を迎えるにあたり、長年にわたる協会の普及・振興はもとより、協会組織が大きく発展し、今日を迎えられましたことに対して、歴代の役員・会員・選手の皆様に深く敬意を表する次第でございます。昨今、FC町田ゼルビアがJ1昇格争い出来るチームとなり、またフットサルでは、ASVペスカドーラ町田がFリーグ優勝を目指し頑張っています。日々身近で日本の最高峰フットボールを肌で感じる事が出来ます。フットボールの楽しみ、喜び、夢を数多く感じられるよう、また子供たちが大きく成長し好きになれるよう運営して参りたいと思います。今後も一般社団法人町田サッカー協会が発展、成長する事をご祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

50周年に寄せて



一般社団法人町田サッカー協会副理事長
徳満 弘毅

創立50周年、心よりお慶び申し上げます。協会設立時より現在に至るまで町田のサッカーの発展にご尽力頂いた歴代役員、各クラブの指導者、選手の皆様に深く敬意を表する次第です。また、子ども達の活動を側面から支えてくださった保護者の皆様には深く感謝申し上げます。

50年に渡る町田のサッカーを支えてきたものは、様々な場面で活動している皆様のサッカーに対する「熱意」だと思います。それが「サッカーの町、町田」、「多くのJリーガーを輩出する町」を作り、「FC町田ゼルビア」へと繋がってきたものだと思います。

今後の50年も町田サッカー協会に関わる皆様の「熱意」が日々変化するスポーツ環境に対応し、様々な課題を克服し、より大きく成長させてくれるものと信じます。

ジュニア世代からシニア世代まで、草サッカーからトップレベルまで、多くの人が楽しめる「フットボールの街」を創り出していくことを心より願っています。

祝 町田サッカー協会 設立50周年



一般社団法人町田サッカー協会副理事長
加藤 友市

町田サッカー協会設立50周年を迎えられた事を心からお慶び申し上げます。

そして、半世紀に渡り町田のサッカーの発展にご尽力頂いた諸先輩方や関係者の方々のご努力に敬意と感謝を申上げます。

「全員サッカー」で頑張りましょう！



一般社団法人町田サッカー協会副理事長
山口 俊也

町田サッカー協会創立50周年おめでとうございます。50年前に現在の町田サッカーの興隆をだれが想像できたでしょうか。

また、記念事業を行うに当たり多くの方に賛同を得られた事と、快く協力・スポンサーとして頂いた方々にこの場をお借りし深くお礼を申し上げます。

私は22年前に町田サッカー協会の理事に就き、長らく財務の担当として会計を預かって参りました。平成23年に町田サッカー協会が法人化し一般社団法人となり、より厳密な会計処理も求められるようになり、各カテゴリーの会計担当者にも大きな負担をお掛けしている所です。サッカー協会も数々の課題を抱えておりますが、少子化による登録人数の減少やチーム数の減少は、他競技を含め各団体が抱える一番の課題であると思っております。安定的な運営を行うには、それぞれがスポーツの持つ魅力を幅広く発信しプレーヤーだけでなく、たくさんの人がスポーツに親しみ携われる環境を育てていく必要があると感じています。町田にはそのポテンシャルが十分備わっていると思います。

FC町田ゼルビアはJ1を見据えるチームになりました。また、ペスカドーラ町田も常にFリーグ上位のチームとなり数多くの代表選手を輩出しています。

これから10年そして次の50年へとサッカー協会も発展し「Footballの街」として町田の新たな復活を心より願っております。

これも協会の立ち上げに奔走された諸先輩、代々受け継いできた皆様、関係各団体のご努力の賜物だと思っております。深く敬意を表し感謝申し上げます。

協会の理念の一つである、町田のサッカーをもっと発展させていくために「する/観る/支える」を基本に、、、。

「する」は小学生からシニアまで協会所属チームが57チーム、会員数3,700名を超えるプレーヤーが各年代で楽しく！厳しく！プレーをしています。

「観る」は「我が街町田」のチームであるFC町田ゼルビアがJ2リーグで優勝争いをし、ASVペスカドーラ町田がFリーグで常に上位争いをし、多くの日本代表選手を輩出しています。

「支える」は協会所属の全会員、及び協会をサポートして頂いている関係諸団体・企業のご協力により町田のサッカーの発展に邁進しています。

町田のサッカーが今後も永く続き、そして50年後の100周年には「する/観る/支える」方のみんながサッカーで笑顔でいるよう、汗を流し、知恵を絞り、楽しみながら、「全員サッカー」で頑張りましょう！

Chapter

03

町田サッカー協会の歩み

— History of Machida Football Association —

町田サッカー協会の歩み

1967-1974

1967

渋谷兼三氏(故人、協会理事、当時町田市役所職員)を中心には
町田初のクラブチーム「トーターズ」が誕生(町田のサッカーの第1歩)

1968

5月19日、町田サッカー協会が誕生。初代会長に渋谷守生氏(故人、元都議)が就任し、
初代理事長には畠穰氏が就任した。

1969

- 全国サッカー少年団大会が鶴川地区を中心に開催。地元代表として、中学生が「全町田」を編成し参加
- 第1回町田社会人リーグが開幕。6チームが参加し、優勝は電気化学(現デンカ)。
- 8月にはJFA主催の全国サッカー少年団大会を鶴川地区中心に開催。
中学生の部には「全町田」を編成し参加した。

1970

- 第2回町田社会人リーグ開幕(8チーム参加、電気化学優勝)
- 第1回青少年の日サッカー大会開催。
- 読売ランド少年大会に町田からSSS、森野サッカースポーツ少年団、全町田が出場

1971

- 全国サッカー少年団大会に全町田を編成し東京代表として参加し、準々決勝進出。
- 東京サッカー少年団大会でSSSクラブが決勝進出。

1972

- 藤沢市制記念サッカーフェスティバルに町田から小学生3チームが招待参加。
- 町田市教員クラブ(マスカラードFC)が結成され、社会人リーグに参加。
この教員達による少年チームの指導育成が町田の少年サッカー普及に貢献することとなる。
- 青少年の日サッカー大会に、小学生9、中学生21、高校生7チーム参加

1973

- 第1回町田サッカー選手権大会(MFAカップ)開催。
小学生10、中学生15、一般15クラブが参加し激戦を展開した。(小学生は境川クラブが優勝)
- 全国サッカー少年団大会に参加したSSSが決勝トーナメントに進出。
- 小山FC等、新たに小学生7クラブが結成、SSS専用サッカー場が完成する等、
全国でも有数の少年サッカーの盛んな地域へ発展。



第1回MFAカップ表彰する畠初代理事長



第1回MFAカップ優勝の境川クラブ

1974

- 第1回MFA小学生リーグ(18チーム参加)、中学生リーグ(15チーム参加)が開幕。
小中ともSSSが優勝した。このリーグ戦開幕が町田の少年サッカーのレベル向上の原動力となった。
- 全国サッカー少年団大会にて、東京代表のSSSが決勝に進出、全古河に敗れ準優勝。
- 第1回町田招待東京少年サッカー大会開催。全都から27チーム参加、SSSが優勝した。

1975-1979

1975

- 第2回町田招待東京少年サッカー大会開催。
全都から27チーム参加。
優勝SSS、準優勝境川クラブ、3位緑小と町田勢が上位独占した。
- 町田サッカー友の会がMFAの事業後援を目的に発足
(初代会長は松田守一氏)
- 小山FCグランドが市内サッカー専用グランド第2号として完成。

1976

- 第3回町田招待東京少年サッカー大会開催。
準優勝森野SSS、3位小山FC、SSSと町田勢がまたしても上位独占した。
- MFA小学生リーグは1部2部制となり32チーム参加。
社会人リーグも少年団OBも増えてチーム数、レベルとも発展。
- 市内サッカー専用グランド第3号として小川サッカー場完成。
- 第1回友の会学年別ちびっこ大会開催(1~4年で60チーム参加)

1977

- 常葉町に町田JCの協力の下、専用サッカー場が完成
- 第1回全日本少年サッカー大会東京都大会で、SSSが優勝し東京代表に。
森野SSS、境川クラブもベスト4に入りベスト4は3チームが町田勢と活躍。
- 第4回町田招待東京少年サッカー大会で小山FCが優勝
- MFA創立10周年事業大会開催。
小学生は全国から長谷川、大槻、堀池擁する清水や藤枝、浦和、熊本、姫崎、古河等10チームを招き、
町田から境川クラブ、SSS、森野SSS、小山FCとMFAリーグの1部選抜、2部選抜が出場(清水が優勝)。
中学生は清水クラブ、浦和本太中、古河一中、藤枝西益津中、MFAリーグ選抜等8チームで開催(優勝は
西益津中)。高校生は藤枝東高と町田高校選抜が対戦し引分。一般はジョージ与那城、ラモス、小見、
松木擁する読売クラブと町田選抜が対戦した。
- MFAリーグは小学生は33チームが参加、全体の底上げもあり大いに発展した。

1978

- FC町田トレーニングセンターが開始、第2回全日本少年サッカー大会に東京大会を勝ち抜き、
東京代表に。読売ランドで開催された全国大会では、決勝で清水FCに敗れ惜しくも準優勝。
- サッカー友の会主催ちびっこ大会では1年9チーム、2年24チーム、3年23チームと
小学生低学年からの育成が根付いてきた。

1979

- 少年サッカー場が完成。FC町田トレセン練習場、各種大会会場となる。
第3回全日本少年サッカー大会の東京予選(94チーム参加)にFC町田が出場し東京代表を勝ち取る。
(東京予選は東京を6ブロックに分けて予選リーグとなつたが、町田はこれまでの実績とチーム数により
単独ブロックと指定された)
- 市民体育祭大会にMFA傘下134チームが参加。大会後のエキシビジョンマッチでFC町田(中学生)は
全国中学生大会優勝の藤枝中と対戦し勝利。FC町田(小学生)は清水FC、船橋FCと対戦。



1980-1985

1980

- 第1回町田招待全国選抜少年サッカー大会が開催。
全国の強豪14チームを招待(FC町田2チームを併せ16チーム参加)。
FC町田は清水FCに敗れ惜しくも準優勝
- 女子サッカーがMFA傘下でスタート。
一般(中学生以上)16チーム、小学生16チームが大会等に参加。
- 第7回町田招待東京少年サッカー大会開催。
この大会より中学生大会(28チーム参加)も設けた。
小学生大会(56チーム参加)は決勝で本町田を破りSSSが優勝。
- FC町田(小学生)は第4回全日本少年大会東京予選は惜しくも3位となり全国出場を逃すも、
関東大会で古河を破り優勝、徳島招待大会で清水を破り優勝した。



関東大会に優勝したFC町田



表彰状

1982

- 第6回全日本少年サッカー大会東京予選を勝ち抜いたFC町田は
全国大会決勝で清水FCに敗れ準優勝。連覇ならず。
- 小山FC(小学生)は東京都さわやか杯で優勝。
MFAリーグ前後期、JC杯、MFAカップ、キリンカップ予選と市内大会ほぼ全制覇。
(FC町田として全日本大会出場の3名中心に大活躍)
- 小学生の部は登録チーム数27クラブへ

1983

第9回町田招待東京少年サッカー大会開催、
森野SSSが初優勝。

1984

SSSが第8回全日本少年サッカー大会に
東京代表として出場し、清水FCを破り3位となる。
単独チームとして選抜クラブの雄である清水を
破るのは快挙とも言え、町田の少年サッカーの
レベルの高さを全国にアピールした。



全日本少年大会に東京代表として出場した町田SSSクラブ

1981

- 第5回全日本少年サッカー大会で悲願の初優勝。少年サッカー日本一となる。
その内容も素晴らしい、ロングパスを多用しない細かいパスを展開する美しいサッカーは
「ヨコガタテを制した」と新聞で評されるほどだった。
サッカーの街・町田の名を全国に轟かせた大会となった。
- 少年サッカー場に、日本一の記念としてナイター照明設備を設置
- 第2回町田招待全国選抜少年サッカー大会を開催しFC町田は優勝。
- 三多摩クラブ選手権(一般の部)にMFAリーグ優勝の白頭山が出場し準優勝した。

1985

- FC町田ジュニアユースが結成。
第6回高浜大会兼日本クラブジュニアユース選手権プレ大会に参加しベスト4に。
読売ユースB(ジュニアユース)とFC町田ジュニアユースのレベルの高さは傑出していた。
- 東京少年サッカー大会で3連覇を狙う読売ユースを決勝で破り、小山FCが優勝。

1986-1990

1986

- 第1回日本クラブジュニアユース選手権大会にFC町田ジュニアユースが参加。米山(現FCトリプレッタ代表)を中心に素晴らしいサッカーを展開し3位入賞。大会史上最高のチームと評された。
- 三多摩クラブ選手権大会(一般の部)で小山FCが町田代表で出場し、全員少年クラブ育ちのテクニックを披露し優勝。
- FC町田ユースが誕生。

1987

- 第11回全日本少年サッカー大会に東京都予選を勝ち抜いた小川FCが出場。
- 小山FCの丸山良明(現:タイ,ランシットFC監督、元マリノス、アルビレックス、ベガルタ)が世界少年サッカー大会日本代表に選抜。
- FC町田(鶴川分室)が清水の全国少年少女草サッカー大会で3位入賞。
- 三多摩選手権(中学生の部)で南大谷が準優勝

【 MFA創立20周年記念事業実施 】

- ①記念パーティ及びJFA長沼専務理事の保護者向け講習、
- ②ジョージ与那城の基調講演及び模範技術披露、
- ③記念試合などを実施した。

1988

- 第3回日本クラブジュニアユース選手権にFC町田ジュニアユースが出場。読売クラブに決勝で敗れ準優勝を果たす。
- 第12回日本クラブユース選手権にFC町田ユースが出場。読売FCユースAに決勝で敗れ準優勝を果たす。



FC町田ジュニアユース／クラブジュニアコース準優勝

1989

- 第4回日本クラブジュニアユース選手権にFC町田ジュニアユースが出場し、またしても読売クラブに敗れ準優勝。
- 第1回全日本ジュニアユース選手権高円宮杯出場し、ベスト8に。
- FC町田ジュニアは、船橋招待、相模原招待などで技術の高さを見せて優勝した。



1990

- 野津田陸上競技場が完成し、町田のサッカーの聖地に。こけら落としとして、読売クラブvs日本ユース、全日空vsオリンピック日本代表の試合を開催。
- FC町田ジュニアユースは、第5回日本クラブジュニアユース選手権に出場しベスト8に。
- FC町田ユースは第14回日本クラブユース選手権に出場し、決勝で読売ユースに敗れ、準優勝。
- FC町田のトップチーム結成(重田氏が初代クラブ代表に就任)。



FC町田ユース・全日本クラブユース準優勝

1991-1995

1991

- FC町田ジュニアユースは第6回日本クラブジュニアユース選手権に出場し、ベスト8。また第3回全日本ジュニアユース選手権高円宮杯では関東大会を制し、全国大会に出場し、ベスト8。
- FC町田ユースは第15回日本クラブユース選手権に出場。



この年のFC町田ジュニアユースは優秀な選手が多く、優秀選手対抗戦の東軍に坂野、熱田、小峰、黒坂、石川と5名も選出された。



富士屋



第6回日本クラブジュニアユースサッカー選手権大会

1992

- 翌年開幕を迎えるJリーグに参加する全日空から町田をホームタウンとしたプロサッカーチームを作りたいと提案されるが、予算の問題で破談となる。
- FC町田ジュニアユースは、戸田(元日本代表)、酒井(元Jリーガー、現ゼルビア指導者)、木町(現小山FC指導者)他を擁し、第10回日本クラブジュニアユース選手権に出場し、優勝が期待されるもベスト8。また全日本ユース選手権高円宮杯にも出場し、関東大会で読売ユースを破り優勝、全国大会でも力を発揮し3位入賞した。
- FC町田ジュニアユースはイタリア遠征し、伊サッカー協会指導者に指導を受け、親善試合などもおこなった。
- FC町田ユースは第16回日本クラブユース選手権に出場。

1993

- 5月Jリーグが開幕し、日本中がサッカーフィーバーに湧いた。町田からは北澤豪、藤吉信次、鈴木健仁、梅沢学、飯島寿久の5名をJリーグに送り込んだ。秋にはアメリカワールドカップ最終予選に進んだ日本代表は所謂ドーハの悲劇で初のワールドカップ出場を逃した。
- FC町田ジュニアユースは第8回日本クラブジュニアユース選手権に出場し、ベスト16。
- FC町田ユースは第17回日本クラブユース選手権に出場し第3位入賞。また全日本ユース選手権高円宮杯にも出場した。
- 第3代MFA理事長に守屋実が就任
- FC町田(トップ)は91年に東京都社会人リーグ4部から参加し、一步一步昇格を進めていった。
- 市内でプロチームを作ろうという機運が高まり、町田JC、MFAが中心となり「町田にJリーグクラブを誘致する会」が発足した。

1994

- FC町田ジュニアユースは初めて日本クラブジュニアユース選手権の出場を逃した。また前々年に続きイタリア遠征を実施した。
- 一般の部で登録チーム数は44チームと増えて、協会設立四半世紀を越えてジュニアだけでなく成人までサッカー文化が根付いたと実感させた。

1995

- FC町田ジュニアユースは星、水谷等ジュニア上りの選手を中心に優勝目指すもベスト8に。
- FC町田ユースは第19回日本クラブユース選手権に出場した。
- FC町田(トップ)は天皇杯東京予選(東京カップ)で快進撃し、関東リーグ所属チームとの接戦(PK負け)が評価され全国社会人サッカー選手権大会関東予選出場権獲得。

1996-2002

1996

- アトランタオリンピック開催。日本代表はマイアミの奇跡でブラジル撃破。
女子日本代表に町田出身の大竹奈美が選出され出場した。
またU-19ワールドユース出場獲得したU19日本代表に戸田(FC町田ジュニアユース出身)が選出されレギュラーとして活躍した。女子日本代表には町田出身の大竹奈美が出場した。
- FC町田ジュニアは船橋招待などで優勝。
FC町田ユースの原佑介が東京国体候補に選出されオランダ遠征に参加した。
また全日本女子ジュニア選手権の東京選抜に秋田裕美、新戸萌が選抜され、優勝した。
- MFA初代理事長、副会長も歴任された畠穂氏が4月逝去された。MFAへの功績は計り知れない。

1997

- 日本代表、98年フランスW杯への出場権を獲得。
町田出身の北澤豪氏が予選突破に貢献
(北澤氏は町田市民栄誉賞受賞)

【 MFA創立30周年事業 】

- ①伊サッカー協会指導者による指導者講習会、
- ②日本代表加茂監督の記念講演、
- ③記念式典 等を実施。

- FC町田(トップ)がFC町田ゼルビアへ変更



全日本少年大会に東京代表として出場したCYD。
先頭10番は、現FC町田ゼルビア10番土岐田選手

1998

- 日本代表、98年フランスW杯出場(WC初出場)
- 北澤豪氏が初の町田市名誉市民に。
- FC町田ゼルビア、東京都社会人リーグ1部に昇格。関東社会人サッカー大会も出場権獲得。

1999

- 【 ペスカドーラ町田 】**
CASCAVEL TOKYO(ペスカドーラ町田運営母体) 設立

2000

- 【 ペスカドーラ町田 】**
- 第6回 全日本フットサル選手権東京都大会 優勝
 - 第6回 全日本フットサル選手権 優勝
 - SuperLeague2000 優勝

2001

- 八木邦治氏が第2代MFA会長に就任。(渋谷守生氏は名誉会長に)
 - FC町田ゼルビアに事務局設立(小森忠明事務局長)
- 【 ペスカドーラ町田 】**
- SuperLeague2001 優勝

2002

- ワールドカップ日韓大会開催。戸田和幸選手(FC町田ジュニアユース出身)が出場。日本代表はベスト16進出。
- 戸田和幸氏は2人目の町田市名誉市民賞受賞。
- MFAに技術委員会設置。
- INAS-FID(障害者ワールドカップ)が開催され、野津田陸上競技場も会場に。

【 ペスカドーラ町田 】

- 第4回 関東フットサルリーグ 優勝
- 第8回 全日本フットサル選手権東京都大会 優勝
- 第8回 全日本フットサル選手権関東大会 優勝
- 第8回 全日本フットサル選手権 3位
- 第3回 フットサル地域チャンピオンズリーグ 優勝

2003-2008

2003

NPO法人アスレチック町田を設立、FC町田ゼルビアの運営を委託。

【 ペスカドーラ町田 】

- 第5回 関東フットサルリーグ 準優勝
- 第9回 全日本フットサル選手権東京都大会 準優勝
- 第9回 全日本フットサル選手権関東大会 優勝
- 第9回 全日本フットサル選手権 3位
- 第4回 フットサル地域チャンピオンズリーグ 優勝

2004

上の原グランド完成。クレーグランドながらもフルピッチグランドが身近にできた。

【 ペスカドーラ町田 】

- 第6回 関東フットサルリーグ 4位
- 第10回 全日本フットサル選手権東京都大会 準優勝
- 第10回 全日本フットサル選手権関東大会 4位
- 第2回 東京フットサルカップ 優勝

2005

- 東京都サッカーリーグ1部優勝、関東サッカーリーグ2部へ昇格決定
- 町田招待選抜大会でFC町田ジュニアが優勝
- 第4代MFA理事長に萩原智博氏が就任

【 ペスカドーラ町田 】

- 第7回 関東フットサルリーグ 優勝
- 第11回 全日本フットサル選手権東京都大会 3位
- 第11回 全日本フットサル選手権関東大会 2位
- 第11回 全日本フットサル選手権 ベスト8
- 第6回 フットサル地域チャンピオンズリーグ ベスト4

2006

- FC町田ゼルビア、関東サッカーリーグ2部優勝、1部へ昇格決定
- 坪井選手(小山FC出身)がワールドカップドイツ大会に出場する日本代表に選出
- 市内で2番目の天然芝グランドとして小野路公園グランド開場。
- 三多摩大会でFC町田シニアが優勝した。

【 ペスカドーラ町田 】

- 第8回 関東フットサルリーグ 3位

2007

- 町田JFCジュニアユースが日本クラブジュニアユース選手権に出場しベスト16進出。
- 町田JFCジュニアが関東大会出場。
- FC町田ゼルビアは関東リーグ1部優勝し、地域リーグ決勝大会に出場。

【 ペスカドーラ町田 】

- ASV PESCADOLA MACHIDA(現在のペスカドーラ運営母体)設立
- Fリーグ2007 4位
- 第13回 全日本フットサル選手権 ベスト8

2008

- FC町田ゼルビアは関東リーグ1部を2連覇達成。
- FC町田ゼルビアは全国地域リーグ決勝大会に出場し、無敗で優勝を決めてJFL昇格決定した。

【 MFA創立40周年事業 】

- ①式典開催/40周年誌刊行 ②エキシビジョンマッチ 実施

【 ペスカドーラ町田 】

- オーシャンアリーナカップ2008 4位
- Fリーグ2008 5位
- 第14回 全日本フットサル選手権 ベスト8

2009-2012

2009

【 FC町田ゼルビアの1年間のあゆみ 】

- 1月 クラブエンブレム・ロゴを変更
- 2月 Jリーグ準加盟クラブに承認
- 8月 ゼルビー登場
- 9月 2010年シーズンのJリーグ入会断念を発表

●第2代MFA理事長 重田貞夫氏逝去

【 ペスカドーラ町田 】

- オーシャンアリーナカップ2009 ベスト8
- Fリーグ2009 準優勝
- 第15回 全日本フットサル選手権 ベスト8

2011

【 FC町田ゼルビアの1年間のあゆみ 】

- 1月 ランコ・ポポヴィッチ氏がトップチームの監督に就任。クラブ初の外国籍監督を招聘
- 7月 JFL松本山雅FC戦にてホームゲーム歴代最多入場者数「8,113人」を記録
- 12月 Jリーグ入会が正式に承認される

●小学部でフットサルカップ開催スタート

【 ペスカドーラ町田 】

- ペスカドーラ オーシャンアリーナカップ2011 予選敗退
- ペスカドーラ Fリーグ2011 7位
- ペスカドーラ 第17回 全日本フットサル選手権 ベスト8

2010

【 FC町田ゼルビアの1年間のあゆみ 】

- 1月 相馬直樹氏がトップチームの監督に就任
- 9月 2011シーズンのJリーグ入会断念を発表
- 12月 天皇杯中央大会へクラブ史上初出場しJ2の東京ヴェルディに勝利。

【 ペスカドーラ町田 】

- ペスカドーラ オーシャンアリーナカップ2010 ベスト8
- ペスカドーラ Fリーグ2010 9位
- ペスカドーラ 第16回 全日本フットサル選手権 予選敗退

●技術指導部でU12女子のトレーニングを開始する

2012

【 FC町田ゼルビア 】

- 1月 オズワルド・アルディレス氏がトップチームの監督に就任
- 11月 天皇杯ではクラブ史上最高位の4回戦(16強)進出を決めるも、J2最下位となり、JFL降格が決定。
- アルディレス監督が退任、楠瀬直木監督代行を経て、11月26日、秋田豊新監督が就任

【 ペスカドーラ町田 】

- オーシャンアリーナカップ2012 予選敗退
- Fリーグ2012 8位
- 第18回 全日本フットサル選手権 予選敗退

2013-2015

2013

【 FC町田ゼルビア 】

- 3月 秋田豊監督のもとJFL開幕
- 6月 秋田監督を解任。楠瀬直木強化部長が監督代行に就任
- 11月 JFLを4位で終えJ2昇格を逃す。J3リーグ参戦が決まる
- 12月 相馬直樹氏の2010年以来4年ぶりの監督復帰を発表

【 ペスカドーラ町田 】

- ペスカドーラ オーシャンアリーナカップ2013 ベスト8
- ペスカドーラ Fリーグ2013/2014 5位
- ペスカドーラ 第19回 全日本フットサル選手権 4位
- フットサル日本女子代表に、吉林千景選手(町田JFC出身)が選出
- 第1回マチダガールズカップを開催

2015

【 FC町田ゼルビア 】

- 3月 2年目のJ3リーグを迎える
- 9月 天皇杯2回戦で初のJ1クラブ(名古屋グランパス)勝利を記録
定食屋さん「ゼルビア×キッチン」オープン
ユース加倉井拓弥 トップ登録し天皇杯出場
- 10月 天皇杯3回戦でアビスパ福岡に勝利し、2012年以来の4回戦進出
- 11月 リーグ戦2位で終り、J2・J3入れ替え戦に進出
入れ替え戦第1戦・大分トリニータ戦で歴代最多8,629人の入場者数を記録
- 12月 入れ替え戦で大分トリニータに勝利し、2012年以来のJ2復帰を決める

【 ペスカドーラ町田 】

- オーシャンアリーナカップ2015 ベスト8
- Fリーグ2015/2016 2位
- Fリーグ2015/2016プレーオフ 5位
- 第21回 全日本フットサル選手権 優勝 日本一に
- アジア女子フットサル選手権で吉林千景選手が、7得点で最多得点記録者となる

2014

【 FC町田ゼルビア 】

- 3月 相馬監督のもと初のJ3リーグ開幕
- 11月 初のJ3リーグを3位で終える
- 12月 相馬監督の続投を発表。
2009年のJFL参戦以降、初めて2年連続で同じ監督が指揮を執ることになった

【 ペスカドーラ町田 】

- オーシャンアリーナカップ2014 準優勝
- Fリーグ2014/2015 8位
- 第20回 全日本フットサル選手権 3位



入替戦で勝利しJ2昇格を決める!



全日本フットサル選手権Champion!

2016-2018

2016

【 FC町田ゼルビア 】

- 2月 4年ぶりのJ2リーグが開幕
- 4月 クラブ初のJ2首位を経験
- 9月 ユース青木義孝選手 トップ登録
- 11月 シーズン7位で終了

1試合平均5千人超・年間総入場者数10万人超とクラブ最多を記録

【 ペスカドーラ町田 】

- Fリーグ2016/2017 3位
 - Fリーグ2016/2017プレーオフ 準優勝
 - 第22回 全日本フットサル選手権 ベスト8
- U-15日本女子代表に、石田千尋選手(境川イレブン出身)が選出

2018

【 FC町田ゼルビア 】

8月現在 J2リーグ戦2位

【 ペスカドーラ町田 】

- オーシャンアリーナカップ2018 3位
- 第5代MFA理事長に岸本直也氏が就任
- U-17日本女子代表に、石田千尋選手が選出
- U-15日本女子代表に、根府桃子選手(FC芹ヶ谷東京出身)が選出

2017

【 FC町田ゼルビア 】

- 2月 J2リーグ開幕
試合放送がDAZNに変わり、ネットでの試合観戦が普及
- ユース高校1年橋村龍ジョセフ トップ登録
- 11月 シーズン16位で終了
2年連続でJ2残留を果たす

【 ペスカドーラ町田 】

- オーシャンアリーナカップ2017 ベスト8
 - Fリーグ2017/2018 2位
 - Fリーグ2017/2018プレーオフ 準優勝
 - 第23回 全日本フットサル選手権 ベスト8
- U-16日本女子代表に、石田千尋選手が選出

Chapter 04

50年の大会記録
— 50 year Convention Record —

小学部:キリンカップ予選

6年生	1位	2位	3位
2002年	忠生	小川	町田JFC
2003年	つくし野	大蔵	小山
2004年	町田JFC	つくし野	小川FC
2005年	町田JFC	境川	金井
2006年	町田JFC	鶴間	芹ヶ谷
2007年	TRP鶴川	小山田	高ヶ坂
2008年	TRP鶴川	大蔵	芹ヶ谷
2009年	芹ヶ谷	小山田	町田JFC
2010年	TRP鶴川	小山	TFC

4年生	1位	2位	3位
2002年	町田JFC	KFC	つくし野
2003年	高ヶ坂	忠生	芹ヶ谷
2004年	町田JFC	芹ヶ谷	つるま
2005年	町田JFC	スバル	高ヶ坂
2006年	つくし野	TRP鶴川	忠生
2007年	忠生	高ヶ坂	芹ヶ谷
2008年	小川	小山	町田JFC
2009年	TRP鶴川	町田JFC	つるま
2010年	高ヶ坂	つくし野	高ヶ坂

2年生	1位	2位	3位
2002年	町田JFC	成瀬	大蔵
2003年	町田JFC	境川	つるま
2004年	小川FC	金井	芹ヶ谷
2005年	町田JFC	MG	境川
2006年	町田JFC	TRP鶴川	高ヶ坂
2007年	町田JFC	小川FC	つるま
2008年	高ヶ坂	町田JFC	大蔵
2009年	小山	開進	芹ヶ谷
2010年	TRP鶴川	小山田	町田JFC

中央大会参加チーム

6年生		
2002年	忠生(優勝)	小川(ベスト8)
2003年	つくし野	大蔵
2004年	町田JFC	つくし野
2005年	町田JFC	境川
2006年	町田JFC	鶴間
2007年	TRP鶴川	小山田
2008年	TRP鶴川	大蔵
2009年	芹ヶ谷	小山田
2010年	TRP鶴川	小山

4年生		
2002年	町田JFC	KFC
2003年	高ヶ坂	忠生
2004年	町田JFC	芹ヶ谷
2005年	町田JFC	スバル
2006年	つくし野	TRP鶴川
2007年	忠生	高ヶ坂
2008年	小川	小山
2009年	TRP鶴川	町田JFC
2010年	高ヶ坂	つくし野

2年生		
2002年	町田JFC	成瀬
2003年	町田JFC	境川
2004年	小川FC	金井
2005年	町田JFC	MG
2006年	町田JFC	TRP鶴川
2007年	町田JFC	高ヶ坂
2008年	高ヶ坂	町田JFC
2009年	小山	開進
2010年	TRP鶴川	小山田



小学部:こどもの国カップ予選

6年生	1位	2位	3位
2012年	町田JFC	小山	小山田
2013年	小山	大蔵	つるま
2014年	TRP鶴川	開進	つくし野
2015年	小川	本町田	レオヴィスタ
2016年	未開催		
2017年	本町田	レオヴィスタ	相原A
2018年	相原	つるま	TRP鶴川

4年生	1位	2位	3位
2012年	TRP鶴川A	小山A	小山田
2013年	開進	小山A	高ヶ坂
2014年	本町田	小山田	つくし野
2015年	小山	本町田	レオヴィスタ
2016年	本町田	大蔵	忠生
2017年	相原	つるま	TRP鶴川
2018年	町田JFC	小山田	本町田

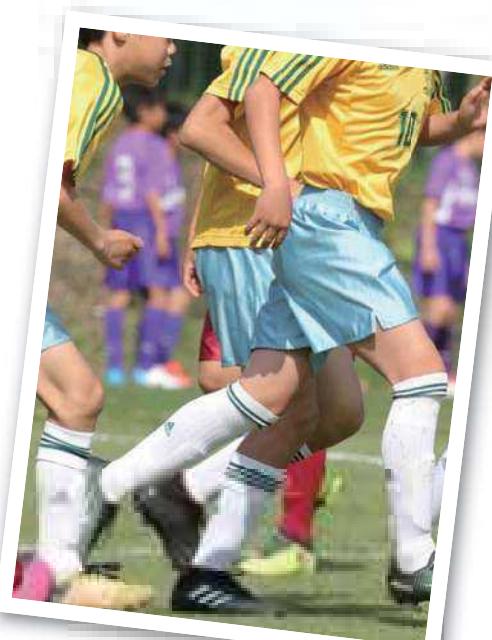
2年生	1位	2位	3位
2012年	町田JFC	TRP鶴川	南大谷
2013年	開進	小山	高ヶ坂
2014年	町田JFC	忠生	町田JFC
2015年	町田JFC	相原	レオヴィスタ
2016年	相原	レオヴィスタ	町田JFC
2017年	成瀬	小川	TRP鶴川
2018年	レオヴィスタ	小山田	町田JFC

中央大会参加チーム

6年生	1位	2位
2012年	町田JFC	小山
2013年	小山	大蔵
2014年	TRP鶴川	開進
2015年	小川	本町田
2016年	レオヴィスタ	小山
2017年	本町田	レオヴィスタ
2018年	相原	つるま

4年生	1位	2位
2012年	TRP鶴川A	小山A
2013年	開進	小山A
2014年	本町田	小山田
2015年	小山	本町田
2016年	本町田	大蔵
2017年	相原	つるま
2018年	町田JFC	小山田

2年生	1位	2位
2012年	町田JFC	TRP鶴川
2013年	開進	小山
2014年	町田JFC	忠生
2015年	町田JFC	相原
2016年	相原	レオヴィスタ
2017年	成瀬	小川
2018年	レオヴィスタ	小山田



小学部:マチダカップサッカーフェスティバル

	優勝	準優勝	三位	
1983年 第1回	町田SSS	浜松JFC	船橋FC	京都城陽
1984年 第2回	府口クSC	浜松JFC	小山	山王谷SC
1985年 第3回	船橋SC	清水FC	京都城陽	静岡FC
1986年 第4回		降雪により決勝トーナメント中止		
1987年 第5回	真岡西SC	町田クラブ	船橋FC	富士見が丘少年蹴球団
1988年 第6回	藤枝FC	小山FC	船橋FC	浜松FC
1989年		未開催		
1990年 第7回	藤枝FC	宇都宮JFC	四日市	船橋
1991年 第8回	宇都宮	船橋SC	久御山SS	真岡FC
1992年 第9回	宇都宮	藤枝	浜松	厚木GP
1993年 第10回	白百合	厚木GP	駒林	調布
1994年 第11回	未開催			
1995年 第12回	山崎FC	相原	忠生	南大谷
1996年 第13回	あざみ野	KFC	千代田	大和田
1997年 第14回				
1998年 第15回	駒林SC	小山	鹿島キッカーズ	高ヶ坂SC
1999年 第16回				
2000年 第17回	小山FC	清水北FC	MG	忠生
2001年 第18回	町田JFC	宇津木SC	小川	忠生
2002年 第19回	落合(多摩)	コラソン(相模原)	小川	ジュントス(川崎)
2003年 第20回	つくし野・セリエFC	南百合丘	FC奈良	上溝FC
2004年 第21回	コラソン	南百合丘	松が谷	六会湘南台
2005年 第22回	大和田(八王子)	南が丘(秦野)	大蔵	六会湘南台
2006年 第23回	トリプレッタ	高ヶ坂	コラソン	鶴洋アーセナル
2007年 第24回	小川	シルクロード	北貝取	大和田
	決勝大会雨天で中止各リーグの1位を記載			
2008年 第25回	バディ中和田	六会湘南台	芹ヶ谷	杉野百草
2009年 第26回	大和田(八王子)	小山	アローズ	小山田
2010年 第27回	多摩平Jr. SC	なかのSC	大蔵FC	つくし野
2011年 第28回	共和SC	町田JFC	高ヶ坂SC	小川FC
2012年 第29回	TRP鶴川	開進	多摩平	芹ヶ谷
2013年 第30回	小川	小山田	成瀬	大蔵
2014年 第31回	多摩平	シルクロード	小山	ミハタ
2015年 第32回	グラント	秦野本町	シルクロード	南山EFC
2016年 第33回	平山	小山	高尾	小川
2017年 第34回	シルクロード	本町田	秦野本町	六浦毎日
2018年 第35回	相原	COLORS	レオヴィスタ	青葉FC

小学部:ちびっ子大会

1年生	優勝	準優勝	三位	
1988年	成瀬			
1989年				
1990年	忠生	SCJ	高ヶ坂	成瀬
1991年				
1992年	山崎FC	成瀬	CYD	金井
1993年				
1994年	山崎FC	TFC	つくしの	CYD
1995年	高ヶ坂	山崎FC	小山	MG
1996年	つるま	小山	TFC	山崎
1997年				
1998年				
1999年				
2000年				
2001年				
2002年	町田JFC	高ヶ坂B	境川イレブンA	大蔵
2003年	小川	町田JFC	大蔵	町田JFC
2004年	町田JFC	町田JFC	小川FC	MG
2005年	町田JFC	小川FC	町田JFC	高ヶ坂
2006年	町田JFC	町田JFC	境川イレブン	高ヶ坂
2007年	高ヶ坂SC	町田JFC	町田JFC	TRP鶴川JR
2008年	町田JFC	相原	小川	小山田
2009年	TRP鶴川JR	町田JFC	高ヶ坂	開進
2010年	町田JFC	開進	TRP鶴川JR	山崎
2011年	境川イレブン	町田JFC	相原	町田JFC
2012年	小山	開進	小山B	相原
2013年	町田JFC	相原	開進	TFC
2014年	町田JFC	小川	相原	境川イレブン

2年生	優勝	準優勝	三位	
1988年	つくしの			
1989年	成瀬	町田クラブ	忠生	SCJ
1990年	町田クラブ	小川	成瀬	TFC
1991年	境川イレブン	高ヶ坂	鶴川ドラゴンズ	成瀬
1992年	山崎FC	高ヶ坂	忠生	TFC
1993年	山崎FC	CYD	金井	成瀬
1994年	成瀬	相原	鶴川ドラゴンズ	山崎FC
1995年	小山	つくしの	つるま	相原
1996年	つくしの	つるま	高ヶ坂	KFC
1997年				
1998年				
1999年				
2000年				
2001年				
2002年	つるま	町田JFC	忠生	MG
2003年	大蔵	高ヶ坂	忠生	つくし野
2004年	小川FC	高ヶ坂	山崎	大蔵
2005年	町田JFC	芹ヶ谷	つくし野	忠生
2006年	TRP鶴川JR	高ヶ坂	小川FC	ブルファイト
2007年	高ヶ坂SC	成瀬	小川FC	境川イレブン
2008年	高ヶ坂SC	町田JFC	小川FC	高ヶ坂SC
2009年	小川	小山	大蔵	TRP鶴川JR
2010年	TRP鶴川JR	開進	小山	小山田
2011年	小川	TRP鶴川JR	町田JFC	TRP鶴川JR
2012年	イレブン	TRP鶴川JR	相原A	TFC
2013年	開進	イレブンA	高ヶ坂	小川A
2014年	相原	本町田	小山	町田JFC

3年生	優勝	準優勝	三位	四位
1988年	町田クラブ			
1989年				
1990年	成瀬	忠生	南大谷	町田クラブ
1991年	成瀬		TFC	
1992年	小山田	忠生	成瀬	小川
1993年	高ヶ坂	山崎FC	小川	忠生
1994年	CYD	金井	小川	成瀬
1995年	大蔵	小山	つくしの	山崎
1996年	つるま	小山	相原	つくしの
1997年				
1998年				
1999年				
2000年				
2001年				
2002年	忠生	小山	小川	高ヶ坂
2003年	つるま	芹ヶ谷	小川	町田JFC
2004年	TRP鶴川JR	高ヶ坂	境川イレブン	小山田
2005年	芹ヶ谷	山崎	大蔵	小川FC
2006年	芹ヶ谷	町田JFC B	忠生	町田JFC
2007年	山崎	TRP鶴川JR	境川イレブン	つるまSC
2008年	小川	TRP鶴川JR	成瀬	町田JFC
2009年	町田JFC	つくし野	高ヶ坂	小山田
2010年	町田JFC	相原	芹ヶ谷	TRP鶴川JR
2011年	開進	小山	TRP鶴川JR	小山田
2012年	開進	小川	高ヶ原	町田JFC
2013年	本町田	境川イレブン	開進	TFC
2014年	つるま	高ヶ坂	開進	町田JFC

小学部:フットサル大会

3年生		優勝	準優勝	三位	四位
2007年	A	小川	相原	境川イレブン	TRP鶴川JR
	B	小川	町田JFC	小山FC	TRP鶴川JR
2008年	A	小川	大蔵	つるま	芹ヶ谷
	B	高ヶ坂	小山	境川イレブン	鶴川ブルファイト
2009年	A	町田JFC C	TRP鶴川JR		
	B	相原	町田JFC A		
2010年	A	小川	TRP鶴川JR	小山	大蔵
	B	大蔵	開進	つくし野	町田JFC
2011年	A	小川	TRP鶴川JR	町田JFC	高ヶ坂
	B	大蔵	開進	町田JFC	開進
2012年	A	町田JFC	小川	小山田	成瀬
	B	小山	小川	TRP鶴川JR	開進
2013年	A	本町田	小山	イレブン	大蔵
	B	小川	小山田	成瀬	大蔵

5年生		優勝	準優勝	三位	四位
2007年		大蔵 A	小川FC	小山田	つくし野B
2008年	A	芹ヶ谷	つるま	町口ク	南大谷
	B	小山田	すみれ	小川	忠生
2009年	A	成瀬	KFC	町口ク	TFC
	B	小川	小山	大蔵	小川
2010年	A	小川	小川	山崎	小山田
	B	芹ヶ谷	つくし野	町田JFC	芹ヶ谷
2011年	A	芹ヶ谷	小川	町田JFC	小川
	B	高ヶ坂	境川イレブン	小山	相原
2012年	A	小川	大蔵	芹ヶ谷	高ヶ坂
	B	小川	小山	開進	つくし野
2013年		小川	つくし野	本町田	町田JFC
2014年		小川	本町田	開進	小川
2015年		レオヴィスタ	小山田	南大谷	小川
2016年		小川	小山	南大谷	TRP鶴川JR
2017年		小川	本町田	レオヴィスタ	高ヶ坂

6年生		優勝	準優勝	三位	四位
2014年		成瀬	開進	小川	アルテスバル
2015年		小川	レオヴィスタ	小山田	本町田
2016年		つるま	小川	高ヶ坂	本町田
2017年		レオヴィスタ	小山	つるま	本町田

小学部:町田JC杯サッカー大会

6年生		1位	2位	3位
1977年	第1回	境川	小山	SSS
1978年	第2回	本町田	SSS	小山
1979年	第3回	小山	忠生	本町田
1980年	第4回	SSS	忠生	町五
1981年	第5回	小山	SSS	つくしの
1982年	第6回	小山FC	小川FC	SSS
1983年	第7回	SSS	森野	つくしの
1984年	第8回	緑ヶ丘	SSS	小川FC
1985年	第9回	小山FC	SSS	小山FC
1986年	第10回			南大谷
1987年	第11回			

5年生		1位	2位	3位
1977年	第1回			
1978年	第2回			
1979年	第3回			
1980年	第4回			
1981年	第5回			
1982年	第6回			
1983年	第7回	成瀬	小川FC	イーグルス
1984年	第8回	緑ヶ丘	小山FC	相原
1985年	第9回	小山FC	つくしの	ドラゴンズ
1986年	第10回			
1987年	第11回			

4年生		1位	2位	3位
1977年	第1回			
1978年	第2回			
1979年	第3回	小山	忠生	本町田
1980年	第4回	小山	SSS	森野
1981年	第5回	SSS	小川	イーグルス
1982年	第6回	小川FC	SSS	緑ヶ丘
1983年	第7回	小川FC	小山FC	忠生
1984年	第8回	小川FC	つくしの	境川
1985年	第9回	SCJ	金井	イーグルス
1986年	第10回			
1987年	第11回			

3年生		1位	2位	3位
1977年	第1回			
1978年	第2回			
1979年	第3回			
1980年	第4回			
1981年	第5回			
1982年	第6回			
1983年	第7回			
1984年	第8回			
1985年	第9回			
1986年	第10回	小川FC	つくしの	SCJ
1987年	第11回	忠生	金井	つくしの
1988年				
1989年		つくしの	町田クラブ	SCJ
1990年		成瀬	町田クラブ	忠生
1991年		成瀬	TFC	金井
1992年		小山田	TFC	小川
1993年		小川	TFC	
1994年		JFC	本町田	小山田
1995年		小山	千代田	相原
1996年		小山	MG	千代田
1997年				
1998年				
1999年				
2000年				
2001年				
2002年		忠生	府口ク	大和田
2003年		芹ヶ谷	星が丘	小川
2004年		南大野	渋沢	トリプレッタ
2005年		小川FC	芹ヶ谷	大根(秦野)
2006年		小川FC	落合SC (多摩)	稻城3S
2007年		小川FC	南山イレブン	17多摩
2008年		六会湘南台	小川FC	善行SC
2009年		星が丘	高ヶ坂	TRP鶴川Jr
2010年		相原	大和田	さぎぬま
2011年		開進	大蔵	FCカラバ
2012年		南山	アローズ	永山FC
2013年		TRP鶴川Jr	大蔵	TRP鶴川Jr
2014年		小山	FCカラバ	小山田
2015年		六浦毎日	白百合	FCカラバ
2016年		本町田	六浦毎日	千代田
2017年		六会湘南台	梨花FC	小山田



2年生	1位	2位	3位
1977年	第1回		
1978年	第2回		
1979年	第3回	ドラゴンズ	成瀬
1980年	第4回	森野	南大谷
1981年	第5回	イーグルス	小川
1982年	第6回	小川FC	大蔵
1983年	第7回		
1984年	第8回		
1985年	第9回		
1986年	第10回	金井	南大谷
1987年	第11回	ドラゴンズ	小川
1988年		忠生	TFC
1989年		鶴川ドラゴンズ	成瀬
1990年		成瀬	山崎FC
1991年		緑ヶ丘	成瀬
1992年		忠生	TFC
1993年		小川	金井
1年	1位	2位	3位
1977年	第1回		
1978年	第2回		
1979年	第3回		
1980年	第4回		
1981年	第5回		
1982年	第6回		
1983年	第7回		
1984年	第8回		
1985年	第9回		
1986年	第10回	南大谷	小川FC
1987年	第11回	SCJ	大蔵
1988年		忠生	TFC
1989年		緑ヶ丘	町田クラブ
1990年		山崎FC	境川イレブン
1991年		山崎FC	成瀬
1992年		CYD	山崎FC
1993年		小山	高ヶ坂

小学部:町田招待東京少年サッカー大会

小学生	優勝	準優勝	三位
1974年	第1回	SSSクラブ	本町田クラブ
1975年	第2回	SSSクラブ	油面クラブ
1976年	第3回	府口ク少年団	境川クラブ
1977年	第4回	森野少年団	桃一クラブ
1978年	第5回	府口ク少年団	鹿西レグルス
1979年	第6回	小山FC	白百合クラブ
1980年	第7回	小山FC	SSSクラブ
1981年	第8回	小山FC	白百合クラブ
1982年	第9回	小山FC	忠一クラブ
1983年	第10回	本町田クラブ	白百合クラブ
1984年	第11回	暁星サッカー	ムスタングFC
1985年	第12回	小金井3K	東久留米クラブ
1986年	第13回	森野	富士見丘
1987年	第14回	暁星サッカー	東久留米

中学生	優勝	準優勝	三位
1978年	第5回	SSSクラブ	すずしろキッカーズ
1979年	第6回	小山FC	白百合クラブ
1980年	第7回	坂浜クラブ	FC碧山
1981年	第8回	17多摩	SSSクラブ
1982年	第9回	小山FC	口クFC
1983年	第10回	小山FC	明保中学
1984年	第11回	読売ユースB	キタミ80
1985年	第12回	小山FC	北見80
1986年	第13回	読売ユースB	青梅FC
1987年	第14回	口クFC	源氏前

小学部:町田招待全国選抜少年サッカー大会

	優勝	準優勝	三位
1988年	第9回	藤枝FC	厚木選抜
1989年	第10回	藤枝FC	相模原選抜
1990年	第11回	武蔵野選抜	多摩FC
1991年	第12回	FC町田	古河市SS
1992年	第13回	札幌選抜	浜松JFC
1993年	第14回	藤枝FC	相模原選抜
1994年	第15回	宇都宮JFC	横浜選抜
1995年	第16回	浜松JFC	札幌選抜
1996年	第17回	藤枝FC	愛知FC
1997年	第18回	FC浦和	甲府トレセン
1998年	第19回	FC町田	FC島田
1999年	第20回	札幌FC	愛知FC
2000年	第21回	FC島田	秦野選抜
2001年	第22回	宇都宮JFC	藤枝FC
2002年	第23回	浜松JFC	愛知FC
2003年	第24回	藤枝FC	宇都宮JFC
2004年	第25回	横浜選抜	船橋TC
2005年	第26回	FC浦和	西多摩選抜
2006年	第27回	宇都宮JFC	相模原トレセン
2007年	第28回	船橋FC	市川FC
2008年	第29回	FC浦和	秦野トレセン
2009年	第30回	宇都宮JFC	湘南ベルマーレ
2010年	第31回	札幌FC	浦和TC
2011年	第32回	東日本大震災にて大会中止	
2012年	第33回	浦和TC	調布選抜
2013年	第34回	横浜TC	船橋FC
2014年	第35回	船橋FC	市川FC
2015年	第36回	日野	八王子
2016年	第37回	西多摩選抜A	西多摩
2017年	第38回	八王子選抜	稲城TC
2018年	第39回	船橋FC	市川FC



小学部:町田小学生リーグ戦結果

Aリーグ(一部)	1位	2位	3位
1974年	前期	SSS	境川
	後期	SSS	東小
1975年	前期	SSS	小山
	後期	SSS	小山
1976年	前期	SSS	小山
	後期	SSS	森野
1977年	前期	境川	SSS
	後期	SSS	森野
1978年	前期	SSS	本町田
	後期	SSS	小山
1979年	前期	SSS	本町田
	後期	小山	SSS
1980年	前期	忠一	本町田
	後期	SSS	本町田
1981年	前期	小山	本町田
	後期	小山	忠一
1982年	前期	小山	本町田
	後期	小山	SSS
1983年	前期	SSS	小川
	後期	SSS	小山
1984年	前期	綠ヶ丘	SSS
	後期	綠ヶ丘	森野
1985年	前期	SSS	小山
	後期	小山	南大谷
1986年	前期	小山	大蔵
	後期	綠ヶ丘	小山
1987年	前期	小山	忠生
	後期	小川	町田ク
1988年	前期	小山	記録無
	後期	成瀬	記録無
1989年	前期	小山	金井
	後期	小山	忠生
1990年	前期	本町田	忠生
	後期	金井	本町田
1991年	前期A	町田ク	小川
	前期B	境川イレブン	小山
	後期A	町田ク	南大谷
	後期B	鶴川ドラゴンズ	小川
1992年	前期	山崎FC	小山
	後期	金井	忠生
1993年	前期	忠生	本町田
	後期	記録無	記録無
1994年	前期	山崎FC	CTD
	後期	成瀬	高ヶ坂

Bチーム(一部)	1位	2位	3位
1989年	前期	忠生	金井
	後期	忠生	記録無
1990年	前期	綠ヶ丘	SCJ
	後期	記録無	記録無
1991年	前期A	鶴川ドラゴンズ	町田ク
	前期B	忠生	南大谷
	後期A	金井	小山
	後期B	鶴川ドラゴンズ	忠生
	後期C	境川イレブン	

小学部:町田小学生リーグ戦結果

Aリーグ(二部)	1位	2位	3位
1976年	前期	忠一	相原
	後期	忠一	小山田
1977年	前期	緑ヶ丘	町一
	後期	忠一	つくしの
1978年	前期南	成瀬	つくしの
	前期北	忠一	緑ヶ丘
1979年	後期	忠一	イーグルス
	前期A	イーグルス	緑ヶ丘
1980年	前期B	山崎Z	キッカーズ
	後期A	緑ヶ丘	森野
1981年	後期B	成瀬	キッカーズ
	前期A	南大谷	つくしの
1982年	前期B	イーグルス	成瀬
	後期A	森野	山崎Z
1983年	後期B	山崎Z	緑ヶ丘
	前期	南大谷	中央
1984年	後期	山崎Z	成瀬
	前期	森野	南大谷
1985年	後期	山崎Z	イーグルス
	前期	山崎Z	大蔵
1986年	後期	大蔵	金井
	前期	成瀬	山崎Z
1987年	後期	記録無	相原
	前期	記録無	記録無
1988年	後期	記録無	記録無
	前期A	つくしの	
1989年	前期B	キッカーズ	
	後期A	イーグルス	
1990年	後期B	キッカーズ	
	前期A	山崎Z	つるま
1991年	前期B	境川イレブン	相原
	後期A	相原	緑ヶ丘
1992年	後期B	成瀬	つるま
	前期A	南大谷	高ヶ坂
1993年	後期B	記録無	
	前期B	つるま	境川イレブン
1994年	後期A	町一	成瀬
	後期B	MG	高ヶ坂
1995年	前期A	高ヶ坂	SCJ
	前期B	金井	山崎Z
1996年	後期A	山崎Z	相原
	後期B	SCJ	つるま
1997年	前期A	相原	小川
	前期B	小山田	MG
1998年	後期A	MG	鶴川ドラゴンズ
	後期B	小山田	成瀬
1999年	前期A	小山田	鶴川ドラゴンズ
	前期B	本町田	高ヶ坂
2000年	後期A	記録無	
	前期A	CYD	大蔵
2001年	後期B	記録無	TFC
	前期A	高ヶ坂	つくしの
2002年	前期B	南大谷	大蔵
	後期A	TFC	つるま
2003年	後期B	大蔵	相原
	前期A	高ヶ坂	小川

Bチーム(二部)	1位	2位	3位
1989年	前期A つるま	イーグルス	芙蓉
	前期B つくしの	境川イレブン	鶴川ドラゴンズ
	後期A つるま	南大谷	小山田
	後期B	記録無	
1991年	前期A 高ヶ坂	山崎Z	SCJ
	前期B 相原	金井	
	後期A 相原	芙蓉	TFC
	後期B	SCJ	高ヶ坂
			山崎Z

小学部:町田小学生リーグ戦結果

6年生	1位	2位	3位	4位
2002年	小川	境川	TFC	
2003年	小山	境川	町田J	
2004年	つくし野	小山	忠生	
2005年	忠生	芹ヶ谷	小川FC	相原
2006年	成瀬	芹ヶ谷	町田JFC	相原
2007年	芹ヶ谷	高ヶ坂	小山FC	すみれ
2008年	山崎	つくし野	芹ヶ谷	小川
2009年	成瀬	芹ヶ谷	高ヶ坂	スバル
2010年	町田JFC	TRP鶴川	高ヶ坂	小川
2011年	小川	小山	芹ヶ谷	成瀬
2012年	小川	高ヶ坂	TRP鶴川	TFC
2013年	小山	町田JFC	開進	つるま
2014年	トリプレッタ	大蔵	小川	小山田
2015年		リハウスリーグに変更		
2016年				
2017年				
2018年				

4年生	1位	2位	3位	4位
2002年	境川	TFC	小山田	
2003年	高ヶ坂	境川	忠生	
2004年	小川FC	MG	高ヶ坂	
2005年	町田JFC	トリプレッタ	高ヶ坂	スバル
2006年	つくし野	山崎	小川FC	町田JFC
2007年	芹ヶ谷	小川FC	つくし野	忠生
2008年	小川	つるま	境川	山崎
2009年	小山	小川	小山田	芹ヶ谷
2010年	高ヶ坂	TRP鶴川	小山	小川
2011年	小山	町田JFC	大蔵	TFC
2012年	小山	小山田	開進	TRP鶴川
2013年	開進	本町田	成瀬	小山
2014年	本町田	高ヶ坂	開進	小山田
2015年	本町田	小川	境川イレブン	つくし野
2016年	相原	TFC	町田JFC	大蔵
2017年	本町田	レオヴィスタ	つるま	TRP鶴川
2018年				

2年生	1位	2位	3位	
2012年				
2013年				
2014年				
2015年	レオヴィスタ	相原	町田JFC	小川
2016年	レオヴィスタ	町田JFC	小山田	高ヶ坂
2017年	小山田	小川	レオヴィスタ	町田JFC
2018年				

小学部:MFAカップ 小学生大会

	1位	2位	3位
1972年	第1回 境川クラブ	SSSクラブ	鶴三小 森野
1973年	第2回 SSSクラブ	東小クラブ	境川クラブ 鶴三小
1974年	第3回 SSSクラブ	東小クラブ	リトルSSS 小山FC
1975年	第4回 SSSクラブ	緑ヶ丘	境川クラブ 小山FC
1976年	第5回 SSSクラブ	森野	緑ヶ丘 小山FC
1977年	第6回 SSSクラブ	小山	境川クラブ 森野
1978年	第7回 本町田	森野	SSSクラブ 小山FC
1979年	第8回 忠生SSS		本町田 小山FC
1980年	第9回 忠生SC	小山FC	本町田 SSSクラブ
1981年	第10回 小山FC	SSSクラブ	本町田
1982年	第11回 小山FC	SSSクラブ	緑ヶ丘 町五

一年生	1位	2位	3位
1983年 第8回			
1984年 第9回 SCJ・小川			イーグルス つるま
1985年 第10回 なるせ	金井	SCJ	イーグルス
1986年 第11回 小川	本町田	忠生	つるま
1987年 第12回 つくし野	忠生	本町田	小山
1988年 第13回 忠生			
1989年 第14回 緑ヶ丘	つくしの	TFC	境川イレブン
1990年 第15回 忠生	境川イレブン	高ヶ坂	鶴川ドラゴンズ
1991年 第16回 山崎FC	忠生	TFC	境川イレブン
1992年 第17回 CYD	金井	小川	成瀬
1993年 第18回 成瀬	山崎FC	相原	小川
1994年 第19回 つるま	小山	CYD	金井
1995年 第20回 つるま	小山	大蔵	町二
1996年 第21回 つるま	KFC	スバル	TFC
1997年 第22回			
1998年 第23回			
1999年 第24回			
2000年 第25回			
2001年 第26回			
2002年 第27回			

二年生	1位	2位	3位
1983年 第8回			
1984年 第9回 FC原	本町田	小山	つくしの
1985年 第10回 小川	SCJ	森野	金井
1986年 第11回 SCJ	イーグルス	金井	ドラゴンズ
1987年 第12回 忠生	本町田	鶴間	小川
1988年 第13回 つくしの			
1989年 第14回 成瀬	町田クラブ	本町田	鶴川ドラゴンズ
1990年 第15回 山崎FC	忠生	緑ヶ丘	小川
1991年 第16回 成瀬	金井	本町田	忠生
1992年 第17回 忠生	TFC	鶴川ドラゴンズ	小川
1993年 第18回 CYD	忠生	金井	小川
1994年 第19回 つくしの	小川	成瀬	相原
1995年 第20回 つるま	小山	相原	つくしの
1996年 第21回 高ヶ坂	小山	つるま	相原
1997年 第22回			
1998年 第23回			
1999年 第24回			
2000年 第25回			
2001年 第26回			
2002年 第27回 つるま	芹が谷	高ヶ坂	小山田

三年生	1位	2位	3位
1983年 第8回			
1984年 第9回	つくしの	小川	イーグルス
1985年 第10回	小川	イーグルス	SCJ
1986年 第11回	小川	つるま	金井
1987年 第12回	忠生	MG	緑ヶ丘
1988年 第13回	成瀬		
1989年 第14回	成瀬	つくしの	SCJ
1990年 第15回	成瀬	町田クラブ	SCJ
1991年 第16回	成瀬	町田クラブ	小山田
1992年 第17回	忠生	金井	鶴川ドラゴンズ
1993年 第18回			
1994年 第19回	CYD	つくしの	相原
1995年 第20回	忠生	成瀬	小山田
1996年 第21回	つるま	千代田	つくしの
1997年 第22回			
1998年 第23回			
1999年 第24回			
2000年 第25回			
2001年 第26回			
2002年 第27回			

四年生	1位	2位	3位
1983年 第8回			
1984年 第9回			
1985年 第10回			
1986年 第11回	SSS	成瀬	緑ヶ丘
1987年 第12回	金井	成瀬	小川
1988年 第13回	小川		
1989年 第14回	小川	金井	
1990年 第15回	境川イレブン	町田クラブ	南大谷
1991年 第16回	忠生	小山田	緑ヶ丘
1992年 第17回	金井	TFC	小川
1993年 第18回			
1994年 第19回	忠生	相原	小川
1995年 第20回	小川	相原	TFC
1996年 第21回	成瀬	つくしの	千代田
1997年 第22回			
1998年 第23回			
1999年 第24回			
2000年 第25回			
2001年 第26回			
2002年 第27回	つくしの	スバル	つるま

五・六年生	1位	2位	3位
1983年 第8回			
1984年 第9回	森野	小川	みどり
1985年 第10回	小山FC	成瀬	SSS
1986年 第11回	みどり	忠生	イーグルス
1987年 第12回	小川	忠生	森野
1988年 第13回	小山		
1989年 第14回	小山	金井	緑ヶ丘
1990年 第15回	忠生	小山	町田クラブ
1991年 第16回	町田クラブ	山崎Z	小山
1992年 第17回	小山	鶴川ドラゴンズ	忠生
1993年 第18回			
1994年 第19回	山崎FC	金井	TFC
1995年 第20回	忠生	山崎FC	相原
1996年 第21回	小山	相原	成瀬
1997年 第22回			
1998年 第23回			
1999年 第24回			
2000年 第25回			
2001年 第26回			
2002年 第27回	町田JFC	小山	TFC

小学部:町田市小学生サッカー新人戦

	1位	2位	3位
1979年	SSS	忠生	
1980年	忠生	SSS	
1981年			
1982年			
1983年	SSS	本町田	小山
1984年	SSS	小山	緑ヶ丘
1985年	SSS	本町田	つくしの
1986年	みどり	町一	大蔵
1987年	小山	小山	忠生
1988年	小山		
1989年	忠生	金井	小山
1990年	本町田	忠生	小川
1991年	町田クラブ	小川	
1992年	小山	忠生	南大谷
1993年	忠生	小山	南大谷
1994年	山崎	忠生	成瀬
1995年	金井	小山田	忠生
1996年	千代田	南大谷	小川
1997年			
1998年			
1999年			
2000年			
2001年			
2002年			

一年生交流大会

	優勝	準優勝	三位
1994年	つるま	つくしの	相原

二年生	1位	2位	3位
2003年 第28回	高ヶ坂	大蔵	すみれ
2004年 第29回	大蔵	芹ヶ谷	つくし野
2005年 第30回	高ヶ坂	町田JFC	MG
2006年 第31回	小川JFC	町田JFC	ブルファイト
2007年 第32回	町田JFC	芹ヶ谷	TRP鶴川Jr
2008年 第33回	町田JFC	小山	町田JFC
2009年 第34回	相原	小山	つるま
2010年 第35回	TRP鶴川Jr	開進	小山
2011年 第36回	小川	町田JFC	忠生

四年生	1位	2位	3位
2003年 第28回	町田JFC	高ヶ坂	小川
2004年 第29回	芹ヶ谷	町田JFC	忠生
2005年 第30回	芹ヶ谷	町田JFC	スバル
2006年 第31回	小川JFC	大蔵	芹ヶ谷
2007年 第32回	芹ヶ谷	町田JFC	相原FC
2008年 第33回	TRP鶴川Jr	TRP鶴川Jr	小山
2009年 第34回	イレブン	つくし野	高ヶ坂
2010年 第35回	小山	小川	芹ヶ谷
2011年 第36回	小山	TRP鶴川Jr	開進

六年生	1位	2位	3位
2003年 第28回	町田JFC	小山	つるま
2004年 第29回	つくし野	忠生	芹ヶ谷
2005年 第30回	忠生	成瀬	境川
2006年 第31回	相原	芹ヶ谷	小川JFC
2007年 第32回	TRP鶴川Jr	つるまSC	芹ヶ谷
2008年 第33回	芹ヶ谷	つるま	山崎
2009年 第34回	町田JFC	芹ヶ谷	すみれ
2010年 第35回	TRP鶴川Jr	小川	町田JFC
2011年 第36回			

ジュニア研修リーグ

	1位	2位	3位	4位
1995年	忠生	高ヶ坂	小山	山崎FC
	5位	6位	7位	8位
	小川	鶴川ドラゴンズ	南大谷	MG

小学部:MFA大会(1年生／2年生／3年生／4年生)

一年生	1位	2位	3位	
2012年				
2013年				
2014年				
2015年	町田JFC-A	小川	レオヴィスタ	町田JFC-B
2016年	レオヴィスタ	町田JFC	成瀬	小山田
2017年	町田JFC	町田JFC	レオヴィスタ	大蔵

二年生	1位	2位	3位	
2012年	TRP鶴川	高ヶ坂	小山田	つくし野
2013年	高ヶ坂	小山B	開進A	イレブン
2014年	高ヶ坂	TFC	開進	大蔵
2015年	町田JFC-A	小川	レオヴィスタ	町田JFC
2016年	レオヴィスタ	町田JFC	小川	町田JFC
2017年	成瀬	小川	レオヴィスタ	町田JFC

三年生	1位	2位	3位	
2012年				
2013年				
2014年				
2015年	高ヶ坂	小川	TFC	町田JFC
2016年	本町田	町田JFC	境川イレブン	小川
2017年	本町田	町田JFC	レオヴィスタ	高ヶ坂

四年生	1位	2位	3位	
2012年	小川	TRP鶴川	町田JFC	大蔵
2013年	町田JFC	本町田	開進A	小山田
2014年	本町田	開進	高ヶ坂A	高ヶ坂B
2015年	レオヴィスタ	小山A	本町田	町田JFC
2016年	小川	本町田	町田JFC	相原
2017年	本町田	レオヴィスタ	TRP鶴川	町田JFC

六年生	1位	2位	3位	
2012年	高ヶ坂	小川	小山	TRP鶴川
2013年	町田JFC	小山	開進	つるま
2014年	TRP鶴川	小川	小山田	町田JFC
2015年	本町田	町田JFC	レオヴィスタ	成瀬
2016年	本町田	TRP鶴川	町田JFC	小山
2017年	レオヴィスタ	つるま	本町田	ARTE SS

小学部:JCOM杯

	優勝	準優勝	三位	四位
2005年	山崎FC	芹ヶ谷	FCパーシモン	中野島FC
2006年	稻田FC	芹ヶ谷	小川FC	中野島FC
2007年	FCパーシモン	FFヴィゴー	小川FC	町田JFC
2008年	FCパーシモン	小川FC	高ヶ坂	小山田
2009年	FCパーシモン	小山	つくし野	中野島FC
2010年				
2011年				
2012年	小川	小山	中野島	パーシモン
2013年	パーシモン	中野島	小山田	小山
2014年	パーシモン	小山A	高ヶ坂	中野島
2015年	パーシモン	中野島	町田JFC	サラマンドラー
2016年	本町田	六浦毎日	小糸	相原
2017年	パーシモン	ミキFC	町田JFC-A	本町田

小学部:チャンピオンズカップ／カップファイナル

	優勝	準優勝	三位	四位
2002年	町田JFC	大蔵	忠生	境川
2003年	小山	境川	つるま	忠生
2004年	忠生	高ヶ坂	鶴間	すみれ
2005年	鶴間	MG	FC芹ヶ谷	町田JFC
2006年	TRP鶴川Jr	相原	FC芹ヶ谷	小川JFC
2007年	つくし野	FC芹ヶ谷	小川FC	山崎
2008年	TRP鶴川Jr	つるま	FC芹ヶ谷	町田JFC
2009年	FC芹ヶ谷	KFC	大蔵	山崎
2010年	町田JFC	FC芹ヶ谷	高ヶ坂	すみれ
2011年				
2012年	高ヶ坂	小川	小山	TRP鶴川
2013年	町田JFC	小山	開進	つるま
2014年	TRP鶴川Jr	小川	小山田	町田JFC
2015年	本町田	町田JFC	レオヴィスタ	成瀬
2016年	本町田	TRP鶴川Jr	町田JFC	小山
2017年	レオヴィスタ	つるま	本町田	ARTE SS

小学部:5年生大会(チャレンジカップ)

	1位	2位	3位	4位
1988年	忠生			
1989年	忠生	本町田	小山	
1990年	小山	町田クラブ	金井SC	
1991年	山崎FC	小山	町田クラブ	南大谷
1992年	忠生	金井SC	小山	小山田
1993年	TFC	忠生		
2007年	つくし野	芹ヶ谷	小川	山崎
2008年	忠生	すみれ	小川	成瀬
2009年	TRP鶴川Jr	イレブン	芹ヶ谷	高ヶ坂
2010年	トリプレッタ	イレブン	小川	芹ヶ谷
2011年	高ヶ坂	TRP鶴川Jr	小山	つくし野
2012年	小山	TRP鶴川	大蔵	つるま
2013年	TRP鶴川Jr	小山田	開進	小山
2014年	小川	TRP鶴川Jr	本町田	小山
2015年	本町田	レオヴィスタ	小山	南大谷
2016年	レオヴィスタ	本町田	つくし野	TFC
2017年	大蔵A	相原	町田JFC-A	忠生
2018年				



三種:町田中学生リーグ成績

		1位	2位	3位
1974年	前期	SSS	鶴スポ	玉川中
	後期	カンチョル	三中A	小山
1975年	前期	鶴川団地	薬師中	
	後期	鶴川団地	玉川中	薬師中
1976年	前期	鶴川団地	鶴スポ	小山
	後期	鶴川団地	SSS	鶴スポ
1977年		SSS	境川	
1978年	前期	本町田中	SSS	南大谷中
	後期	小山FC SSS		町一境川
1979年	前期	小山FC	本町田中	SSS
	後期	SSS	成瀬台中	小山FC
1980年	前期	小山FC	SSS	荻窪中
	後期	SSS	小山FC	木曽FC
1981年	前期	小山FC	SSS	忠生
	後期	小山FC	南大谷	忠生
1982年	前期	小山FC	白百合	SSS
	後期	小山FC	南大谷中	本町田
1983年	前期	小山FC	忠生	南大谷中
	後期	小山FC	忠生	南大谷中
1984年	前期	小山FC	町一	忠生
	後期	小山FC	森野	本町田
1985年	前期	小山FC	森野	小川FC
	後期	SSS	小山FC	小川FC
1986年	前期	小山FC	SSS	町一
	後期	キッカーズ	本町田	SSS
1987年	前期	小山FC	町田クラブ	南FC
	後期	町田クラブ	チヨンリマ	小山FC
1988年	前期	小山FC		
	後期	本町田		
1989年	前期	町一	小山FC	森野南FC
	後期	小山FC	森野	本町田南FC
1990年	前期	小山FC	南FC	本町田町田クラブ
	後期	小山FC	本町田	森野南FC
1991年	前期	小山FC	つくしの	本町田
	後期	小山FC	本町田	つくしの
1992年	前期	小山FC	森野	本町田
	後期	小山FC	町田クラブ	本町田
1993年		JFC	小山FC	南大谷
1994年		本町田	小山FC	南大谷
1995年		小山FC	JFC	本町田
1996年		成南	つくしの	南大谷
1997年	前期	小山FC	鶴川ドラゴンズ	小川FC
	後期	相原FC	小山FC	本町田
1998年	前期	小山FC	相原FC	南大谷
	後期	ルキノSC	南大谷	小川FC
1999年	前期	南大谷	ルキノSC	町田JFC
	後期	町田JFC	本町田	つくしの
2000年	前期	町田JFC	つくしの	ルキノSC
	後期	小山FC	南大谷	相原FC
2001年	前期	小川JFC	相原FC	
	後期	小川JFC	鶴川ドラゴンズ	
2002年	前期	小山FC	小川JFC	鶴川ドラゴンズ
	後期	小山FC	町田JFC	本町田南大谷

	1年生	1位	2位	3位
2003年	東	町田JFC	小川FC	
	西	小山FC	FC町田	
2004年	A	小山FC	FC町田	
	B	町田JFC	緑山SC	
2005年	A	緑山SC	小山FC	
	B	町田JFC	FC町田	
2006年	A	町田JFC	町田ゼルビア	
	B	アイスF	相原	
2007年	A	町田JFC	町田ゼルビア	
	B	緑山SC	本南FC	
2008年	1部	町田ゼルビア	町田JFC	
	2部	コンフィ町田	相原FC	
2009年	1部	町田JFC	コンフィ町田	
	2部	小山FC	緑山SC	
2010年	1部	町田JFC	コンフィ町田	
	2部	緑山SC	ルキノSC	
2011年	1部	コンフィ町田	緑山SC	
	2部	小山FC	相原FC	
2012年	1部	コンフィ町田	緑山SC	
	2部	町田JFC	本南FC	
2013年	1部	コンフィ町田	町田JFC	緑山SC
2014年	1部	コンフィ町田	小山FC	緑山SC
2015年	1部	コンフィ町田	緑山SC	町田JFC
2016年	1部	緑山SC	町田JFC	コンフィ町田
2017年	1部	町田JFC	コンフィ町田	緑山SC
2018年	1部			

	2年生	1位	2位
2003年	東	町田JFC	FC町田
	西	ルキノSC	緑山SC
2004年	1部	町田JFC	FC町田
	2部	緑山SC	相原SC
2005年	A	町田JFC	小山FC
	B	本町田南大谷	ルキノSC
2006年	A		
	B		
2007年	1部	コンフィ町田	町田ゼルビア
	2部	緑山SC	ルキノSC
2008年	1部	町田JFC	本南FC
	2部	相原FC	コンフィ町田
2009年	1部	町田JFC	町田ゼルビア
	2部	緑山SC	小山FC
2010年	1部	コンフィ町田	町田JFC
	2部	ルキノSC	相原FC
2011年	1部	緑山SC	コンフィ町田
	2部	相原FC	小山FC
2012年	1部		
	2部		

	3年生	1位	2位	3位
2003年	東	FC町田	小山FC	
	西	町田JFC	相原SC	
2004年	1部	町田JFC	FC町田	
	2部	小川JFC	小山FC	
2005年		緑山SC	ルキノSC	
		町田JFC	本町田	
2006年		緑山SC	町田JFC	本南FC
		町田JFC	相原FC	
2007年		町田JFC	相原FC	
		町田ゼルビア	小山FC	
2008年		町田JFC	緑山SC	
		町田JFC	相原FC	
2009年	1部	町田JFC	相原FC	
	2部	町田ゼルビア	小山FC	
2010年	1部	町田JFC	緑山SC	
	2部	コンフィ町田	相原FC	
2011年	1部	町田JFC	相原FC	
	2部	小山FC	緑山SC	
2012年	1部			
	2部			

三種:中学生MFAカップ

二年生以下	1位	2位	3位
1988年	本町田		
1989年	町田クラブ	相原	南FC 小山
1990年	南FC	小山	チョンリマ 森野
1991年	小山	本町田	つくしの 森野
1992年	小山	森野	
1993年	小山B	小山C 小山	JFC
1994年	小山	小山田中 南大谷	つくしの
1995年	小山	JFC 成南	小山C
1996年	JFC	相原 小山	南大谷
1997年	小山FC	町田JFC 相原	本町田
1998年	小山FC	小山田中 南大谷	小川FC
1999年	木曽中	町田JFC 金井中	
2000年	小山FC	本町田 南大谷	
2001年	小川FC 南大谷	相原 小山FC	
2002年	町田JFC	町田JFC ルキノSC	本町田 南大谷
2003年			

三年生以下	1位	2位	3位
1988年	南FC		
1989年	小山 南大谷 鶴間		本町田
1990年	森野 町田クラブ	本町田	南FC
1991年	本町田 つくしの	相原	森野
1992年	小山 森野		
1993年	CYD 南大谷	つくしの JFC	
1994年	本町田 小山 南大谷		町田二中
1995年	つくしの JFC 南大谷		本町田
1996年	成南 南大谷 JFC		つくしの
1997年	町田JFC 小山FC	本町田	南大谷
1998年	町田JFC 小山FC	つくしの	本町田
1999年	町田JFC 小山FC 桜美林中		つくし野中
2000年	小山FC 本町田	相原	つくしの
2001年	小川FC 相原 南大谷		町田JFC
2002年	町田JFC 小山FC 小川FC		小山田中
2003年	町田JFC A FC町田 A	町田JFC B	

三年生	1位	2位	3位
2004年	町田JFC 小川JFC	FC町田	
2005年	町田JFC FC町田	相原FC	
2006年	町田JFC 町田ゼルビア	小山FC	
2007年	町田JFC 緑山SC	小山FC	
2008年	町田JFC 緑山SC	コンフィ町田	
2009年	町田JFC 町田ゼルビア	緑山SC	
2010年	町田JFC コンフィ町田	相原FC	
2011年	町田JFC 小山FC	コンフィ町田	
2012年	町田JFC 緑山SC	コンフィ町田	
2013年			
2014年	コンフィ町田 緑山SC	町田JFC	
2015年	コンフィ町田 相原FC	町田JFC	
2016年	コンフィ町田 相原FC	町田JFC	
2017年			
2018年			
2019年			



三種:町田ジュニアユースフェスティバル

	1位	2位	3位
1990年	読売ユースB	小山FC	小平FC 平郡中学
1991年	読売ユースB	FC町田	栄FC 町田中央
1992年	FC町田	三菱千歳	三菱養和
1993年	日産FC	FC町田	読売日本SC
1994年			
1995年			
1996年			
1997年			
1998年			
1999年			
2000年			
2001年			
2002年			
2003年	FC町田	大宮FC	FC多摩
2004年	前橋FC	狹山FC	ジェフ舞浜
2005年	FC前橋	マリノス追浜	町田JFC
2006年	マリノス追浜	FC前橋	狹山FC
2007年	湘南ベルマーレ	FC東京むさし	マリノス追浜
2008年	FC東京むさし	Fマリノス追浜	狹山FC
2009年	FC東京むさし	ジェフ千葉	クマガヤSC
2010年	横浜FC鶴見	湘南ベルマーレ	FC東京むさし
2011年	FC東京むさし	鹿島アントラーズ	Forza'02
2012年	東京ベルディ	ジェフ千葉	鹿島アントラーズ
2013年	鹿島アントラーズ	前橋FC	柏レイソル
2014年	鹿島アントラーズ	Forza'02	東京ベルディ
2015年	Forza'02	コンフィール町田	鹿島アントラーズ
2016年			
2017年			

三種:町田ジュニアユース招待交流大会

	1位	2位	3位
2003年	石神井マックス	TACサルバトーレ	小川FC 緑山SC
2004年	ルキノSC	緑山SC	シラユリ 小川
2005年	TACサルバトーレ	Tamacityunited	FCGROLIA
2006年	TACサルバトーレ	小山FC	町田JFC
2007年	横浜FC相模原	富山みなみ	TACサルバトーレ
2008年	コンフィール町田	TACサルヴァトーレ	大野南中FC
2009年	プログレッソ稲城	緑山SC	大野南中FC
2010年	クラブアートロ	緑山SC	FC.GLORIA
2011年	TACサルバトーレ	稻城五中	ルキノSC
2012年	小山FC	相原FC	ルキノSC
2013年			
2014年			

三種:町田招待ジュニアユースサマーカップ(U-14)

	1位	2位	3位
2014年	CORUJA(A組1位)	FC大田(B組1位)	浦安SC(C組1位)
2015年	横浜FC鶴見	Constre	YSCC
2016年	横浜FC鶴見	コンフィール町田	プログレッソTCF稲城
2017年			

三種:町田招待ジュニアユースフェスティバル(U-14)／町田招待ユースサッカーフェスティバル(U-16)

U-14	1位	2位	3位
2016年	Forza'02	前橋FC	ヴァンフォーレ甲府
2017年	FC東京むさし	FC古河	東京武蔵野シティー
2018年			
U-16	1位	2位	3位
2016年	ゼルビアユース	国士館高校	コンフィール町田
2017年	横浜創英高校	コンフィール町田	日大三高
2018年			

三種:町田稲城招待ジュニアユースサッカーフェスティバル(U-13/U-14)

U-13	1位	2位	3位
2016年	東京ベルディ	CORUJA	ゼルビア
2017年	前橋FC	横浜FC鶴見	コンフィアール町田
2018年			

U-14	1位	2位	3位
2016年			
2017年	コンフィアール町田	横浜FC鶴見	町田JFC
2018年			

三種:MFA選手権卒業大会(U-15)

	1位	2位	3位
2017年	コンフィアール町田	緑山SC	プログレッソ稲城TCF
2018年			

三種:MFAウィンターカップ

	1位	2位	3位
2015年	Forza'02	前橋FC	大豆戸FC
2016年			
2017年			
2018年			

三種:青少年の日サッカー大会

中学生	1位	2位	3位
1970年	玉川	境川	境川
	中町	鶴一	玉中
1971年	玉川スポ少	キングス	鶴川第一
1972年	森野スポ少	町田スポ少	サントス
1973年	中町中央	玉川中	鶴川FC
1974年	SSS	玉川スポ少	森野
1975年	鶴川団地	SSS	境川
1976年	SSS	鶴スポ少	鶴川団地
1977年	SSS	境川	本中
1978年	SSS	小山	鶴川団地
1979年	SSS小山		町一
1980年	小山	SSS	荻窪中
1981年	小山	本町田中	鶴スポ少
1982年	小山	忠生	百合丘
1983年	忠生	本町田中	小山
1984年	小山	忠生	町一
1985年	小山	本町田	森野
1986年	小山	SSS	小川
1987年	南	MG	森野

小学生	1位	2位	3位
1970年	鶴三	鶴三	森野
	鶴三	キンギ	南二
1971年	SSS	鶴三	町五小
1972年	SSS	リトルSSS	アパッチ
1973年	SSS	境川	森野
1974年	SSS	境川	つくしの
1975年	境川	緑ヶ丘	SSS
1976年	森野	SSS	境川
1977年	境川	森野	SSS
1978年	SSS	本町田	小山
1979年	SSS	小山	忠生
1980年	SSS	本町田	忠生
1981年	小山	本町田	
1982年	小山	SSS	町一
1983年	みどり	小川	つくしの
1984年	みどり	森野	SSS
1985年	つくしの	ドラゴンズ	小山
1986年	小川		
1987年	小川	小山	忠生

中学生3年以下	1位	2位	3位
1988年	小山FC		
1989年	小山FC	南FC	本町田
1990年	小山FC	森野	町田クラブ
1991年	森野	つくし野	小山FC
1992年	本町田	小山FC	つくし野
1993年	南大谷	つくし野	森野
1994年	本町田	小山	JFC
1995年	ドラゴンズ	相原	JFC
1996年	JFC	成南	本町田
1997年	南大谷	JFC	小山
1998年	小山FC A	本町田A	小山FC C
1999年	町田JFC A	町田JFC B	本町田
2000年	町田JFC A	町田JFC D	町田JFC C
2001年	町田JFC A	小山FC A	小川
2002年	町田JFC A	町田JFC B	小山 A
2003年	町田JFC A	町田JFC B	FC町田
2004年	FC町田	小山FC	町田JFC
2005年	町田JFC	小山FC	FC町田

中学生2年以下	1位	2位	3位
1988年	南FC		
1989年	小山	相原	森野
1990年	南FC	成瀬	小山A
1991年	小山FC	本町田	ドラゴンズ
1992年	小山B	つくし野	小山A
1993年	小山A	小山B	小山C
1994年	つくし野	小山A	千代田
1995年	JFC	成南	フェスティバル
1996年	小山B	小山C	JFC C
1997年	小山D	小山B	JFC C

小学生6年A	1位	2位	3位
1988年	みどり		
1989年	忠生	金井	小山
1990年	金井	忠生	本町田
1991年	MG	町田クラブ	みどり
1992年	山崎FC	金井	つくしの
1993年			
1994年	JFC A	JFC E	JFC C
1995年	金井	小山田	小山
1996年	町田 E	町田 A	小山

小学生6年B	1位	2位	3位
1988年	小山		
1989年	忠生	南大谷	町一
1990年	鶴川ドラゴンズ	南大谷	金井
1991年	南大谷	芙蓉	境川イレブン
1992年	忠生B	Jイレブン	芙蓉
1993年	JFC	JFC	J町クラ

小学生4年	1位	2位	3位
1988年	金井		
1989年	町田クラブ	小川	忠生
1990年	忠生	山崎FC	町クラ
1991年	成瀬A	忠生	小山田
1992年	Jみどり	J町田	小山田
1993年	金井	JFC	忠生
1994年	忠生	小川	成瀬
1995年	千代田	つくしの	JFC
1996年	町田E	町田B	千代田

中学生	1位	2位	3位	4位
2006年	町田JFC	緑山SC	町田ゼルビア	
2007年	町田JFC	コンフィ町田	小山FC	
2008年	町田ゼルビア	緑山SC	町田JFC	
2009年	町田ゼルビア	町田JFC	コンフィ町田	
2010年	コンフィ町田	町田JFC	小山FC	
2011年	コンフィ町田	小山FC	町田JFC	
2012年	緑山SC	コンフィ町田	町田JFC	
2013年	緑山SC	コンフィ町田	相原FC	
2014年	コンフィ町田	町田JFC	相原FC	
2015年	コンフィ町田	日大三中	緑山SC	
2016年	コンフィ町田	町田JFC	緑山SC	
2017年	町田JFC	木曾中学校	境中学校	コンフィ町田
2018年				



一般部:町田サッカー協会一般の部リーグ戦(一部)

	優勝	2位	3位
1969年	電気化学	南クラブ	町工OB
1970年	電気化学		
1971年	柿の種		
前期	忠生U		
後期			
1972年	電々寮	PKG	山菱電気
前期	市役所DSG	つくしの	市役所
後期			
1973年	マスカラ	忠生U	柿の種
		電々寮	協和発酵
1974年	白頭山	忠生U	協和発酵
前期	白頭山	マスカラ	市役所DSG
後期			
1975年	白頭山	マスカラ	忠生U
前期	白頭山	スケア	忠生U
後期			
1976年	白頭山	森野	忠生U
前期	白頭山	森野	玉川
後期			
1977年	白頭山	森野	玉川
前期	白頭山	玉川	森野
後期			
1978年	森野	白頭山	PKG
前期		記録なし	
後期		記録なし	
1979年			
1980年	白頭山	忠生U	でんきボーイズ
1981年	森野	國土館	市役所
1982年	森野	つくし野	望岳 小山
			記録なし
1983年			
1984年	小山FC	森野	協和発酵
1985年	小山FC		
1986年	小山FC		
1987年	望岳クラブ	小山FC	森野
1988年	白頭山	森野	望岳クラブ
1989年	望岳クラブ	白頭山	森野
1990年	常盤クラブ	金森FC	白頭山
1991年	望岳クラブ		
1992年	小山FC	白頭山	望岳クラブ
1993年	小山FC	つくし野	望岳クラブ
1994年	望岳クラブ	つくし野	白頭山
1995年	白頭山	ブービーズ	つくし野
1996年	ブービーズ	町田ドナドナ	
1997年			
1998年			
1999年	忠生バリエンテ	本町田FC	町田ドナドナ
2000年	忠生バリエンテ	町田ドナドナ	本町田FC
2001年	忠生バリエンテ	南大谷チャツ	本町田FC
2002年	町田ドナドナ	忠生バリエンテ	つくしのFC
2003年	つくしのFC	町田ドナドナ	忠生バリエンテ
2004年	町田ドナドナ	南大谷チャツ	つくしのFC
2005年	町田ドナドナ	南大谷チャツ	本町田FC
2006年	ヨシキーズ	本町田FC	町田ドナドナ
2007年	本町田FC	忠生バリエンテ	南大谷チャツ
2008年	つくし野	町田ドナドナ	南大谷チャツ
2009年	町田ドナドナ	FCアゴラ	南大谷チャツ
2010年	町田ドナドナ	つくし野	南大谷チャツ
2011年	本町田FC	つくし野	南大谷チャツ
2012年	本町田FC	町田ドナドナ	南大谷チャツ
2013年	つくし野	本町田FC	FC NINE
2014年	本町田FC	FC NINE	JA 町田
2015年	コンフィアール	南大谷チャツ	FC NINE
2016年	FC NINE	林星	町田ドナドナ
2017年	FC NINE	林星	maestro

一般部:町田サッカー協会一般の部リーグ戦(二部)

	優勝	2位	3位
2006年	ハロウィン	なんちゃって町田	Tatsumi RP
2007年	キングペレ	FC三和	ハロウィン
2008年	FCアゴラ	FC三和	CLUB-tempest
2009年	ハロウィン	CLUB-tempest	FC町田ユナイテッド
2010年	ヨシキーズ	BLAVEZA	ハロウィン
2011年	JA町田	BLAVEZA FC	ハロウィン
2012年	ハロウィン	蹴球一家	BLAVEZA FC
2013年	ハロウィン	BLAVEZA FC	TEMPEST
2014年	コンフィアール	暁	BLAVEZA FC
2015年	1967町田	ハロウィン	FC町田ユナイテッド
2016年	maestro	stc	ハロウィン
2017年	ハロウィン	FC町田ユナイテッド	ブラベーラ

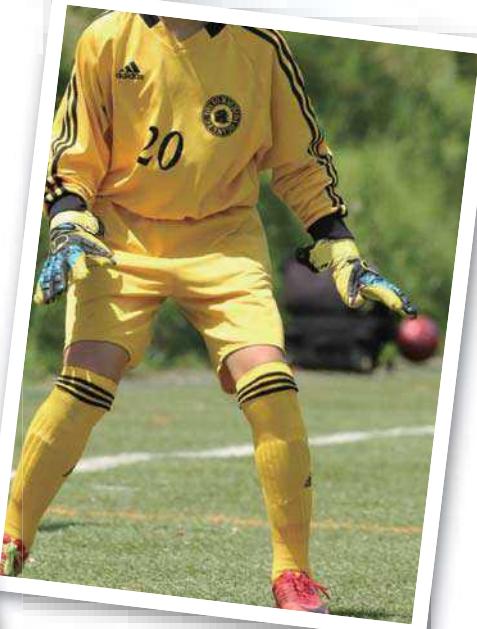
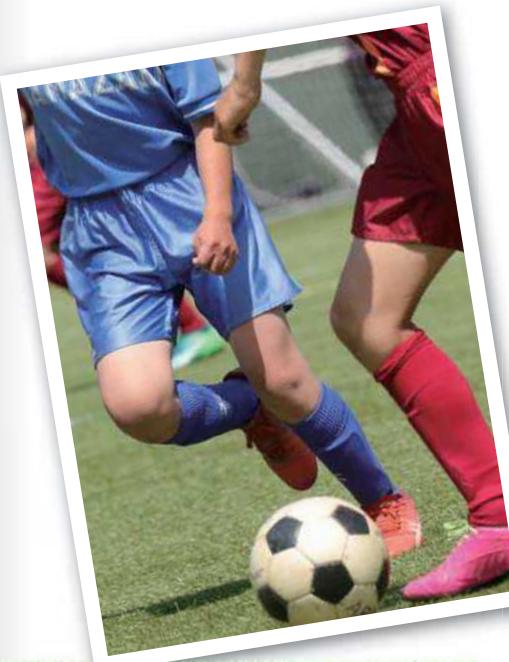
一般部:町田サッカー協会一般の部MFAカップ

	優勝	2位	3位
1983年	森野SC	できんぱーいす	SSS
1984年	森野SC	SSSクラブ	F・C・D・K
1985年	小山FC	森野クラブ	FC協和
1986年	森野SC	FC協和	
1987年	白頭山	FCとんねるず	忠生SC
1988年	トリアエズ	金森FC	
1989年	SSS	ミントクラブ	常盤クラブ
1990年	小山FC	本町田FC	白頭山
1991年		大会開催無	
1992年		大会開催無	
1993年		大会開催無	
1994年		大会開催無	
1995年	ブービーズ	グロッケンショピール	GAMANG
1996年	BOINS'88	つくし野SC	ウイルス
1997年			
1998年			
1999年			
2000年			
2001年			
2002年	南大谷チャツ	なんちゃって町田	町田ドナドナ
2003年	南大谷チャツ	なんちゃって町田	
2004年	町田ドナドナ	忠生バリエンテ	なんちゃって町田
2005年	つくしのFC	ゴッチーズ	
2006年	ディズジア・ゴースト	つくしのFC	町田ドナドナ
2007年	忠生バリエンテ	町田ドナドナ	
2008年	Tatsumi RP	町田ドナドナ	東京世田谷FC
2009年			
2010年	本町田FC	東京世田谷FC	南大谷キャッツ
2011年			
2012年			
2013年			
2014年			
2015年	南大谷キャッツ	町田ドナドナ	FC NINE
2016年			
2017年			



シニア部:シニアリーグ

	1位	2位	3位
1981年	森野	忠生	成瀬
1982年	森野	忠生	成瀬
1983年	森野	小山	成瀬
1984年	森野	小山	山崎Z
1985年	森野	山崎Z	小山
1986年	小山	相原	森野
1987年	小山	森野	SSS
1988年	成瀬	山崎Z	森野
1989年	成瀬	山崎Z	森野
1990年	成瀬	鶴ドラ	小山
1991年	鶴川イーグルス	鶴川ドラゴンズ	本町田
1992年	鶴川ドラゴンズ	山崎Z	森野
1993年	鶴川ドラゴンズ	鶴川イーグルス	山崎Z
1994年	忠生	森野	山崎Z
1995年	森野	山崎Z	忠生
1996年	森野	TFC	忠生
1997年			
1998年			
1999年			
2000年			
2001年			
2002年	FC芹が谷	小山FC	山崎Z
2003年	FC芹が谷	成瀬SC	町一SC
2004年	山崎Z	成瀬SC	町一SC
2005年	森野SC	小山FC	山崎Z
2006年	FC芹が谷	森野SC	小山FC
2007年	小山FC	FC芹が谷	成瀬SC
2008年	FC芹が谷	森野SC	本町田FC
2009年	FC芹が谷	本町田FC	小山FC
2010年	成瀬SC	小山FC	FC芹が谷
2011年	成瀬SC	小山FC	本町田FC
2012年	小山FC	鶴川イーグルス	本町田FC
2013年	鶴川イーグルス	小山FC	森野SC
2014年	南大谷SC	森野SC	鶴川ドラゴンズ
2015年	小山FC	FC芹が谷	南大谷SC
2016年	小山FC	FC芹が谷	町一SC
2017年	町一SC	森野SC	鶴川ドラゴンズ
2018年			



シニア部:MFAカップ

	1位	2位	3位	
1981年	森野	成瀬	SSS	
1982年	つくしの	忠生	SSS	
1983年	森野	つくしの	SSS	
1984年	森野	小山	山崎Z	
1985年	山崎Z	森野	つくしの	
1986年	森野	SSS	山崎Z	
1987年	成瀬	森野	SSS	
1988年	小山	町一	森野	
1989年	成瀬	森野	鶴川ドラゴンズ	
1990年	小山	成瀬	森野	
1991年	森野	鶴川ドラゴンズ	相原	
1992年	鶴川ドラゴンズ	森野	小山	
1993年	山崎Z	森野	鶴川イーグルス	
1994年	忠生	森野	成瀬	
1995年	TFC	山崎Z	成瀬	
1996年	TFC	相原	南大谷	
1997年				
1998年				
1999年				
2000年				
2001年			小山FC	
2002年	相原SC	成瀬SC		
2003年	鶴川イーグルス	山崎Z		
2004年	小山FC	山崎Z		
2005年	小山FC	山崎Z		
2006年	FC芹が谷	鶴川イーグルス		
2007年	FC芹が谷	町一SC	小山FC	
2008年	FC芹が谷	成瀬SC	町一SC	
2009年				
2010年				
2011年	小山FC	町一SC	FC芹が谷	
2012年			山崎Z	
2013年	町一SC	FC芹が谷	鶴川ドラゴンズ	
	1位	2位	3位	4位
2014年	小山FC	鶴川ドラゴンズ	町一SC	森野SC
2015年	南大谷SC	小山FC	FC芹が谷	鶴川ドラゴンズ
2016年	南大谷SC	FC芹が谷	小山FC	小川FC
2017年	町一SC	南大谷SC	小山FC	FC芹が谷
2018年				

女子部:女子小学生

リーグ戦	1位	2位	3位
1986年	本町田	小山	ドラゴンズ
1987年	本町田	ドラゴンズ	忠生
MFAカップ	1位	2位	3位
1986年	本町田	小山	ドラゴンズ
1987年	本町田	ドラゴンズ	忠生

女子部:ママさん

リーグ戦	1位	2位	3位
1985年	緑ヶ丘	森野	境川
1986年	緑ヶ丘	森野	忠生
1987年	緑ヶ丘	小山	森野
MFAカップ	1位	2位	3位
1985年	森野	緑ヶ丘	忠生
1986年	森野	境川	町一
1987年	境川	森野	町一

女子部:ドリブル杯

	1位	2位
2001年	鶴川ドラゴンズ	フレディー
2002年	フレディー	グーノ
2003年	フレディー	鶴川ドラゴンズ
2004年	フレディー	鶴川ドラゴンズ
2005年	鶴川ドラゴンズ	相原セレス
2006年	鶴川ドラゴンズ	フレディー
2007年	フレディー	相原セレス
2008年	相原セレス	ブリリアント
2009年	フレディー	ブリリアント
2010年	鶴川ドラゴンズ	ブリリアント
2011年	鶴川ドラゴンズ	ローザ
2012年	ブリリアント	フレディー
2013年	ブリリアント	フレディー

女子部:スプリングカップ

	1位	2位	3位
2014年	ブリリアント	鶴川ドラゴンズ	
2015年	ブリリアント	ローザ	
2016年			
2017年	ローザ	フレディ	ブリリアント
2018年			

女子部:リーグ戦

	1位	2位	3位
2001年	前期 フレディー	鶴川ドラゴンズ	
	後期 鶴川ドラゴンズ	フレディー	
2002年	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
2003年	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
2004年	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
2005年	前期 相原セレス	フレディー	
	後期 フレディー	鶴川ドラゴンズ	
2006年	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
2007年	ブリリアント	フレディー	
	フレディー	ローザ	
2008年	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
2009年	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
	フレディー	鶴川ドラゴンズ	
2010年	ブリリアント	鶴川ドラゴンズ	
	ブリリアント	鶴川ドラゴンズ	
2011年	ブリリアント	鶴川ドラゴンズ	
	ブリリアント	鶴川ドラゴンズ	
2012年	ブリリアント	鶴川ドラゴンズ	
	ブリリアント	鶴川ドラゴンズ	
2013年	ブリリアント	鶴川ドラゴンズ	
	ローザ	ブリリアント	
2014年	鶴川ドラゴンズ	ローザ	
	ブリリアント	ローザ	
2015年	ブリリアント	ローザ	
	ローザ	鶴川ドラゴンズ	
2016年	ブリリアント	ローザ	鶴川ドラゴンズ
	ローザ	鶴川ドラゴンズ	

女子部:市民体育祭

	1位	2位
2002年	町田選抜	町一 MEDLEY
2003年	町田選抜	ローザ
2004年	鶴川ドラゴンズ	フレディー
2005年	相原セレス	鶴川ドラゴンズ
2006年	フレディー	鶴川ドラゴンズ
2007年	ブリリアント	フレディー
2008年	ローザ	相原セレス
2009年	町一 MEDLEY	鶴川ドラゴンズ
2010年	鶴川ドラゴンズ	フレディー
2011年	本町田A	町田A

	一般	小学生
2012年	本町田	相原FC
2013年	本町田	相原FC/フェアリー/トレセン
2014年	ウェストゲート	相原FC/フェアリー/トレセン
2015年		
2016年		
2017年		
2018年		

女子部:MFA

	1位	2位
2001年	フレディー	グラーノ
2002年	フレディー	グラーノ
2003年	フレディー	鶴川ドラゴンズ
2004年	フレディー	ローザ
2005年	フレディー	ローザ
2006年	相原セレス	ローザ
2007年	フレディー	相原セレス
2008年	フレディー	鶴川ドラゴンズ
2009年	ブリリアント	フレディー
2010年	ブリリアント	相原セレス
2011年	鶴川ドラゴンズ	フレディー
2012年	ローザ	鶴川ドラゴンズ
2013年	ブリリアント	フレディー
2014年	鶴川ドラゴンズ	ローザ
2015年		
2016年		
2017年		
2018年		



女子部:ミセスサッカー

	1位	2位
2002年	VICTORY	町田選抜
2003年		
2004年		
2005年		
2006年		
2007年		
2008年		
2009年		

女子部:O-40招待大会

	1位	2位	3位
2011年	ステラ		
2012年	浜二レディース	KLT	
2013年	浜二レディース	日野FC	町田
2014年	浜二レディース	町田	共和
2015年			
2016年			
2017年			
2018年			

技術指導部:マチダガールズカップ

	優勝	準優勝	三位	敢闘賞
2013年 第1回	川崎	町田	多摩	相模原 三鷹
2014年 第2回	川崎	相模原	横浜	海老名・座間 多摩 町田
2015年 第3回	相模原	多摩	町田	神奈川県央 川崎 横浜
2016年 第4回	東京7ブロック	横浜	相模原	川崎 町田 多摩 横浜
2017年 第5回	多摩	相模原	川崎	東京7ブロック 町田 東京7ブロック
2018年 第6回	横浜	相模原	川崎	町田 多摩

2017年町田出身選手

大宮	大前元紀	町田JFCJrユース
FC東京	太田宏介	つくし野SSS-FC町田
川崎	小林 悠	町田JFC-町田JFCJrユース
磐田	三浦龍輝	町田JFCジュニア-町田JFC
セレッソ	田中裕介	町田JFC
町田	土岐田洸平	CYD FC
町田	大田隼輔	町田JFCジュニア-町田JFCJrユース
町田	橋村龍ジョセフ	FC町田ゼルビアJrユース
横浜	中里崇宏	東京町田忠生SC
湘南	秋元陽太	CYD FC
名古屋	青木亮太	鶴川FC
山口	星 雄次	つくし野サッカースポーツ少年団
福島	星 広太	つくし野サッカースポーツ少年団
福島	橋本裕貴	町田JFC
栃木	服部康平	大蔵FC-町田JFC
北九州	小野寺達也	町田JFC-町田JFCJrユース
鹿児島	関博光	町田JFC
	熱田 真	
	阿部祐大朗	
	飯島寿久	
	北澤 豪	
	斎藤翔太	
	佐々木崇浩	
	鈴木健仁	
	関 光博	
	高橋 泰	
	津田和樹	
	坪井慶介	
	戸田和幸	
	林 健太郎	
	福永 泰	
	藤吉信次	
	星 大輔	
	丸山良明	
	水谷雄一	
	宮村正志	
	山口貴之	
	山田卓也	
	酒井 良	
	山本富士雄	



Chapter 05

MFAアクションプラン
— MFA Action Plan —

育成体制再編

- 女子育成年代の体制強化
→小学部・技術指導部・女子部
- ホームタウンチームとの連携強化
- 中体連・高体連との連携



Machida Football Association Action Plan

02

フットサルリーグの創設

ソサイチ開催PR

施設・環境の改善

スポーツのPR
大会誘致・ホームタウンチーム
ホームページ大会情報

中体連・高体連
との連携

01

まちづくりと施設環境整備

■スポーツコミッション

スポーツを通じた地域振興を図る組織、団体のことを「スポーツコミッション」と呼びます。現在、さいたま市や東京都で設立に向けての検討が進められています。スポーツ振興の新しい担い手として期待が寄せられています。

■グランド改修期間の代替

鶴間公園・鶴間グランド・西田グランド・少年サッカー場・陸上競技場等改修により使用できない期間の代替地等の検討

■グランド及びナイター施設の整備

校庭開放のあり方及びナイター施設の整備要望
【参考】校庭開放ナイター施設、八王子市(10校)相模原市(18校)、多摩市(3校)

■新規施設の開設及び施設管理

行政に頼らず、民間との新規グランドの整備検討及び施設管理への取り組み

03

他団体との関係強化

■行政との協働

(トップレベルの試合観戦・町田市への来街者の誘導・町田市の魅力発信)
オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致への協働・野津田公園整備計画
フットサルワールドカップキャンプ地及びトレーニングマッチ会場誘致
全国規模の大会の誘致

■JFA・TFAとの連携・三多摩サッカー連盟参画

全国規模の大会の誘致・指導者講習会

■町田市体育協会との連携

スポーツ祭・各団体との連携・体育施設の使用環境改善

■町田市観光コンベンション協会との連携

■障がい者スポーツへの取り組み

04

Chapter 06

50周年記念対談

— 50th Anniversary Communicating Dialogue —

町田サッカー協会

50周年記念対談



創立50周年を記念して、豪華メンバーがここに集結!!
サッカーで出会った同級生5人が、それぞれの目線から、
過去・現在・未来の「町田のサッカー」について語り合う。

小学生時代を振り返って

原 町田サッカー協会設立50周年ということで、皆さんにお集まりいただき、町田の現状と今後の発展について話しあえたらと思います。

まずは、簡単に小学校の思い出を。ちなみに僕は高ヶ坂出身です。

酒井 残りの4人は大友(町田SCJ)・戸田(相模原)・丸山(町田小山FC)・酒井(相模原)。

原 昔は各チームのお山の大将が集まっていたのがFC町田というチームで、現在は色々なところに受け皿が増えたというのも良いことだと思います。

戸田 清水FCと似ているのかな。皆それになって、できるやつが集まってくる場所がなくなってしまった。

酒井 一時期、人が集まらなくなってしまった時代があったけど、Jリーグに上がって少しずつ子どもたちが集まりつつあるけど、やっぱりうちの場合はまだ周りにビッグクラブが多いからそういうところに行ってしまう現状があるかな。

戸田 でも実際に酒井さんはヨーロッパに1年間武者修行に行ってきたわけだからね。

原 ヨーロッパのクラブに比べると、やはり地域に拘ったチーム作りができないという現状があって、昔はFC町田の選手=俺らの代表だったのが、ピラミッドが途中で枝分かれ



てしまっている。その部分が昔と違うのかな。

戸田 確かに昔はFC町田しかなかった。大友はいつの間にかいなくなってしまったよね。

大友 (笑)僕は町田から引っ越ししてサッカーから離れてしまったけど、もう一度サッカーをやりたいという気持ちから高校は強豪校へ進学した。中学校でサッカーをやっていなかったから、監督はもちろん他の特待生からも相手にもされていなかった。だけど凄いのが、ジュニアユースのみんなが全国で発揮していた実力が鹿児島まで届いていた事。「俺エフマチいたんだけど」と言ったら特待生達が驚いて「高円宮杯に出場した時に、町田は大人みたいなレベルの高い試合をするからとわざわざ観に行った!本当に上手かった!」これを機に僕を見る目が変わったよね。FC町田すげえと鳥肌が立ったよ。

酒井 僕たち全国3位だったもんね。今のジュニアユースは関東に出るのも大変だから。そういう意味では良い人材がいて良いサッカーして勝てたとは思うね。

戸田 なんでこんな狭い土地でね。これだけの選手が出てきて。だって練習って、何してたっけ?
(一同笑)

丸山 練習は楽しい思い出しかない。嫌になるとかなかった。練習終わった後にみんなでくっしゃべってね。

原 今の子どもたちは管理され過ぎちゃっているのか、それとも管理される環境にチームがあるのかな。

酒井 いやあ。それは間違いなくあると思う。色んな要因があると思うけど。何でもかんでも聞いてくる。考えれば多分わかるんだけど、考える習慣がないのかな。

丸山 時代なんですかね。そういう意味で自分はのびのびとやらせてもらって。だから嫌になる事がなかった。本当に楽しかった。

酒井 それが難しいのが、いろんな情報がインターネット

とかで入ってくるから、あまり自由にやらせると、「このチームは教えてくれない。」って言って辞めてっちゃう子もいる難しい。

丸山 指導の他にも、人間力が結果的に高められるというか。だからある意味戸田のようなタフな選手が出た。

酒井 ラーメン屋で味が変わったって厨房まで入っていくような…。

戸田 サッカーが世の中に広がってきたし、さっきリョウ(酒井)が言いましたけど、情報が溢れているし指導者のライセンス制度もできた、サッカー自体少し変わってきた部分もあるんでしょう。確かに何をやっても誰かが見てるし。一つ一つ評価されちゃうところがあるし。昔の方が何にも気にせず伸び伸びと指導者の方も振る舞えたし、選手も振る舞えた。何

かあっても、そこだけで解決ができるんですよ。

大友 町田は指導者同士が大喧嘩していたから。それぐらいプライドを持って勝ちにこだわっていた。そこはすごいなって子どもながら感じたよね。

丸山 子供ながらにやっぱり町田って小学校で優勝したりとかして、実際に僕らもFC町田でやって、先輩たちが全国優勝とか、それが当たり前というか、本当に明確な目標があった。

丸山 高校生とやっても負けなかつたし、メンタル的なものを今言うとあれかもしれないんですけど、先輩たちが築いてくれたものがあったからこそ目標は全国優勝だったじゃん。子どもながらに大きい目標を掲げるというのは大事だったと思います。



<司会>
一般社団法人町田サッカー協会
50周年実行委員会委員長
原 淳氏



株式会社
ゼルビア取締役社長
大友 健寿氏



元日本代表/
解説者・慶應義塾大学
ソッカーチーム
戸田和幸氏



FC町田ゼルビア
強化部部長
丸山竜平氏

FC町田ゼルビア
ジュニアユースコーチ
酒井 良氏

これからの町田のサッカーについて

原 これからの町田のサッカーに対して何か話ができないかな。今後の協会についてもそれぞれの視点で語ってもらえたら。

酒井 やっぱり町田の中で育てて、町田の中でジュニアユースに上げてトップまで持っていくあげたい。町田近隣も含めてそういうのをもう1回できないかなと思う。小学校年代とも連携しながら育成していかないと。

戸田 町田はサッカーの街だったんだよね。指導者の人たちが一生懸命勉強しながら情報共有してやってきた部分もあると思う。

今はまだ規模としては大きくないですけど、トップチームが活躍してくれた時に、パッと人々の眼にはとまる。最終的に子どもが何を目指すかというとそこですよね。一番上のチームがどこで何をしているかと言うのはその地域にとって多分大きいと思うので。

未来の選手を育成することになるので、今リョウが一生懸命やっているところですけど、昔僕らが指導してもらっていた人たちがサッカーがめちゃくちゃ好きなまま大人になって、そのままの熱量で僕らと向かい合ってただけで、その体系立てられたトレーニングメソッドか有るか無いかと言ったら多分なかつたし、だから逆に言うと余計なこと言わなかったかもしれないし。だけどサッカーは選手がやるもんだからというのは本能的にわかっていた気がするので。だから僕らがずっとゲームをやっていたというのは、自分事になってるんですよ。そこが今の時代だと色々な縛りもあるし、情報があるから、自分事になりきらない子が多いんじゃないかなというのは感じている。

丸山 やっぱり今自分もこういう立場でトップのゼルビアに関わらせてもらって、気にしているのが、やっぱりこう、ゼルビアだけでなく町田から育っている選手って結構いるんですね。どこのチームから高校行ったり、大学行ったり、この選手は町田の選手だった子が結構いるんです。色々な少年団の人たちが、高校、大学、もちろんジュニアユースもそうですけど、どういう選手がいるっていうのはできる限り自分の中ではアンテナを伸ばしてみている部分はありますね。

いずれゼルビア、もしくは町田に戻って、もちろんサッカーも

そうですがサッカーを好きな人たちが戻ってきたら街も活性化されるし、サッカーの文化が根付くことにもなるので大事なことだと思う。

大友 僕は町田の子が町田でプロになった時に、「あいつ俺が育てたんだよ」とて人たちが、それを肴にして飲めたら素晴らしいなと思うし、戸田みたいに世界行った選手を、「実はいつも俺が見てた」という環境が町田にできて、町田の子どもをみんなで育てているというようなところに向かっていけばいいと思う。

そうなるには、それぞれのチーム事情や目標もあると思うんですけど、その垣根をみんなで飛び越えて、「町田で」育てようぜという意識になってきたときには、町田は更に良い選手を輩出できる。プロクラブである僕らが集約できるような環境ができるとすごく楽しいんじゃないかな。

僕らも子どもの頃から町田を誇りにプライドを持ってきているし、丸山の言ったように歴史があって今がある。こんな風に歴史がずっと続いている地域って全国でもないと思うので、それは繋いでいきたいし、僕が鹿児島で受けた衝撃のように、町田を全国や世界に発信していきたい。

戸田 その時代知っているこの場の大友 丸山 酒井がちゃんとクラブに関わっているわけで、良かったものはちゃんと残って、これから時代にふさわしいものに変換しながら膨らましていくことは可能だと思う。

町田ってそもそも何だったのかっていうのがなくなってしまった後、目指す場所が見つからないと思うので。ベースの想いがないと、このスポーツはやっていけない。

酒井 議論に出てくるのは町田っぽい、町田らしい選手つくろうよっていうもので、作ろうと思って作れるもんでもないけどさ、でも戸田みたいな選手だったり、林健太郎君だったり、北澤さんだったり、梅澤君だったり、なんかちょっと違う感じの選手がいっぱい育ってきた環境だから、サッカーを楽しんでいるような、クリエイティブな選手が生まれてきたらしいなあと思うんだけど、簡単じゃない。反抗期・思春期との戦いだね。

丸山 勉強だね。



町田サッカー協会の役割について

原 今度はサッカー協会の話も入れてもらって、これから協会が取っていく立ち位置だったり、その辺りを。

酒井 僕らが子供の頃って、町田サッカー協会で海外遠征を企画して韓国に初めて行って、その後イタリアに変わったんだけど、そういう取り組みをしてた。

正月のサッカーフェスティバルも、いっぱい選手が集まってきて、年に1回しか会わないけど、みんなもう知り合いになるし、なんか町田の絆、町田意識みたいなものも持てたし。ゲルトミューラーのサッカー教室とかもあったりして、すごく印象に残ってる。

シュート練習しかなくて、シュートって大事なんだなあと思ったりした。そういう取り組みが一杯あったなーって、それが良かった。チャレンジしてほしい。

戸田 プレーするための環境の整備っていうのはどうなっているんですか？

(他全員) 少ないよね。

丸山 町田ってサッカーどころの割には、グラウンドが本当に少ないなって思う。清水とかもそうだけど、ナイターとか絶対に小学校や中学校に付いてる。でもなんでこんなに選手出てきたのかなって。グラウンドで本当に困っている話をよく聞きますが、町田に土地があるかというと大変だし。やっぱり環境部分を改善できればと。みなさんもちろん待ち望んでいるとは思いますけど。

大友 リョウに絶対見て来いって言われてセルビア共和国に行って、100年以上続いている一番歴史のあるクラブのクラブハウスを見たとき、やっぱり歴史って大事だなと感じた。歴史を紡いできた方々が話すことは「協会は、環境整備するのが仕事。選手を育てるのはクラブだ」としきりに言っていた。国の協会が指導指針などを多くのクラブが取り入れることに対して、重要だけどそれでいいの？という投げかけだったのかもしれない。MFAにも指針があると思いますが、少し独自のものがあってもいいのかもしれないし、環境整備は協会もやっていくべきだと思う。現状はグラウンド自体が少ながためゼルビアトップチームの活動がご迷惑をかけている部分もありますが、協力をし、僕らも町田のサッカー環境づくりのお手伝いができるべきなと思う。

天然芝や人工芝のグラウンドが増えれば、町田でも大きい大会が開けると思うんですね。町田招待の格も上がるし、アンダーカテゴリーの世界大会とかが開ける環境が作れたら、子どもたちにとっては国際経験やサッカーの勉強になると思う。

戸田 指導者同士の交流っていうのはどうなの？

酒井 どういう交流？町田サッカー協会で？

戸田 基本的にみんなそこに属してるんでしょ？地域的に言えばやっぱりゼルビアが一番ピラミッドの上に来るわけで、子どもたちも最終的にそこを目指してやってくる形になってると思うんだけど、地域の中で指導者同士で情報交換とかってあるの？

僕が思うのは、やっぱり日本人は閉鎖的。もっとオープンに大っぴらに自分たちのやってることも見せたり、人の考え聞いたりしていかないと、地域の中で一番どこを目指します



かというのは、必然的にそうなってくるはずだし、そこに向けて選手をどれだけ良い形で育成してあげられるかというのは、指導者の仕事になってくる。僕も欧州とかいきますけどね。やっぱりスペインとかの方が全然オープンだし、そこまで話すの？ってぐらいなんでも話してくれるし。なんでここまでやってくれるんですかというと、相手が僕に対して何か伝えることで僕から何か帰ってくるものがあるからだって。

原 日本だと色んなコネクションや背景ある指導者が集まっていて、サッカーはサッカーでしかないっていう大前提のつながりがないのかなって思う。なのでオープンマインドになって話せない。

戸田 あとは選手の登録問題とかね。別に一つのチームでなくてもいいのかなとか。もっと選手が選べる形にしてもいいんじゃないかな。

バスケ地方とかだと、例えばアスレティック・ビルバオとかだと、そこに選手を供給できたらクラブからお金が入ってくるとかね。みんなそういう意味で一生懸命選手をそこに向かって育成するシステムが出来てる。そこはちょっと特殊なんですね。その地方の子しか上にいけないから、限られた人材をというところを考えて関係づくりをするんですけど、町田も広いとはいえない限られた土地だと思うし。

酒井 できるよね。そういうの。

原 今ある現状として、スクールも存在しているわけだし、それで回っているビジネスもあるから、協会としてはスクールだろうがなんだろうか参加できる大会をもっと増やしていくとか。

戸田 特に僕は4種に限っては、子どもだけずっとミニゲームさせてたほうがいいと思います。どんどん主体性も出るし、自分たちで工夫するとか、自分ごとになっていくから、指導者はそういう意味ではヒントを与えなきゃいけない。

1から10まで教えるものではない。

それがジュニアユース年代になれば、ある程度、体系立てられた中で少しづつ覚えていかなきゃいけないですけど。まずサッカーは楽しいものであるという原点にそういう意味では則って、小学生年代が楽しめるかどうかに懸かっているよう

な気がする。

4種に限ると一生懸命勉強しているお父さんコーチもいっぱいいるんですよ。その年代子どもたちがどういった事を考えたり、どういったものを必要としているかを知ることが大切で、勉強したこと全部その子たちに与えればいいかというと、それは全く別の問題で。

酒井 受け入れる側からすると、逆に何も教わってないような、遊んでサッカーやってきたこの方が伸びちゃう。

戸田 スペインだったら育成年だったとしても土日必ずどちらか休みにする。シーズンオフもあるし。家族との時間を大切にする。勿論他の遊びもするとか。そういう意味ではトータルとして、その子がきちんと人としても成長できるような環境が整っている。サッカーサッカーさせすぎないのも大事かなと思った。

サッカーを通してこれから目指すこと

原 では最後に、これからみんながサッカーを通してやっていきたい事を聞かしてください。

大友 町田の誇りを持って、この業界で生きてきたと思うので、誇りを持ち続けて育成を常に考えていきたいと思う。やっぱり町田は凄いと言われたいので、それを全国、世界へ広げていけるようにしていきたい。もちろんMFAの皆さんにも関わっていただけたらありがたい。

丸山 私も町田のサッカーで育ててもらった。町田でこのようすサッカーの仕事をさせていただいているって本当にありがたい事だと思う。

やっぱりこれは町田がサッカーの街だという所だから、こういう同じ年代のメンバーの人が本当に街に根付いている。こういう所は外にはないと思う。

町田のサッカーは重田先生、守屋先生が築いて頂いたものを僕らもまた引き継いで、それがまた次の世代に引き継ぐ役割を担っているんじゃないかなっていう思いで、好きな仕事をさせてもらっている。サッカーを通じて地域の発展につながるような役割が果たせたらと思っているので、今できることをやっていきたい。

酒井 小学校から町田でやって、中学、ユースと町田で育った選手をトップチームに引き上げるお手伝いをすればいいなと。8人ゼルビア育ちで、3人セルビア人で、そんなんだつたら面白いなと。そういう選手を世界に出したい。そんなことを言いながら将来は戸田監督とJリーグで対決。

戸田 僕は実家が相模原なんです。相模原も実は少年サッカーが盛んなんですけど、隣町にサッカーの街があって良かったって思うし、隣街のチームに来たらみんな僕より上手くてサッカー好きだったんですよ。その渦に巻き込まれて何か俺もサッカーがうまくなりたいとか、試合に出て活躍したいとか、みんなについていったらここまで来たんですよ。今の自分の土台を築いてくれたと思う。

僕は広いところで色々動いて、先を色々と考えている段階ではあるんですけど、将来的に僕が例えば町田に帰ってきて指

酒井 全然いらないね。

戸田 他の遊びもしないと逆にサッカーの楽しさもわからないかもしれないし。

丸山 確かにね、ゴールデンエイジに色々は大切。

戸田 年の離れた人と遊ぶとかで色々なことを学べる。

リョウが行ったクラブってジムとかやってなかったっけ?

酒井 やってたやってた。いろんなことやってる。そんなサッカーしないもんね。向こうの子って。週3回ぐらいしかしないもん。

原 今日は気分が乗らないから帰るわって。帰っちゃったり。

戸田 それでいいんじやんて。ちょっと思う。楽しくやっていい年代だから。段々そういうのはできなくなるけど。

酒井 日本でそれやるの大変だぞー。人いなくなっちゃう。

Chapter 07

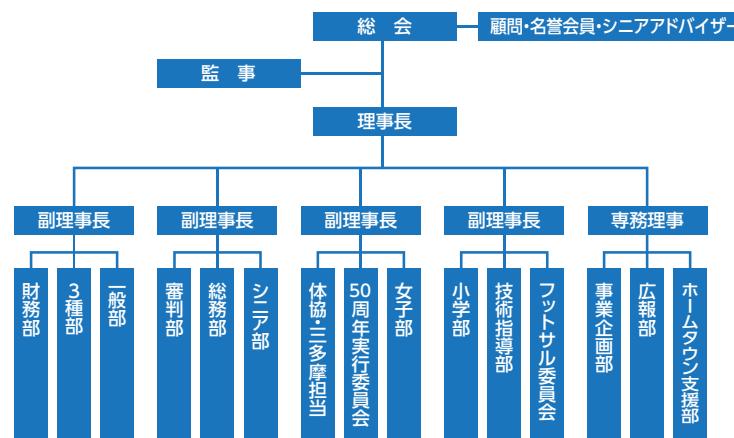
2018年度 町田サッカー協会

— Introduction of Machida Football Association 2018 —



2018年度 町田サッカー協会組織図・役員名簿・所属チーム

●MFA組織図



●2018年度一般社団法人町田サッカー協会所属チーム一覧

小学部 24チーム

町田相原FC
MGサッカークラブ
町田・小山田サッカークラブ
金井藤の台フットボールクラブ
町田高ヶ坂サッカークラブ
つくし野サッカースポーツ少年団
鶴川フットボールクラブ
鶴川ブルファイトSC
東京・小山フットボールクラブ
東京町田・忠生サッカークラブ
東京町田成瀬サッカークラブ
本町田フットボールクラブ
町田大蔵フットボールクラブ
東京町田小川フットボールクラブ
町田つるまサッカークラブ
FC芹ヶ谷東京
町ロク・サッカースクール
南大谷キャッツサッカークラブ
ARTE(アルテ)SS山崎
ARTE(アルテ)SSスバル・すみれ
町田JFC
境川イレブン
FCトリプレッタ鶴川Jr.
FCレオヴィスタ町田

三種部 5チーム

町田相原FC
東京・小山FC
町田JFCジュニアユース
緑山サッカークラブ
コンフィアール町田ジュニアユース
成瀬サッカークラブ

●役員名簿

役職	氏名
顧問	伊藤 公介
	八木 邦治
	長村 敏明
	皆川 清
役職	氏名
理事長	岸本 直也
副理事長	加藤 仁
副理事長	徳満 弘毅
副理事長	山口 俊也
副理事長	加藤 友市
専務理事	萩原 智博
理事(財務部長)※兼任	加藤 友市
理事(総務部長)	加藤 典厚
理事(審判部長)	高木 和男
理事(技術指導部長)	門田 健次
理事(小学部長)	友井 徹
理事(三種部長)	原田 直樹
理事(一般部長)	谷田部 努
理事(シニア部長)	中野 浩
理事(女子部長)	佐藤 恵子
理事(ホームタウン支援室長)	河合 純一
理事(フットサル委員長)	羽山 哲也
理事(50周年実行委員長)	原 淳
理事(事業企画部)	小峰 健嗣
理事(事業企画部)	渡邊 和泉
理事(広報部)	寺島 崇史
監事	大西 修
監事	笠原 道弘
名誉会員	佐藤 祐治
名誉会員	深谷 茂
名誉会員	守屋 実
名誉会員	土方 周明
名誉会員	佐藤千可生
名誉会員	北澤 豪
名誉会員(FC町田ゼルビア)	大友 健寿
名誉会員(ASVペスカドーラ町田)	山本 敏彦
シニアアドバイザー	和田 裕



小学部では現在24チームが登録し、1年生から6年生まで約2,100名の選手が年間各学年毎に1~4大会に参戦して毎週末のように市内各所で熱戦を繰り広げております。その他にも毎年全チーム全選手が一堂に会し、「サッカー祭り」と称する大運動会も実施しております。

役員、各クラブ代表の理事の皆さんは、この毎週のように開催する大会の運営やその準備、企画立案に取り組み、2,000名を越える選手達をファーストに考え、奔走しております。

また技術指導部と連携したMFAトレセン活動では、小学部が毎年3月に開催する町田招待選抜少年サッカー大会を始めとする全国各地での大会にMFAトレセンチームを派遣し活躍しております。この選手達の中からはやがて各地のジュニアユースやユース、強豪などで活躍し、プロ選手(Jリーガー)への道を歩む選手も多数輩出しております。

近年では町田で活躍するFリーグ「ペスカドーラ町田」に触発され、小学部でもフットサル大会を開催し、フットサルへの啓蒙促進とともにプロフットサル選手を目指す選手も出て参りました。

本年で町田サッカー協会は設立50周年を迎えましたが、2015年の町田招待選抜少年サッカー大会よりデンカ(株)様に大会スポンサーについていただき、以降2017年からはマチダカップ大会に(有)フロムサーティ様、さらに2018年からはマチダカップに(株)イーグル建創様、そして年間フォトサービススポンサーに(株)フォトクリエイト様とスポンサー契約を結びました。年々、町田の少年サッカーをご理解、応援いただく企業様も増えてまいりました。

今後ますます町田の少年たちの育成年代のサッカーに取組む環境を役員筆頭に整備してまいりたく思っております。

協会登録チーム数／24チーム

部員数／約2,100名

指導者数(チーム所属審査含む)／約380名

役員体制／14名

年間事業数／20

小学部



一般社団法人町田サッカー協会

常任理事小学部長

友井 徹

三種部

3種部は、少子化や活動場所確保の難点から登録チーム数が減少、2018年度に5チームとなりました。

近年は、中学校や高校の部活動との交流事業を積極的に行なっており、5月に開催される体育協会主催の「青少年の日大会」では、町田市内の中学校サッカー部を、8月に開催される「ユースフェスティバル」では高校サッカー部を招待して交流を図っております。

また各チーム、日本サッカー協会及び日本クラブユースサッカー連盟加盟、東京都クラブユースサッカー連盟に加盟しており、年間を通して各カテゴリーの活動が組まれています。

昨年度は、柴戸海(浦和レッズ / 町田JFC)や佐宗壱明(大宮アルディーキャンペーン / 緑山SC)のJリーグ選手も誕生しました。

大学リーグで活躍する選手も増えて来ており、今後は、小学部とも協力をし、町田の選手を町田で育てることができるよう、より一層充実した環境が整うように努力を続けて参ります。

<主要大会>

【U-15】

日本クラブユース選手権東京都大会
高円宮杯JFA全日本サッカー選手権
高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ
MFA選手権卒業記念大会

【U-14】

東京都クラブユースU-14選手権大会
MFA青少年の日大会
MFAジュニアユースフェスティバル
MFA IFAジュニアユースカップ

【U-13】

東京都クラブユースU-13選手権大会
MFAリーグ戦
MFA IFAサマーカップ

チーム数／5チーム
町田相原FC、東京小山FC、コンフィアール町田、
町田JFCジュニアユース、緑山サッカークラブ

部員数／372名
(U-13 126名/U-14 131名/U-15 115名)

役員体制／8名



一般社団法人町田サッカー協会
常任理事三種部長
原田直樹



町田サッカー協会50周年おめでとうございます！はい！ありがとうございます！

小学生の頃から今もなお町田のサッカーに関わっていられることが嬉しいとまりません！一般部 部長 谷田部です

私達一般(社会人)現在 11チーム 321人の社会人が一年間を通してリーグ戦、カップ戦、地域大会への派遣などの活動を行っています。

町田の一般リーグの魅力として、サッカーの町らしくプロや大学、高校で活躍した選手達が地元に帰ってきて還元してくれる！そんな選手達と一緒にプレーできる！感じられる！めちゃくちゃウマイ！草サッカーの域超えてない？が一番の魅力です。

10代から上は無制限の幅広い年齢層が所属し若者はおじさんたちから人間性を学び
おじさんたちは技術を若者達から学べるのも魅力の一つでないでしょうか。

年々チーム数が減少するなどの悩みを抱えてはいますが、次の世代へと繋げられるよう
代表者、選手達一同 尽力いたします。

チーム数／11チーム

部員数／321人

役員体制／7人



般部



一般社団法人町田サッカー協会
常任理事一般部長
谷田部 努

シニア部

シニア部はその名の通り、おじさんの集まりです
とはいっても、昔とった杵柄というわけではなく、40代から60代まで幅広い世代が現役でバリバリ活躍しており、日曜日の家族サービスと翌日の仕事も顧みず、身体に鞭打って、ボールを追いかけています。

グラウンドに立てば、若いのも年寄りも一緒に！

むしろ年配の方々の方が自分の限界を知り、できるプレーを確実に行い、若い世代を翻弄していることもしばしばです。

町田で育ち、サッカーに足を染めて早50数年、なんて人たちも多数おり、町田のサッカーの発展を陰から支えてこられた方々が、黙々と汗を流しています。

これからさらに60年、70年そして100年と町田のサッカーが継続していくことの土台となれるよう、おじさんたちはまた日曜日にグラウンドに集い、ボールを追いかけていきます！

これからも怪我無く、楽しく、頑張って、サッカーを続けていきましょう！

チーム数／14チーム

部員数／589名

役員体制／

部長 小川FC 中野

副部長 森野SC 池永

会計 FC芹ヶ谷 丸岡

総務 町一SC 小林

審判 成瀬SC 小坂、矢倉



一般社団法人町田サッカー協会
常任理事シニア部長

中野 浩



女子部では下は20才代から上は60才代まで幅広く部員が所属していて、年代のギャップを感じさせない和気あいあいとした雰囲気で活動しています。

女子部内の試合は3チームで、対外試合には女子部全員で臨み、練習も各チームの練習に加え、全体練習という形で全員で三村監督、由井コーチの指導の下、楽しく練習しています。

サッカーは走れないという声を多く耳にしますが、部内の試合は8人制、気軽に参加できる形です。対外試合は11人制が多いですが、8人制とは違った楽しみがあり、全員両方のメリットを楽しんでボールを蹴っています。

当たり前のことかもしれません、女子部ではサッカーを楽しく！試合やイベントのあとはみんな楽しかったと言って帰っていくので、部長としてはこれ以上うれしいことはありません。

★こんな仲間をひとりでも多く増やしたい！

★サッカーの楽しさ、ボールを蹴る喜びを伝えたい！

そんな気持ちでがんばる私を部員全員でサポートしてくれています。

これからも仲間を増やすためにイベントや、みんなが楽しめる試合を計画していきます。

町田の女子サッカーを盛り上げたい！！という思いでがんばります。

協会登録チーム数／3チーム

部員数／40名

指導者数／2名



女子部

一般社団法人町田サッカー協会
常任理事女子部長
佐藤恵子



Chapter

08

スポンサー各社
— Greeting from Sponsor —



子どもから大人まで
みんなの健康を考えた定食屋

Jリーガーも食べるメニューをあなたに
ドリンクバーあります！
DAZN 試合観戦できます !!



ゼルビア×キッチン

新袋橋
かつや
薬師池
自由民権資料館
袋橋
ローソン
綾部
金井入口
鶴川駅
テ195-0063 東京都町田市野津田町919
【営業時間】11:00~22:00 定休日：月曜日・年末年始
アクセス：小田急線鶴川駅より
神奈川中央交通
O番のりば 野津田車庫行
「綾部入口」下車すぐ
タクシーで約15分

本冊子を持参していただければ1回に限り
ドリンクバーを1名様分サービスします！

Zelvia×Kitchen Zelvia×Kitchen

子どもたちの 夢のために戦う !!!

クラブの夢はみんなの夢 みんなの夢はクラブの夢
町田から世界へ！サッカーの力を信じて戦い続ける!!!



【特典】
本冊子を 2019 シーズンの FC 町田ゼルビアホームゲーム
にご持参いただくとグッズの割引を行います！

ホームゲーム会場内のゼルビア公式グッズ売り場にて 1回 3000 円以上
をお買い上げいただいた際、『500 円』の割引をさせていただきます。
1回限りの特典となりますが、ぜひ有効にご活用いただき、ゼルビア
グッズをお買い求めください。



チェック欄





ASV PESCADOLA
MACHIDA



HOME GAME SCHEDULE 2018



12.2
[SUN] 17:00 KICK OFF



12.9
[SUN] 14:00 KICK OFF



12.21
[FRI] 19:00 KICK OFF



1.27
[SUN] 19:00 KICK OFF

バルドラー浦安
エスボラーダ北海道
町田サッカー協会 創立 50 周年記念マッチ

名古屋オーシャンズ
共同開催 F選抜 vs すみだ 16:30 KICK OFF

本冊子を上記スケジュールのペスカドーラ町田ホームゲームにお持ちいただくと、特別優待価格にて観戦チケットをお求めいただけます。

一般 : ¥2,500 → ¥1,500 小中高生 : ¥500 → 無料

※本冊子1冊につき大人4名様まで有効です。小中高生に人数の制限はございません。

※ご利用の際は1F当日券売場までおこしください。

特典



**ASV PESCADOLA
MACHIDA**

FUTSAL SCHOOL

ペスカドーラ町田フットサルスクールは
「違いを生み出せる選手」を育成します！

全校 初回無料体験実施中！

ご入会、無料体験をご検討の方は、ペスカドーラ町田オフィシャルウェブサイト、または下記の電話番号までご連絡ください。
URL:<http://www.pescadola-machida.com> TEL:042-710-5890(平日10:00~17:00)

南町田校 (南町田インドア球's倶楽部)

住所: 東京都町田市鶴間681-1

■コーチ紹介



ヴィニシウス (トップチーム現役選手 NO.28)

1987年2月11日生
Fリーグを代表するゴールハンター。スクール指導経験も豊富で日本語を巧みに操る。陽気な性格で子供たちを楽しませることにも長けています。



関野 淳太 (トップチーム元監督)

1972年7月16日生
ペスカドーラ町田トップチームの監督を4年間務めた指導のプロ。長期のブラジル留学経験がありポルトガル語を自在に操る。その指導力から保護者からの信頼も厚い。

町田校 (町田市立総合体育館)

住所: 東京都町田市南成瀬5-12

■コーチ紹介



関野 淳太 (トップチーム元監督)

1972年7月16日生
ペスカドーラ町田トップチームの監督を4年間務めた指導のプロ。長期のブラジル留学経験がありポルトガル語を自在に操る。その指導力から保護者からの信頼も厚い。



室田 祐希 (トップチーム現役選手 NO.11)

1992年4月13日生
日本代表で伝説のヒールリフトゴールを決めたテクニシャン。フットサルを楽しむ、そして子供たちにも魅せて学ばせることができる貴重なコーチ。

多摩校 (フットサルステージ)

住所: 東京都多摩市落合1-47 ニューシティ多摩センタービル8F

■コーチ紹介



小川 亮 (トップチームコーチ/サテライトチーム監督)

1979年11月16日生
選手としてもFリーグでプレーし、デウソン神戸にて3年間の監督歴を持つ経験豊富な指導者。現在サテライトチームの監督も務めており、育成年代の指導には定評がある。



後呂 康人 (U-15監督)

1983年7月29日生
フリースタイル クラッシュ初代日本一の実績を持つテクニシャン。Fリーグでも9年間活躍し、スクール指導歴も長い。ペスカドーラ町田 U-15監督も務める。

相模原校 (相模原市立総合体育館)

住所: 神奈川県相模原市南区麻溝台2284-1

■コーチ紹介



小川 亮 (トップチームコーチ/サテライトチーム監督)

1979年11月16日生
選手としてもFリーグでプレーし、デウソン神戸にて3年間の監督歴を持つ経験豊富な指導者。現在サテライトチームの監督も務めており、育成年代の指導には定評がある。



菅谷 知寿 (トップチーム現役選手 NO.41)

1997年12月28日生
U-18日本代表にも選ばれた期待の新星。スクール指導歴は少ないが、ドリブルやパスなど正しい基本を実演し、優しく子供たちと打ち解けて指導ができる。

12/2 12/9 12/21 1.27
12/2 12/9 12/21 1/27

祝 設立50周年

株式会社イーグル建創代表取締役
下川 浩之



町田サッカー協会様 設立50周年おめでとうございます。
これからもますますのご活躍をお祈り申し上げます。

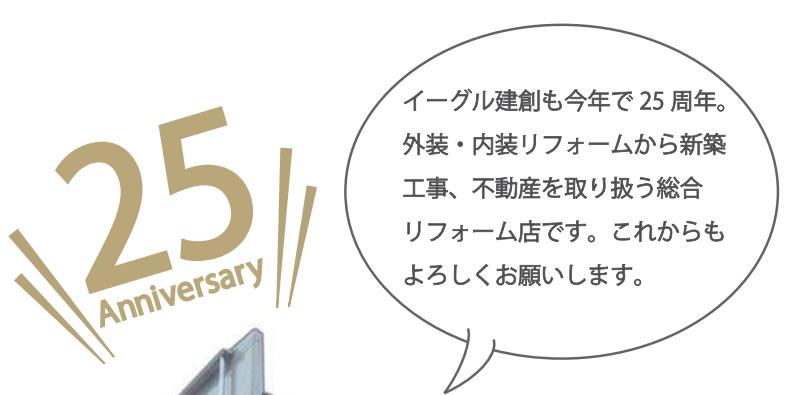
来たる平成31年に創立25年目を迎える弊社は、平成7年に町田市で産声を上げてから今日まで延べ40000件のお客様と住宅、店舗等の新築、リフォームを通じてご縁を作っていました。現在、東京都、神奈川県を中心に18箇所の拠点を展開することができました。これもひとえに、ごひいきにしていただき、支えていただきましたお客様、関係者の皆様のおかげと感謝しております。

ところで先日発生した台風24号で首都圏でも多くの方々のご自宅、所有物件が強風による被害を受けました。弊社にも多くのお客様から修理のご依頼、お問い合わせの電話を頂き、10月は対応に追われる毎日で、改めて我々リフォーム業界の存在意義、重要性を感じさせられました。ご依頼を頂き修繕工事をお待たせしているお客様はまだまだいらっしゃいますが、少しでもご不便を解消すべく迅速な対応を心掛けております。

今後も信頼を頂き、ご指名を頂いたお客様のご期待、ご要望に答えるべく邁進してまいります。そしてサッカーを通じて町田市の地域活性化の一助となれば幸いです。今後とも宜しくお願ひいたします。



もっと住宅を安全に
株式会社イーグル建創



イーグル建創も今年で25周年。
外装・内装リノベーションから新築
工事、不動産を取り扱う総合
リノベーション店です。これからも
よろしくお願いします。



イーグル建創 本社ビル（成瀬）



ALL POWER FOOTBALL MACHIDA
「ファミリーだからできること」

昭和の時代から町田市はサッカーの街として親しまれてきました。この街には多くの少年少女がサッカーにいそしむなかで豊かに成長してきた歴史があります。その活動を長年支えてきた町田サッカー協会が迎えた設立50周年を私たちもとてもうれしく思います。これから町田サッカー協会が築く新たな10年50年をイーグル建創とともに歩んで行きたいと思います。



株式会社イーグル建創は町田市のスポーツを応援しています。



外壁工事・内装工事・設備交換・省エネ・太陽光・新築
エクステリア・リノベーション・環境衛生



町田野津田支店
町市野津田町 1737
TEL 042-737-3701



町田つくし野支店
町市つくし野 1-30-2
TEL 042-706-1196



町田小山支店
町市小山町 3254-1
TEL 042-779-1196



大蔵モデルハウス
町市大蔵町 510-5
TEL 0120-37-0084

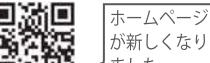
▶急な水漏れやちょっと気になるお家のことなど、何でもお気軽にご相談ください。

HOUSEDO ☎ 0120-97-3487
営業時間／9:00～18:00 定休日／毎週水曜日

ご相談・お見積り、無料で承ります。

いーぐるけんそう

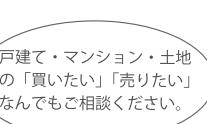
検索



ホームページ
が新しくなりました。

ハウスリースバックなら
売却した住まいにそのまま
住むことができます。

- point① 住みながら売却できるので、引越しは必要ありません
- point② 売却した物件は、あとから買い戻すことができます
- point③ 誰にも知られずに資金の調達が可能です



HOUSEDO ☎ 0120-97-3487
営業時間／9:00～18:00 定休日／毎週水曜日
〒194-0013 東京都町田市原町 5-7-17
宅地建物取引業：東京都知事 (3) 第 82790 号 (社) 全国宅地建物取引業保証協会会員 (社) 東京都宅地建物取引業協会会員 (社) 首都圏不動産公正取引協議会加盟



町田サッカー協会設立50周年を記念して



デンカ株式会社 デンカイノベーションセンター
執行役員 先進技術研究所長 吉野信行

この度、町田サッカー協会が設立50周年および町田市市政60周年を迎えたこと、心よりお祝い申し上げます。

この記念すべき行事に、ご参加させて頂けますことを、大変光栄に存じます。

また、日頃当社の研究活動に対し、ご理解とご協力を賜り、ご関係の皆様や地域の皆様へ、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

デンカ株式会社は、1915年に電気化学工業株式会社(旧社名)として設立された、東京都中央区に本社を置く総合化学メーカーで、町田市には研究開発拠点として、1962年に、同「中央研究所」として移転し、現在の「デンカイノベーションセンター」に至るまで、56年間お世話になっております。

「化学の未知なる可能性に挑戦し、新たな価値を創造(つくる)ことで、社会発展に貢献する企業となる。」

との企業理念の下、社会の課題解決に役立つ製品や技術を日々研究しております。

2014年に本館の建て直し、「デンカイノベーションセンター」への改名を実施し、新たにオープンイノベーションを掲げ、「外部に広く開かれた社会貢献の場」として、社外交流やCSR活動を積極的に推進しております。

その一例として、毎年3月に行われる「町田招待選抜少年サッカー大会」を、『デンカ杯』として協賛し、町田市の次世代プレイヤーの育成や、近隣小学校や町内会の子ども達を招待し、「化学のおもしろさ」を体験できるような、化学実験教室ならびに社会科見学などを毎年開催しております。

これら”次世代の人材育成”を主軸とする当社のCSR活動は、町田サッカー協会が掲げている「未来を創造する子供たちを育てたい!」のスローガンに通ずる所があると感じております。

今後も、私たちデンカ株式会社は、町田市に存在する企業として、地域の皆様と共に存共栄を目指し、町田市の発展・町田サッカー協会の振興に加え、社会発展に貢献したいと考えております。

末筆ながら、本記念行事の成功と町田サッカー協会の更なる飛躍を、心より祈念致します。

スポーツも、化学も、
「夢」という1文字が
結果を化けさせる。





お客様のパートナーであり続けたい

「町田から世界へ！」

有限会社志村代表取締役
志村昌洋



皆様こんにちは。フェローズ(Pherrow's)の志村と申します。

弊社は創業28年を迎えるアパレルメーカーで渋谷を拠点として参りました。ではなぜ町田のサッカーと関係を持つかと申しますと11年前に遡ります。

FC町田ゼルビアが関東リーグ時代に2年間胸スポンサーを務めたことが縁となり、株式会社ゼルビアを設立した際、取締役に就任したことから始まりました。

自分が町田在住のため、いつかは地元に直営店を開きたいと計画していましたが、地元の町田だからこそ、洋服店を採算ベースに乗せることができて大変かということを理解していました。

お洒落に興味があり高価な買い物をする市民に対し、新宿や横浜まで一本という都心への便利なアクセ

スが最大の敵でした。また地元での交流に欠けていた分ブランドのコマーシャルにも苦戦していました。

そこで「町田からJリーグを目指す！」ゼルビアと出会い、スポーツビジネスを通じ自社をPRし、町田の企業様との関係も構築でき、その甲斐あり念願の直営店「スマクロ町田」を4年前にオープンすることが出来ました。

これもひとえに御協力して頂いた地元の企業様、町田のサッカーファミリーの皆様のお力添えによるものと深く感謝しています。

ここに町田サッカー協会様の50周年という大切な節目に関わらせて頂けることを誇りに思い、関係各位に感謝致します。「プロアマ通し町田から世界へ！」いつか必ずその日はやって来ます！



お祝い

町田サッカー協会 50 周年

有限会社 フロムサーティ
ドリーム薬局
代表取締役

田嶋 繼明



町田サッカー協会 50 周年誠におめでとうございます。

ひとえに 50 周年といつても、大変長い年月であったと思います。

今までに携わっていただいた諸先輩方また今サッカー協会を支えている関係者各位の皆様は楽しい思い出や苦しかったことを思い出し、感慨深く感じられているのではないでしょうか。

私自身も実はサッカーにまた協会に長く関わらせていただいています。

私は小学校の頃は森野サッカースポーツ少年団でサッカーボールを蹴り、FC 芹が谷でコーチ、さらに監督も務めさせていただきました。

まさに私も町田サッカー協会の歴史の中でサッカーと関わってきたと言っても過言ではありません。今でも自分でサッカーを楽しめてもらっています。

この長い歴史は、地域の皆様に愛され続けて来た結果だと確信しています。

今回スポンサーをお受けした理由も、町田の未来の子ども達や、その他の世代の多くの人達にもサッカーの楽しさ・素晴らしさを知っていただきたい。とういう想いからです。

そしてこれから J1 に上がるであろう町田ゼルビア、ペスカドーラ町田と共に新しい歴史を刻むことを切に熱望します。

今後も町田サッカー協会は、さらに 50 年・100 年と発展することを心から願っております。



Grand Heart
グランハート町田

特別養護老人ホーム《グランハート悠々園》／ドリーム薬局山崎店／みんなの町田クリニック／やまざき整形外科・外科／やました内科・脳神経クリニック／あさひの丘メンタルクリニック／グランハート歯科／すみ眼科クリニック／グランハート透析クリニック／コミュニティ cafe バル リレイス／町田市介護サービスネットワーク・町田市介護人材開発センター／総合案内所／放課後等デイサービス アイランド／グランハート カルト保育ルーム／デイサービス・スマイルサポート／介護相談センター オギンズ／みどり訪問看護ステーション／美顔＆リラクゼーションルーム ソワン沙季／レンタルルーム トマト



ドリーム薬局
《有限会社フロムサーティ》

日々変化する医療環境の中、常に地域に密着した「かかりつけ薬局」の理想形を追及し、地域医療に貢献していくという考えを大切にしています。



御祝い

一般社団法人町田サッカー協会 50 周年

株式会社創建代表取締役
深澤 勝



一般社団法人町田サッカー協会が設立 50 周年を迎えたこと、心からお祝い申し上げます。

50 周年を迎えるまでには紆余曲折もあり、その出来事をひとつひとつ乗り越えてこられた事と思います。町田市は『少年サッカーの町・町田』との愛称で呼ばれて久しいですが、その愛称は急に呼ばれるようになったものではなく、町田市の青少年育成のため、町田市のサッカーのため、町田サッカー協会関係者の皆様方が、強い信念の元、長きに渡って支えて下さった賜物であり、地域からも愛され続けていたからこそだと思っております。

また、今日を築いてこられた町田サッカー協会関係

者の皆様方の並々ならぬ努力には、本当に頭が下がる思いです。

今から 20 数年前、町田市に Jリーグを作ろうと、今は亡き重田理事長をはじめとする町田サッカー協会の皆様が、弊社の会議室で激論を交わしていた事を、昨日のように思い出されます。

弊社といたしましても町田サッカー協会の 50 周年という大切な節目に微力ながら関わらせて頂けることを誇りに思うと共に、関係者各位には深く感謝申し上げます。

一般社団法人町田サッカー協会が、今後更なる飛躍をされることを心よりご祈念申し上げます。

マイホーム計画や
土地利用計画のことなら

なんでもお気軽にご相談ください

町田 創建

検索

株式会社 創建

〒194-0037 東京都町田市木曾西3-9-3 <http://www.soken-re.com>

住宅事業部 **042-794-2311**
建築事業部 **042-792-7887**

宅地建物取引業 東京都知事(6)第70091号／一級建築士事務所 東京都知事登録第56506号／特定建設業 東京都知事許可(特-27)第135277号



ご挨拶



愛知金物建材株式会社代表取締役
杉浦 隆



私たち愛知金物建材株式会社は、昭和36年の創業より、多くの皆様からのご愛顧をいただき、あらためて感謝しております。

また、近年の厳しい社会環境の中にあっても、大きく急激な発展ではありませんが、緩やかで確実な成長をさせていただいております。

さて、私どもは、激動かつ多種多様な価値観、ニセモノとホンモノが玉石混交となった現代においても、“素晴らしいモノは、変わらない”と考えております。それは、私たちのご用意しております商材の質・量に限らず、関わるスタッフの人間的な魅力等があつて、企業として伝えたいメッセージをお届けすることが可能に

生コン 建材 金物 愛知金物建材



宣言文

私達は 互いに同志であり
その家族を尊敬しあい
一致団結 協力し
期待され 期待に応え
社会の多くの幸せに繋がる
お客様の感動を創り出すため
常にチャレンジすることを誓います

ご挨拶

株式会社タマパーク代表取締役
雨宮 淳



なるものだと思います。そして、このメッセージこそ、いつの時代も変わることのない人々の生きる力へと繋がる「感動」であつて欲しいと願ってやみません。あらためまして、私どもが関わるすべてのサービスが、多くの方々の「感動」へ繋がることを目指し、これからも努力と研鑽を重ねて参りたいと思います。

弊社は平成9年12月創業以来、一貫してコインパーキング事業の分野で地域社会の役に立つことを念頭に事業を続けております。

私たちの願いは、お客様の繁栄です。お客様が常に便利に気持ちよく使える駐車場を運営・管理し提供し続けることが使命です。

商人哲学には「店はお客様のためにある」という言葉があります。

私たちは一つ一つの駐車場が一つ一つの店舗であり、この仕事をサービス業と考え、プロ集団としての立場を自覚し、お客様の要望に応えるよう努力精進して参ります。

また、駐車台数の拡大が違法駐車の減少、ひいては渋滞緩和や交通事故の減少につながり、社会貢献に結

びつくと考えております。
私たちはこの事業に誇りを持ち、パートナーの皆さんと共にこの事業を推進していきたいと考えております。

【会社概要】

株式会社タマパーク

設立:平成9年12月12日

代表者:雨宮 淳

事業内容:

駐車場・駐輪場の賃貸及び保守

駐車場・駐輪場設備工事の設計及び施工

駐車場・駐輪場の経営

駐車場・駐輪場及び土地建物の管理業務

☆ 土地活用・コインパーキングなら

TP 株式会社タマパーク

〒194-0013 東京都町田市原町田4-14-14

LIFIX Bld. 2階

TEL 042-721-2015 FAX 042-721-2016

URL : <http://www.tamapark.co.jp/>

SPORTS SHOP

www.gallery2.co.jp

GALLERY・2 町田店

町田サッカー協会設立 50 周年、おめでとうございます。
GALLERY・2 はこれからも町田市とともにフットボールを愛する
すべての人を応援してまいります。

町田店

東京都町田市原町田 6-8-1

営業時間

10:30 ~ 夜 8:30

レミィ町田契約駐車場<ボッボ町田パーキング、市営駐車場>をご利用頂けます。
館内 1 ショップで 3,240 円（税込）以上お買い上げで 2 時間サービスとなります

取扱い・サッカー／フットサル／バスケットボール
カテゴリ・ランニング／ラグビー

各種クレジットカードもご利用できます 一括・分割・ボーナス一括



GALLERY・2 町田店は FC 町田ゼルビア・
ペスカドーラ町田のオフィシャルショップです



SPORTS SHOP

GALLERY・2 SOCCER&FUTSAL取り扱い店舗

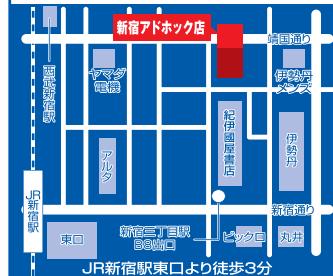
これぞ専門店の品揃え！サッカー＆フットサル用品ならど定番モデルから最新モデルまで、探していたアイテムがきっと見つかります！限定品や来店選手のサイン物など見るだけでも楽しい店舗です。ぜひ一度ご来店ください！

新宿アドホック店

東京都新宿区新宿 3-15-11
アドホック新宿 4・5・6F



T E L 03-3354-2192
OPEN 11:00 ~ 21:00

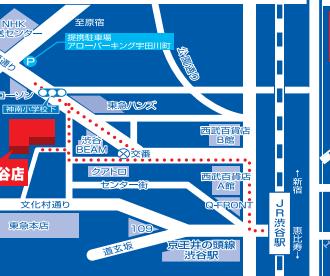


渋谷店

東京都渋谷区宇田川町 36-10
1・2F



T E L 03-5728-3882
OPEN 11:00 ~ 21:00



海老名店

神奈川県海老名市中央 1-4-1
ビナウォーク 5番館 3階



T E L 046-292-2225
OPEN 10:00 ~ 21:00



藤沢店

神奈川県藤沢市鵠沼上 1-7-8
ピックライズビル
TEL 0466-24-1501
OPEN 10:00 ~ 20:30



T E L 0422-27-2201
OPEN 10:00 ~ 21:00



吉祥寺店

東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-5-1
吉祥寺パレコ 8F



T E L 0422-27-2201
OPEN 10:00 ~ 21:00



港北店

神奈川県横浜市都筑区中川中央
1-25-1 ノースポート・モール 4F



T E L 045-910-0635
OPEN 10:00 ~ 21:00



運動施設



総合公園



教育施設



校庭緑化



住宅外構



指定管理業務

祝 町田サッカー協会設立 50 周年

for amenity project



株式会社富士グリーンテック

本社 : 〒400-0049 山梨県甲府市富竹 3-1-3 TEL 055-236-1600 FAX 055-224-5520
支店 : 東京・中部・西日本 営業所 : 東北・町田・北杜・三重・福岡

事業内容

企画設計 調査測量 建設事業 維持管理業務 森林保全 樹木・資材の生産販売

指定管理業務

町田中央公園グループ 小野路公園グループ 三輪みどり山球場 山梨県御勅使南公園 曽根丘陵公園 飯田野球場

祝 町田サッカー協会設立 50 周年

もう一步先のフィールドへ。

NTS日本体育施設

本 社 / 〒164-0003 東京都中野区東中野 3-20-10 TEL.03-5337-2611 FAX.03-5337-2610

最新情報はホームページでご覧頂けます
<http://www.ntssports.co.jp>

町田市立陸上競技場



税務と経営の専門家として町田で開業して60年。
これからも様々な活動を通じて地域の発展に貢献していきます。
『お気軽にご相談ください。』

ヒット税理士法人

公認会計士 税理士 **土方周明**

〒194-0013 東京都町田市原町田4-24-25
TEL 042-722-3731 FAX 042-726-5774 <http://hit-z.com>

まちだ名産品

- ・国産丸大豆しょうゆ
- ・トマトドレッシング
- ・ゆずポン酢

直売店にてご好評発売中
日・祝・第2・第3 土曜休み
※休日は会社カレンダーによる

岡直三郎商店

東京都町田市旭町1-23-21
TEL/FAX 042-722-2024
www.nihonichi-shoyu.co.jp

日本一しょらゆ

Nihonichi Shoyu 木桶仕込天然醸造 天明七年創業 (1787)

ご宴会、ご会食に
焦がし醤油ファンデュ

※2~18名様ご宴会承ります(無休)

醤油料理 天志

東京都町田市中町 1-3-4
TEL/FAX 042-739-1303

町田サッカー協会設立 50 周年おめでとうございます。

弊社は、かつて「木屋」、「中」、「製板」などの屋号で呼ばれておりましたが 1906 年(明治 39 年)に材木商として産声を上げて以来 100 年余り“木”に携わり、こだわりを持ち続けて参りました。
これからも地域の皆様のご要請に応えるべく、社会貢献や、スポーツ振興にも精勤して参ります。
今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

森林に「ありがとう」のこころから…101年
株式会社ヒコネ

〒194-0213 町田市常盤町 3498/TEL.042-797-1828●FAX.042-797-7936

エフチャンネルは町田サッカー協会を応援しています。

J:COM

マチダイナー MACHI DINER

マチダの恵み。

営業時間

Lunch 11:30~14:30 (L.O.14:00)
Dinner 17:00~24:00 (L.O.23:00)

042-724-0303
〒194-0013 東京都町田市原町田6-11-14 2F

町田法律事務所

MACHIDA LAW OFFICE

弁護士 大森典子(第二東京弁護士会所属)
弁護士 小嶋健史(第二東京弁護士会所属)
弁護士 西川牧子(東京弁護士会所属)
弁護士 大森 創(東京弁護士会所属)

相続、遺言、債務整理など
お気軽にご相談ください。 <http://www.mcd-lo.com/>

一般社団法人町田サッカー協会創立50周年個人協賛ご芳名

ARTEサッカースクールスバルすみれ	深澤 剛史	MFA小学部 役員	石川 真	町田小川FCシニア	中野 浩	守屋 達彦	由 貴	小倉みづき	阿部祐太郎
ARTEサッカースクール山崎	岡田 雄史	MFA常任理事小学部長	友井 徹	町田小川FCシニア	吉越 敏	石川 正剛	谷田部清治	小杉 竜二	大宝 弘
BRAVEZA	中里 郎	MGサッカークラブ	伊藤 大介	町田市立第四小学校	加藤ひより	宮寄 勇也	中野 靖男	米田 創	菰田省二
FC NINE	金子 茂幸	STC	竹田 将人	町田ドナドナ	谷田部 努	河合 進一	中野 良子	石黒 修一	金子征史
FC芹が谷	堀田 利幸	相原FCアジアンタム	加藤 典厚	町田相原FC	吉川正一郎	足立 正文	吉林 千景	石黒 竜平	横溝 秀明
FC芹ヶ谷東京	和知 進	相原FCアジアンタム	徳満 弘毅	緑ヶ丘SC	土屋 慶太	青木 啓二	山崎 雄作	河合 徹	大森 創
FCトリプレッタ鶴川Jr	三比 裕介	暁	金子 明	森野SC	池 永 隆志	石黒 晃司	明松 浩文	市川 奈月	石井 茂雄
FC町田50	窪田 武	クラブ テンペス	普光江大吾	森野SC	中嶋 道治	大澤 照夫	近本 明	内 悟	岸本 直也
FC町田50	寺田 真二	女子部	吉林 聰子	森野SC	見山 彰	井上喜八郎	近本 京子	林 一臣	岸本 駿也
FC町田50	前川 洋司	女子部 ドラゴンズ	田 中 真子	境川イレブン	石橋 宏明	佐藤 光一	笠原 道弘	平野 由唯	宮城 典久
FC町田50	渡辺 稔樹	女子部 ローザ	平 晴美	金井藤の台フットボールクラブ	早川 尚央	細野 雄二	重田 和恵	上杉 政弘	小峰 健嗣
FC町田50ミドル	椎名 貴志	女子部 ローザ	戸田美代子	町口クサッカースクール	羽山 哲也	小山 剛弘	栗原八千代	鈴木 健仁	
FC町田50ミドル	服部 至	つくし野サッカースポーツ少年団	荒田 康子	町田・小山田サッカーチーム	山下 和人	竹田栄太郎	草薙 静江	成井 勝	(順不同・敬称略)
FC町田50ミドル	祓川 学	鶴川ドラゴンズ	村 松 千春	町田・小山田サッカーチーム	有馬 寛紀				
FC町田50ミドル	今井 修二	鶴川ドラゴンズシニア	村 松 千春	町田JFC	竹村 敏博				
FC町田50ミドル	首藤 浩彰	鶴川ドラゴンズシニア	松 本 治彦	町田つるまサッカーチーム	根本 光憲				
FC町田60	古木 和夫	東京小山FC	峯岸伊理也	町田高ヶ坂サッカーチーム	太田 憲仁				
FC町田60	大西 修	東京町田小川FC	加藤 昇	町田相原FC	井上 善夫				
FC町田60	川越 孝志	成瀬SC 育成会	伊藤 昌哉	町田大蔵フットボールクラブ	大島 正幸				
FC町田60	矢島 昭夫	林星	林 一臣	鶴川フットボールクラブ	中條 大介				
FC町田60	山口 俊也	町一SC	小林 教志	鶴川ブルファイトSC	佐久間隆幸				
FC町田60	酒井 辰彦	町一SC	伊藤 久雄	東京・小山フットボールクラブ	斎藤 義昭				
FC町田60	赤池 義弘	町田相原FC	八木 秀行	東京・町田忠生サッカーチーム	小俣 隆之				
FC町田60	山川 洋	町田相原FC	後藤 政敬	東京町田成瀬サッカーチーム	野上 竜廣				
FC町田ボニータ	早川 和史	町田小川FC	久万 義人	南大谷SC	石田 洋介				
FC町田ユナイテッド	鈴木 孝夫	町田小川FC 林星	池 田 隆	南大谷SC	足立 公久				
FCLレオヴィンタ町田	美野 茂	町田小川FCシニア	加藤 友市	南大谷キャッツサッカーチーム	中嶋 良平				
FCLレオヴィンタ町田	山田 隆裕	町田小川FCシニア	池 田 浩 勝	本町田フットボールクラブ	飯塚 泰之				
MAESTRO FC	平井 政知	町田小川FCシニア	五十嵐一郎	本町田フットボールクラブ	丸 山 鑑				



**創立50周年
記念Tシャツ**



編集後記

一般社団法人町田サッカー協会の創立50周年にあたり、記念事業の一環として「創立50周年記念誌」が皆様のご協力をいただき、刊行できることを大変喜ばしく思います。

本「記念誌」の刊行により、これまで協会運営に携わっていた関係者、町田市及び町田市の諸団体、及びいつも支えて頂いている各企業の皆様、東京都サッカー協会をはじめ、日頃より交流をいただいている近隣の市町村・県のサッカー仲間に皆様方に、「町田サッカー協会」の過去・現在・将来をご紹介することで、さらに親睦を深め、お互いのサッカー(スポーツ)で活力ある社会の創造を目指すための一助になれば幸いです。

記念誌の作成にあたりましては多くの関係者の文章、写真、資料などを掲載したいものが多くありましたが、紙面の都合上、十分に意を尽くすことが出来なかった部分もあるかと思います。お許し下さい。

最後になりましたが、お忙しいところ50周年記念誌刊行、及び記念事業につきましてご協力、ご協賛頂きました皆様、ご寄稿を頂きました方々をはじめ、写真、貴重な資料などをご提供いただくなど、多くの皆様方のご理解、ご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

2018年11月
50周年記念誌編集プロジェクトチーム一同



編集会議では懐かしい資料・写真を見ながらつい昔話に花が咲き!
会議の半分以上が潰れました!

一般社団法人町田サッカー協会 創立50周年記念誌

2018年11月発行

<編集プロジェクトチーム>

岸本 直也 加藤 典厚 門田 健次 友井 徹 寺島 崇史 山口 俊也

<編集協力>

有限会社ウェルフィックス(<http://wellfixed.com/>)

編 集 菊井 康則

デザイン／制作 濑戸 律子